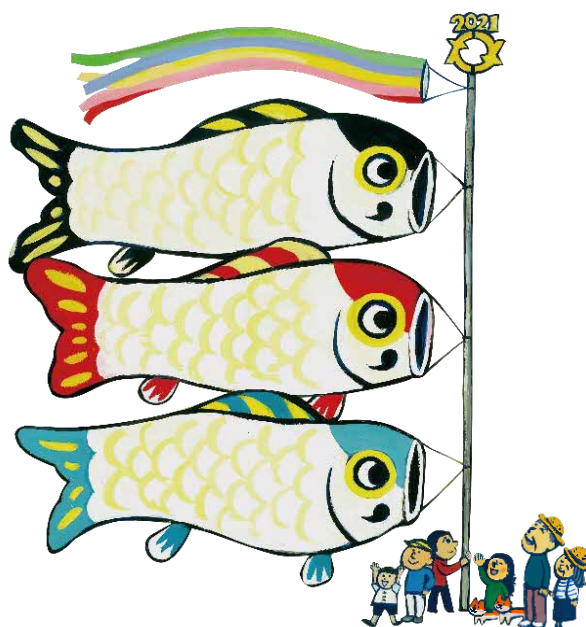


令和5(2023)年度

行政評価報告書



大竹市

令和6年(2024年)12月作成

目 次

第1章 政策評価（“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート調査結果）

第1節 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査項目	2
第2節 アンケート分析	
1 まちづくりに関する分野ごとの設問について	3
（1）設問別集計結果	3
（2）分野別評価	6
（3）分野別の自由意見	7
（4）属性別分析	21
● 性別	21
● 年齢	23
● 住所	24
2 大竹市の住み良さや居留意向について	26
3 デジタル技術の活用についてなど	35
4 自由筆記「最近幸せだなと感じたこと」	46
「まちづくりに対する意見やアイデア」	58
第3節 資料（アンケート調査用紙）	72

第2章 施策評価

第1節 概要	80
1 内容	80
2 表の見方	80
第2節 総合戦略における重要業績評価指標（K P I）の達成状況と施策評価	81
基本目標1【まち】	81
基本目標2【ひと】	85
基本目標3【しごと】	85
第3節 総評	87
総合戦略の基本目標、指標について	87
事業の評価について	88
次期総合戦略の策定に向けて	88

第1章 政策評価（“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート調査結果）

第1節 調査の概要

1 調査の目的

市では、まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「大竹市まちづくり基本構想」を令和2年度に策定しました。「大竹市まちづくり基本構想」では、おおむね30年後の幸せなまちの未来を描き、その実現に向けて「教育・文化」や「産業・雇用」などの分野別にまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートは、基本計画におけるまちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」と市民の皆様が思えるようなまちに近づけているか、普段の生活がよりよくなっているかの実感を、市民の皆様におたずねするために実施しました。

2 調査の内容

（1）調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女

（住民基本台帳法に基づく登録者（令和6年6月16日現在））

（2）標本数

2,000人

（3）抽出方法

無作為抽出

（4）調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式

回収についてはインターネット回答を併用

（5）調査期間

令和6年7月4日（木）～7月31日（水）

（6）有効回答数及び回収率

回答数 634件（32.0%）

（ 582件（91.8%）（郵送）
52件（8.2%）（インターネット） ）

【注意】

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%にならない場合があります。性別や年齢などの基本情報などが未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。

また、属性別調査の分類で回答数が少ない場合、傾向などが把握できないため、省略している場合があります。

(7) 回答者構成

属 性		配布数	回答数	構成割合	回収割合
性別	男	1000 人	257 人	40.5 %	25.7 %
	女	1000 人	353 人	55.7 %	35.3 %
	回答しない		9 人	1.4 %	
	無回答		15 人	2.4 %	
年齢	18～29歳	259 人	36 人	5.7 %	13.9 %
	30～39歳	228 人	53 人	8.4 %	23.2 %
	40～49歳	248 人	63 人	9.9 %	25.4 %
	50～59歳	289 人	74 人	11.7 %	25.6 %
	60～69歳	278 人	106 人	16.7 %	38.1 %
	70歳以上	698 人	290 人	45.7 %	41.5 %
	無回答		12 人	1.9 %	
住所	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	712 人	230 人	36.3 %	32.3 %
	西栄、南栄、東栄、北栄	399 人	99 人	15.6 %	24.8 %
	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	511 人	162 人	25.6 %	31.7 %
	阿多田	15 人	3 人	0.5 %	20.0 %
	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷	17 人	2 人	0.3 %	11.8 %
	玖波、玖波町、湯舟町	285 人	99 人	15.6 %	34.7 %
	松ヶ原町	22 人	5 人	0.8 %	22.7 %
	栗谷町	39 人	18 人	2.8 %	46.2 %
	無回答		16 人	2.5 %	

3 調査項目

【大竹市の住み良さや居留意向について】

- ・住み良さについて
- ・まちへの愛着について

【分野別の取組について】

- ・教育・文化 分野（「広く社会で活躍する人を育むまちづくり」について など）
- ・産業・雇用 分野（「活気ある産業のまちづくり」について など）
- ・生活・環境 分野（「快適で暮らしやすいまちづくり」について など）
- ・安全・安心 分野（「災害に強いまちづくり」について など）
- ・健康・福祉 分野（「子どもが健やかに育つまちづくり」について など）
- ・自治・行政運営 分野（「市民と行政の協働」について など）
- ・まとめ（7分野の中で特に力を入れてほしいもの）

【その他】

- ・デジタル技術の活用（導入した方がよい、進めた方がよい事業について）
- ・『笑顔・元気♡かがやく大竹』につながるまちづくりが進んでいるか

【自由筆記】

- ・最近「幸せだな」と感じたこと
- ・まちづくりに対する意見やアイデア

第2節 アンケート分析

1 まちづくりに関する分野ごとの設問について

(1) 設問別集計結果

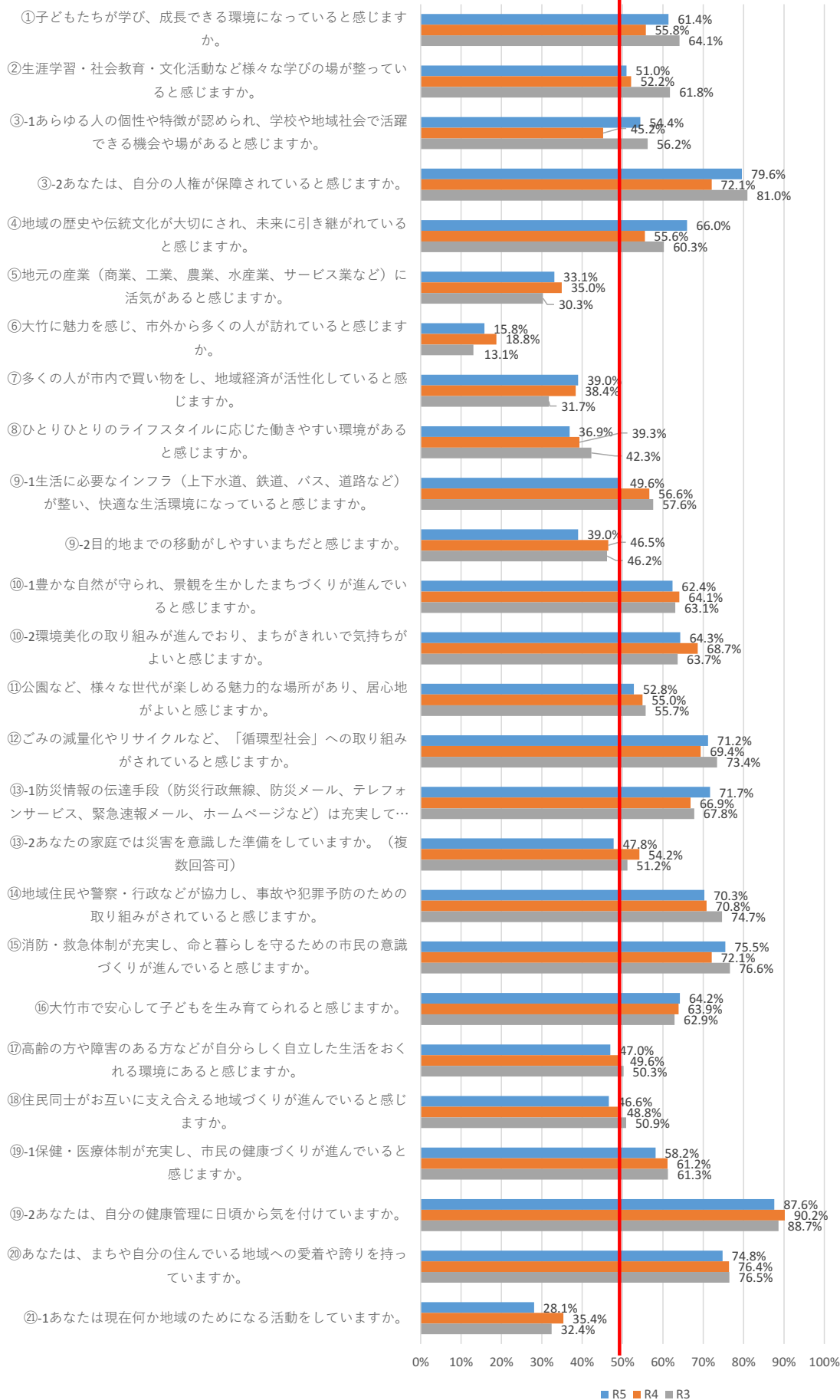
大竹市まちづくり基本構想の「分野別取組宣言」の6分野21項目に対する設問について、普段思っていることをおたずねしました。

各設問に「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。

分野	分野別取組宣言	設問 番号	設 問	R5										
				回答数（人）				設問の「はい」		回答数（人）		分野の「はい」		
				はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位
A 教育・文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	340		214	554	61.4%	12	1,713	1,030	2,743	62.4%	2
	学び楽しむ心豊かなまちづくり	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	282		271	553	51.0%	16					
	一人ひとりを大切にするまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	293		246	539	54.4%	14					
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	433		111	544	79.6%	2					
	歴史や文化を大切にするまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	365		188	553	66.0%	8					
B 産業・雇用	活気ある産業のまちづくり	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	189		382	571	33.1%	25	716	1,591	2,307	31.0%	6
	多くの人が訪れるまちづくり	⑥	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	94		501	595	15.8%	27					
	地域経済が元気なまちづくり	⑦	多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	227		355	582	39.0%	23					
	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	206		353	559	36.9%	24					
C 生活・環境	快適で暮らしやすいまちづくり	⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	297		302	599	49.6%	17	1,960	1,505	3,465	56.6%	4
		⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	219		342	561	39.0%	22					
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	348		210	558	62.4%	11					
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいいと感じますか。	360		200	560	64.3%	9					
	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよいと感じますか。	313		280	593	52.8%	15					
	環境にやさしいまちづくり	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	423		171	594	71.2%	6					
D 安全・安心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	412		163	575	71.7%	5	1,528	784	2,312	66.1%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。（複数回答可）	287		313	600	47.8%	18					
		⑬-3①	自宅周辺で起こり得る自然災害をハザードマップで確認している。		190									
		⑬-3②	災害の状況に合わせた避難先（避難場所、親戚や知人宅、ホテルを含む）を決めている。		151									
		⑬-3③	大きな災害があった時のために水や食料を3日分程度備蓄している。		172									
		⑬-3④	その他		19									
	事故や犯罪の少ないまちづくり	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	398		168	566	70.3%	7					
E 健康・福祉	命を大切にするまちづくり	⑮	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	431		140	571	75.5%	3	1,716	1,097	2,813	61.0%	3
	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	343		191	534	64.2%	10					
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	264		298	562	47.0%	19					
	見守り支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	264		302	566	46.6%	20					
	みんないきいき元気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	323		232	555	58.2%	13					
⑲-2		あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	522		74	596	87.6%	1						
F 自治・行政運営	地域を愛する人づくり	⑳	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	434		146	580	74.8%	4	766	791	1,557	49.2%	5
	市民と行政の協働	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。（複数回答可）	164		419	583	28.1%	26					
		㉑-2①	自治会活動		107									
		㉑-2②	PTA活動		13									
		㉑-2③	自主防災組織活動		17									
		㉑-2④	子どもや高齢者の見守り		19									
		㉑-2⑤	あいさつ運動		16									
		㉑-2⑥	環境美化活動		39									
		㉑-2⑦	介護ボランティア		4									
		㉑-2⑧	地域行事の運営		28									
		㉑-2⑨	その他		19									
		㉑-3	今後「自分でもできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と思いますか。	168		226	394	42.6%						

R4										R3										R5-R3																			
回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					設問の「はい」				
はい	個別 選択数	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	個別 選択数	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	個別 選択数	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位							
279		221	500	55.8%	14	1,410	1,102	2,512	56.1%	4	375		210	585	64.1%	8	1,893	1,035	2,928	64.7%	2	▲ 35		4	▲ 31	▲ 2.7%	▲ 4	▲ 180	▲ 5	▲ 185	▲ 2.3%	0							
266		244	510	52.2%	18						362		224	586	61.8%	12						▲ 80		47	▲ 33	▲ 10.8%	▲ 4												
226		274	500	45.2%	22						329		256	585	56.2%	16						▲ 36		▲ 10	▲ 46	▲ 1.9%	2												
359		139	498	72.1%	4						472		111	583	81.0%	2						▲ 39		0	▲ 39	▲ 1.4%	0												
280		224	504	55.6%	15						355		234	589	60.3%	14						10		▲ 46	▲ 36	5.7%	6												
180		335	515	35.0%	26	668	1,370	2,038	32.8%	6	181		416	597	30.3%	26	703	1,697	2,400	29.3%	6	8		▲ 34	▲ 26	2.8%	1	13	▲ 106	▲ 93	1.7%	0							
97		420	517	18.8%	27						79		525	604	13.1%	27						15		▲ 24	▲ 9	2.7%	0												
196		314	510	38.4%	24						193		415	608	31.7%	25						34		▲ 60	▲ 26	7.3%	2												
195		301	496	39.3%	23						250		341	591	42.3%	23						▲ 44		12	▲ 32	▲ 5.4%	▲ 1												
290		222	512	56.6%	12						349		257	606	57.6%	15						▲ 52		45	▲ 7	▲ 8.0%	▲ 2												
239		275	514	46.5%	21	1,838	1,225	3,063	60.0%	3	277		323	600	46.2%	22	2,151	1,436	3,587	60.0%	4	▲ 58		19	▲ 39	▲ 7.1%	0	▲ 191	69	▲ 122	▲ 3.4%	0							
323		181	504	64.1%	9						374		219	593	63.1%	10						▲ 26		▲ 9	▲ 35	▲ 0.7%	▲ 1												
346		158	504	68.7%	7						373		213	586	63.7%	9						▲ 13		▲ 13	▲ 26	0.6%	0												
282		231	513	55.0%	16						330		262	592	55.7%	17						▲ 17		18	1	▲ 3.0%	2												
358		158	516	69.4%	6						448		162	610	73.4%	6						▲ 25		9	▲ 16	▲ 2.2%	0												
337		167	504	66.9%	8	1,317	677	1,994	66.0%	1	395		188	583	67.8%	7	1,583	758	2,341	67.6%	1	17		▲ 25	▲ 8	3.9%	2	▲ 55	26	▲ 29	▲ 1.5%	0							
266		225	491	54.2%	17						297		283	580	51.2%	19						▲ 10		30	20	▲ 3.4%	1												
	225										245											▲ 55																	
	187										207											▲ 56																	
	170										169											3																	
	24					36						▲ 17																											
352		145	497	70.8%	5	1,584	2,519	62.9%	2	2	436		148	584	74.7%	5	1,867	1,099	2,966	62.9%	3	▲ 38		20	▲ 18	▲ 3.8%	▲ 2	▲ 151	▲ 2	▲ 153	▲ 1.9%	1							
362		140	502	72.1%	3						455		139	594	76.6%	3						▲ 24		1	▲ 23	▲ 4.5%	0												
310		175	485	63.9%	10						361		213	574	62.9%	11						▲ 18		▲ 22	▲ 40	1.0%	1												
250		254	504	49.6%	19						296		293	589	50.3%	21						▲ 32		5	▲ 27	▲ 0.7%	2												
248		260	508	48.8%	20						303		292	595	50.9%	20						▲ 39		10	▲ 29	▲ 2.1%	0												
307		195	502	61.2%	11	733	573	1,306	56.1%	4	367		232	599	61.3%	13	839	711	1,550	54.1%	5	▲ 44		0	▲ 44	▲ 0.1%	0	▲ 73	80	7	▲ 4.9%	1							
469		51	520	90.2%	1						540		69	609	88.7%	1						▲ 18		5	▲ 13	1.5%	0												
385		119	504	76.4%	2						459		141	600	76.5%	4						▲ 25		5	▲ 20	▲ 0.1%	0												
173		316	489	35.4%	25						191		398	589	32.4%	24						▲ 27		21	▲ 6	3.0%	▲ 2												
	133										156											▲ 49																	
	27					30						▲ 17																											
	20					15						2																											
	32					36						▲ 17																											
	29					33						▲ 17																											
	57					66						▲ 27																											
	13					9						▲ 5																											
	50					47						▲ 19																											
	31					21						▲ 2																											
175		138	313	55.9%		189		172	361	52.4%		▲ 21		54	33																								

設問別「はい」の割合



A 教育・文化

B 産業・雇用

C 生活・環境

D 安全・安心

E 健康・福祉

F 行政運営

(2) 分野別評価

【分野別肯定評価】

分野別の肯定評価を受けた上位3位は「D安全・安心」分野、「A教育・文化」分野、「E健康・福祉」です。6分野中4分野が50%を超えています。

最も低い評価となったのが「B産業・雇用」分野で50%を大きく下回っています。昨年度より、1.8ポイント肯定評価の割合が下がっています。

昨年度と比較して「A教育・文化」分野は6.3ポイント、「D安全・安心」分野は0.1ポイント肯定評価の割合が上がっています。「B産業・雇用」分野は1.8ポイント、「C生活・環境」分野は3.4ポイント、「E健康・福祉」分野は1.9ポイント、「F自治・行政運営」分野は6.9ポイント肯定評価の割合が下がっています。

【特に力を入れてほしい分野】

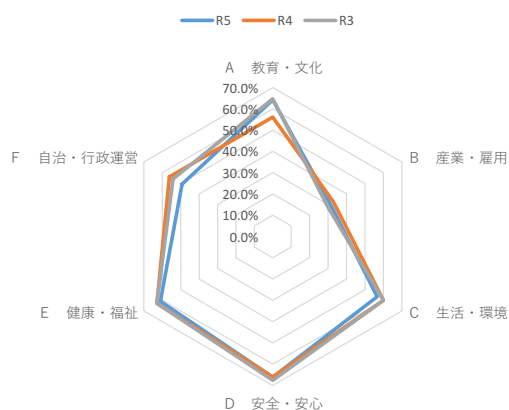
特に力を入れてほしいと思う分野の上位3位は「E健康・福祉」分野、「C生活・環境」分野、「D安全・安心」分野で、この3分野の合計は約70%となります。

最も低い評価となったのが「F自治・行政運営」分野でした。

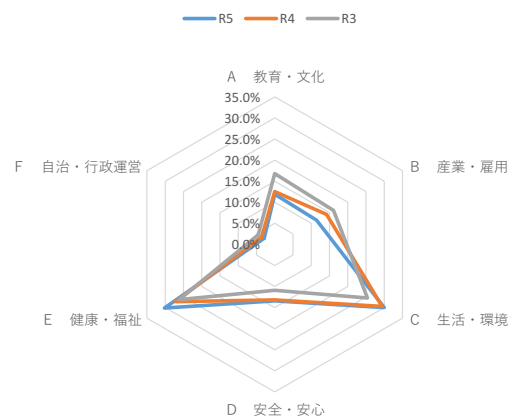
昨年度と比較して「C生活・環境」分野は0.6ポイント、「D安全・安心」分野は0.2ポイント、「E健康・福祉」分野は3.1ポイント回答割合が上がっています。「A教育・文化」分野は0.6ポイント、「産業・雇用」分野は2.7ポイント、「F自治・行政運営」分野は0.6ポイント回答割合が下がっています。

分 野	肯定評価の割合			順 位			特に力を入れてほしい分野			順 位		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
A 教育・文化	64.2%	56.1%	64.7%	2	4	2	11.9%	12.5%	16.8%	4	5	3
B 産業・雇用	31.0%	32.8%	29.3%	6	6	6	11.5%	14.2%	16.1%	5	3	4
C 生活・環境	56.6%	60.0%	60.0%	4	3	4	30.0%	29.4%	25.4%	2	1	2
D 安全・安心	66.1%	66.0%	67.6%	1	1	1	13.4%	13.2%	10.9%	3	4	5
E 健康・福祉	61.0%	62.9%	62.9%	3	2	3	30.2%	27.1%	26.2%	1	2	1
F 自治・行政運営	49.2%	56.1%	54.1%	5	4	5	2.9%	3.5%	4.5%	6	6	6

【現状】分野別肯定評価



【今後】特に力を入れてほしい分野



【設問別順位】

肯定評価の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

順位	分 野	設 問	「はい」の割合
上 位	1 E 健康・福祉	⑭-2 あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	87.6%
	2 A 教育・文化	③-2 あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	79.6%
	3 D 安全・安心	⑮ 消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	75.5%
	・	・	
下 位	25 B 産業・雇用	⑤ 地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	33.1%
	26 F 自治・行政運営	⑳-1 あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	28.1%
	27 B 産業・雇用	⑥ 大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	15.8%

(3) 分野別の自由意見

A 教育・文化 分野
生涯学習の充実として図書館の蔵書の充実及び講習、学習などを開催願いたい。
子どもが成長するにあたり経済やお金のことに関して知識を持って社会に貢献してほしい。
廃校後の有効活用(特に更地の早期計画と実施)。
少子化が進むので、教育に力を入れてほしい。各々の個性を認め育ててほしい。
街中で赤ちゃん、幼児をあまり見かけないので子育て、教育をもっと充実させたら皆が住んでくれるはず。
文化を大事にしない行政には怒りを感じる。苦の坂の整備はしないのだろうか。
大竹駅伝、大竹祭りは市民は特別な思いで楽しみにしている文化である。しかし交通規制の為警察組織主導による縮小方向への規制に「大竹市が長く育んできた文化」が消滅してしまう。仕切られていると強烈に感じている。
学力が低いから。
保育所、小学校、中学校の食費・医療費も無料にしてほしい。
未来の子どもたちの為に。
人工芝のサッカーグラウンドを作してほしい。
アゼリアに行くことができる
伝統文化の継承は高齢者と若い世代のコミュニケーションの場として必要なもので、積極的に取り組んでほしい。
高齢者が増加しているため。
未来のため。
市民プールの再開。
子どもたちが住みたいと思う支援があったらいいと思う。住宅、子育てなど。
中学校まで地域の学区に進学した場合、高校が1校しかないので市外の学校に進学しなくてはならないのでできれば増やしてほしい。
子どもの未来が保障されるまちづくりが一番だと考えるから。
子どもの学力が低い。
給食を提供してくれる幼稚園があればいい。年少未満も保育料を無償にしてほしい。
子どもたちがいろいろなことを学び成長できる環境であってほしいと思うから。
英語や美術、音楽を気楽に体験しに行く、または学べる機会(場所)があればいいと思う。
旧小方小学校を利用することがあるが、いずれ取り壊すものとはいえもう少し整備してほしい。
書道教育をもっと充実させてほしい。
まずは給食無償化ありがたい。子どもも独立した私たちにはあまり恩恵が直接的にある訳ではないが、子どもたちにこれからも予算を使ってほしい。
大竹にもいい山がたくさんあるので、駐車場や登山道の整備を進めてほしい。
教育環境を充実させ、教育レベルを上げるにより他の地域との差別化を図る。これにより子育て世代を大竹に呼び込み、人口減少や高齢化に歯止めをかける。また文化的施設や文化事業を積極的に充実・推進、文化意識の高い人々に関心を持ってもらい大竹のイメージを高め、住みたいまち、行きたい町となることが重要であると感じる。
図書館の本を他の地域のように充実させてほしい。

A 教育・文化 分野
市内で一ヶ所(大竹保育所)では保護者の負担が大きいので、大竹駅前に小規模保育園を作り通勤時預けやすくする。
大学進学者の授業免除(100%市が出す)。子を育てるのに一番お金がかかるのが大学。このせいで若い人は子を作らない。
子どもの教育に力を入れてほしい。
ボランティア頼みの手すき和紙の保存、継承を「大竹の宝」としてより積極的に支援してほしい。
大竹に家を建てる若い人が今後も増えると思うから。子育て支援が充実していれば若い人の人口増加につながると思うから。
亀居城公園の設備の充実が切に望まれる。
日本の伝統文化を発表する場所が必要。
全ての人が「学ぶ」心を一生持ち続けることは大切だと思うから。
少子化の中、より良い教育を子どもたちに与えること。公民館など身近な施設でICTなどを利用し、学校以外でより意欲を持っている子どもたちがいるのであれば安価に教育を提供してあげたい。現在東京及び近郊の大学生は7割弱が自宅通学となっている。大都会が良いというのではなく、人生の中での数年間くらいは都会での生活は良い経験になると考える。地方からどんどん都会に出して、そのあとはUターンしてもらえる仕組みがほしい。大竹は住みやすい町だとは思う。だから若くして県外に進学して行った人たちを呼び戻せる、もしくは新規のIターンを促すツールを強化すべきと考える。ベンチャーなど創業支援策にもつながると思う。
同じ市内の小中学校で人数によって親の負担に違いがあり過ぎる。均等にしてほしい。
少子化で学校が統廃合され過疎が進むが、昨年3月の市議会だよりにあった大竹高校存続反対と言っているかのような議員の意見にがっかりした。地域に学校を残そうという考えを持たない人間が議員をしていることに。2割しか大竹市民が通っていないというのなら、よそから来る8割の生徒を大竹での就職につなげて住民を増やそうという発想はないのかと。広島県が3年連続で人口流出のNO.1となっている記事を読んだことはないのだろうか。 私が大竹に転入したのは小中高とそろっていて地域の人に見守られながら子どもが成長していける素敵な場所だと思ったからである。もっと地元の高校を大切にしてほしい。市の職員も子どもを都市部に行かせるのを当然のように思わず、歴史のある高校に通わせてみたらどうだろうか。
教育レベルが高いイメージがない。
家庭教育支援制度の導入をしてほしい(岩国、和木が導入している)。
東京のように高校無償化など、子ども教育に特化してほしい。子どもが増えるような取り組みをしてほしい。
保育所ばかりで幼稚園が一園のみなので、他地域の幼稚園に通う子どもが多い。幼稚園教育を望む親も多いので増えると良いと思う。
子供の成長を支えたいから。
誰でも平等に学べる機会。

B 産業・雇用 分野
働く場所が増えてほしい。
もっと給料の良い求人が増えてほしい。
小売店が消滅した地域の買い物難民対策(車が運転できる間は良いのだが)。
地産地消。
年を取っても安心して働ける場がほしい。
産業が少なければ人は住まない。若い人は出て行く。
生活していくため。
仕事をするところが少ない。
休日はいつも岩国、廿日市に買い物に行っている。もっと大竹に衣類、小物など買えるお店を増やしてほしい。
仕事がないと若い人はいられない。
働く場所が少なく、広島市内まで通勤している。近くで雇用があればと思っている。外食も市外で取ることが多く、もっと外食するところもあればと思う。
商業施設が物足りないと感じる。
新会社を建てて求人を募集してほしい。
企業誘致。
産業や自然に関して資源はあると思うのだが、いまいち活かせていないと思う。市外へのアピールも弱い印象がある。
大竹市は現在次第に人口が減少しているが、市内に魅力的な雇用先が多くあれば若い人々が地元へ就職して人口減少を少しでも防げるのではないだろうか。
他の県、他の市の人々が大竹に来たいと思える場所が必要。
駅前の活性化。店舗数が少なく華やかさに欠ける。前に比べて居酒屋が少ないから岩国まで出かける。
働く場所が少ない。
若者が定着する企業を誘致する。
老人に体力的にあまり負担のない職場を増やしてほしい。
地元で働ける場を作り人口減のストップし、移住者を増やす。
耕作放棄地の活用。
玖波のまちに食品や日用品の店が一軒もない。高齢者が多いのに大変だと思う。3丁目辺りにコンビニのようなお店がほしい。
大企業は市内からの雇用を増やすべき。
若い人が他のところへ出て行くのを聞くから。
若い人たちの雇用が充実し、住み良い、子育てしやすいまちになってほしいから。
生活していくための仕事、会社が近くにあること。
大願寺の企業誘致に失敗し、雇用促進策が見られない。高速インター、豊富な水量、鉄道コンテナ基地などを活かしてないと思う。
地場の産業に活気が感じられない。
地域産業の活性化。
商業施設の充実。
美味しい物、例えば、アタタハマチ、三国酢、弥栄、阿多田のいりこなどあるが、地元のスーパーでは、購入できるが、売ってある店が限定されている。人の目に止まるような売り方をしたほうが良い。

B 産業・雇用 分野
街の活性化。
ますます多くの業界が雇用を求めています。
ここが充実しないと、税収が増えないと思うから。雇用が増えないと住民も増えないから。その他の分野に投資することも難しいだろうと思うから。
不登校児童・生徒が大竹で働いてみたいと思える魅力的な会社で溢れていると、困難を乗り越えられる最終的な要因になると思っているから。
雇用があることで人が集まると思うから。
駅の周りに飲食店がない。
大竹の良さ、魅力をいまひとつアピールできていない気がするため。
商業施設がもっと増えたらいい。

C 生活・環境 分野
交通の便が悪く駅やゆめタウンへ行くのが不便。
コミュニティバスの運行。学校、病院、買い物の便を増やしてほしい。
交通機関が不便である。安いタクシーを作してほしい。
高齢になると若い人に迷惑になるので静かに生きようと思うから消極的になる。
道路がボロボロでアスファルトに段差や亀裂が入り危ないと感じる。
下水道の整備。断水は困る。
土日祝の市役所手続きができるようにしてほしい。
近くにちょっとしたお店があったらいいと思う。
上下水道の整備。道路のでこぼこ修繕をしてほしい。
あと数年で自力で買い物に行けなくなると思う。宅配弁当は取っているが、他の買い物が不自由になる。
高齢者の移動手段の充実。
歩道の草刈りなどを定期的にしてほしい。
公園の遊具を3歳未満、幼児、小学生などに分けた遊具がほしい。晴海まで行かなくてもいい公園、場所がないものだろうか。
買い物が不便。地域タクシー(乗合)を自宅からゆめタウンまで運行してほしい。
野生動物の駆除(熊、猪、烏など)。
本町、油見、新町側にバスがないためとても不便に感じているのでエリア拡大してほしい。
駅までのバスがほしい。
車の通行などで大きな道路の近隣では地震のような揺れに長年悩まされ続けている。
交通の便が悪く車がないと移動が不便。
環境美化としてもっと自然に対して力を注いでほしい。
高齢者の方々が買い物で不自由を感じていると思う(タクシーの補助などがあればいいと思う)。
交通の利便性が悪いので整備してほしい。
大竹駅にゴミ箱を設置してほしい。高校生が集団で買い食いをしてゴミを放置する場面を見た。
犬のふんの問題はちゃんとしてほしい。
住民を増やすまちづくりをしないと市の将来はないと思うので、小方駅を中心としたまちづくりの実現を進めてほしい。
道路の舗装整備、草刈り、暗い道の街灯をたくさんつけてほしい。
路線バスが充実していれば利用したい。
公共交通機関の充実。停止場所の拡大(高台への設置)。不定箇所での乗降車。
高齢者向けのいきいきサロンのようなカフェの場がほしい。様子や見守り活動も必要だが、自発的に外へ出て集まれる場所があればと思う。
集まれる場所、集まる場所、情報を発信、キャッチできる環境作り。もしくは緑多い大きな公園。
バスの最終時刻を 20 時にしてほしい。バイパス工事で古い町並みが消されてとても残念。
地域に商店がない。ガソリンスタンドもない
交通の便などを良くしてほしい。車に乗らない人の為に乗り合いタクシーなど対応をしてほしい。
市、県営アパートを空き家にしてではなく、入居希望者が全員入居できたのか。所得制限が平等ではないのはおかしい。御園台山側は定期的に樹林の伐採などしてほしい。豪雨の時などの土砂災害が心配。貯水槽が見えずにジャングルのようになっている。

C 生活・環境 分野
小さい店でも良いので、もっと近くにお店があると良い。
子どもを産める病院がほしい。
高齢者で年金暮らしで物価高。生活が苦しい。
道の整備不足。
遊ぶ場所が少ない。ボーリング場やダーツ場を作してほしい。
交通の利便性がない。
大竹駅周辺ににぎわいがほしい。店や飲食店、他所から来てみたいと思う施設など。
弥栄ダムができて以降、川が死に海の栄養分が不足している。
道路を綺麗に整備してほしい。
もっといろいろな店があれば活気あふれると思う。飲食、小売など。
近くにスーパーがほしい。アゼリアホールにコミュニティバスを。
補助金制度を充実させてほしい。家の敷地内に橋があることで年間の使用料金を払わないといけ ない。大竹市だけなのだろうか。見直してほしい。
こいこいバスの便の本数をもう少し増やしてほしい。特に昼間の時間帯が少ないと思う。
マックスバリュ系列を誘致してほしい。
公園や駅に捨てられたままのゴミがそのままになっていることが多く不快である。掃除をしないので あればせめてゴミ箱は設置してもらえると助かる。
悪路の整備(車輪を取られたり、砂利で滑ることがある)。
管理されていない空き地について。ジャングルになり付近住民は迷惑している。持ち主に相談し伐採 はできないのか検討してほしい(西医療センター前の空き地)。
JR小方駅の開設を早くしてほしい。
近くに店がない為、高齢になったらいつまで自分で買い物に行け、自立した暮らしができるか不安。
空き家が多くて木、草などが多く茂っているのが気になる。
不動産業者とタイアップして空き家のリフォームや建て替え、空き地の宅地化を進めて居住人口を増 やす。税金投入も必要。
公共交通機関を増やしてほしい。
玖波の町には買い物をする店がなく人が集う場所がない。コンビニが一軒でもあれば生活用品、AT Mなど利用でき、遠くまで行かなくても住むのに。高齢者は車の免許を返納し移動がしにくくなる 中、近くに店がないのは困る。
水道管の老朽化の改善。
道路を増やして渋滞を緩和してほしい。
交通の便が悪い。道路の整備。
バスなどの交通が不便。
「歩きたくなるような生活環境」にしてほしい。豊かさを感じられる市街や環境の整備。特に街路。
市営住宅跡地の有効活用(子どもたちが遊べる球技広場など、公園との使い分けできる施設)。
交通の便が増えれば(バスなど)。
市道が場所によってはガタガタ道。歩く時、自転車に乗って通行する時不便である。
交通の利便性。バスが少ない。バス停が少ない。本数が少ない。免許証を返納した時に不便になる。
土地、家賃の値下げ。
電車、バスの本数がもう少し増えてくれたらと思うことがある。

C 生活・環境 分野
小方駅の早期実現。
停電や断水などの生活に関わる整備に力を入れてほしい。
交通の利便性を良くしてほしい。
買い物のできるお店が一軒もない。車をやめたら手足を取られたも同然となる。この先が心配である。
晴海に人が集まる環境になっているのに、人々がくつろげるカフェなどがなくて残念。もっと若い人の意見を聞くべき。
岩国、大竹道路の早期開通をお願いしたい。
老朽化した水道管の整備を早くしてほしい。
通勤、通学でJRを利用するのに、JRが止まってしまったら帰る手段がなく、岩国みたいに広島からバスがあればすごく便利だと思う。
柴町方面に内科医があると良い。
こいこいバスの運行時間を早朝と 22 時頃までの運行をお願いしたい。
回転寿司など、外食産業の誘致。
犯罪や自然災害についての情報がほしい。
大竹市で一番にぎやかなゆめタウン周辺に行くのに交通が不便。早く近所に駅を作してほしい。
バスが団地に来ない。
水道のトラブルに行政が真面目に対応。
JR小方駅の早期の実現。
買い物、交通の利便性向上。
上水道が利用できるようにしてもらいたい。
バスが住んでいる地域(小方ヶ丘)に停まらず、学校など通学なども不便。中学までは便利だが、それ以降の学校は他地域への居住を考えている。
JR小方駅の早期完成。既存駅間が長過ぎる。早期完成を望む。
公共の交通が不便。
廿日市から1年前に戻って来たが、ゴミの分別が大変。大型ゴミのゴミステーションでの回収がないのも不便。
広島岩国道路の料金が安い。
近くにお店がほしい。
また水が出なくなるという不安がある。野良猫が多過ぎる。
工場のそばで騒音、振動がある。
老朽化した空き家の利用、処分の推進。
国道を広くして駅前に飲食店を増やしてほしい。水害の心配を感じないまちづくりを目指してほしい。
交通インフラの充実。現在JRを利用したい場合に駅までのアクセスが不便で諦めることがある。バス路線、駐車場が増えれば利用したい。
生活に関することが一番重要と感じた為。環境面整備で生活豊かになると良い。
スーパー、コンビニを増やしてほしい。
高齢者が多い市なので(特に玖波)、歩いて行ける範囲に店が必要である。
早く小方駅ができると良い。交通整備が必要。

C 生活・環境 分野
公園を増やし充実させてほしい。
資源はたくさんあるので、市外からもっと人が訪れるようなまちづくりがあると良いと思う。
車ありきの生活の為、不安要素がある。
JRが次第に不便なダイヤになり、通勤通学、買い物、文化、芸術面などで不便。広島市内に出にくくなっている。もっとJRを利用してほしい。
玖波地区に住んでいるが、買い物はトライアル、ゆめタウンまで毎回車でやっている為、玖波地区にスーパーを作してほしい。
小方駅の設立。
夜道は暗くて怖い。
脇道(住宅と住宅の間)の舗装。でこぼこしていたりつぎはぎのまま陥没もある。きれいにしてほしい。
こいこいバスの便数を増やしてほしい。
公道沿いの雑草が伸び放題で見通しが悪く危険を感じる。定期的に除去してほしい。
大竹はかなり高齢化が進んでいて交通に不便を感じている人がとても多いと感じる。バスの路線も主要部分しか走っていないし、得に不便を感じるのは山間に近い人々のはず。免許返納に躊躇することなく積極的に考えられるシステムを構築していただきたい。小方小学校までもバスが通っていないことやそれより山側奥へ路線がないこともとても不思議でならない。主要部だけくるくる回っていてもどうかと思う。また返納する人はとても不便に思うので、その人々へのフォローもしっかりしてほしい。タクシー券配布などももっと考えてほしい。
国道2号線の渋滞緩和。
栄町にはバスが来ないので年配の人は不便だと思う。
道路など、街並みの整備。休憩場所、遊べる場所。
ゴミのポイ捨てが多く汚い印象。清掃の雇用を増やし美化に努めてほしい。
高齢化が進み買い物等の交通手段となる為、公共交通を充実させてほしい(巡回バスを小型化してルートを増やす)。
通院や通勤や買い物などで定期的にバスを利用したいので、栄町側からでは駅(踏切)を通り越して西口のバス停まで行かねばならず大変不便を感じる。ぐるりんタクシーなるものはバスと違いわざわざ予約せねばならず非常に利用しづらく、総じて栄町側の交通網が手薄すぎるので東口側からも主要なスーパーなどを経由しつつ玖波駅まで向かえるルートでバスを開通してほしい。
大竹市に来たことない方にきてもらっていたときに、空気が良くないと言われていた。(工場の影響が大きいかと思いますので、仕方ないところはではあると思いますが…)。
物価高に加え、増税による所得の減少により、生活が苦しくなっている。現金給付や以前実施していたクーポンの配布など実施してほしい。
水害に悩まされることが多いので対策を講じてほしいです。
交通手段であるこいこいバスの増便をお願いしたいです。
工場が多いせいで煙を多く吸い子供が喘息を患ったため。

D 安全・安心 分野
地域連絡網の充実。
家屋が老朽化しており、地震、台風など心配である。耐震補強などの補助を増額してほしい。
高齢者が利用できる施設がないように思う。
周りに一人暮らしの方が増えている。自分の番になった時の幸せな過ごし方を考えている。
80 歳以上の老夫婦なので、歩道、自転車道、シニアカーの道が悪過ぎる。もっと道路を広くして坂道をなくすこと。道がひび割れてタイヤがはまる。穴があいてデコボコして倒れそうになる。滑らかな広い道がほしい。
自然災害が多く起こっている。対策をお願いしたい。
街灯が少ない。
自然災害への対応は必要。
自然災害が多いので地域ごとに対策を考えシミュレーションしてみる。
詐欺、泥棒対策。
近くで空き巣が入っても情報が入って来ないのが不安(空き巣に入られた知人から後日情報が入って知ったため)。
緊急車両などが入れない道が多いので改善できるようにであればしてほしい(火事の時や災害時)。
高齢者が安心して暮らせるまちにしてほしい。バスの利用のしやすさなど。
交通の便が悪い。
防災情報の伝達手段が6項目上がっていたが、どういったものかわからない。防災無線が一番身近だが、何を言っているのかはほぼ聞こえない。
大竹小中～本町間の排水が悪く、大雨時に冠水、下水の逆流が発生するので改善してほしい。持ち家を購入してからだと自分ではどうしようもない。
老朽化した水道管を新しくしてほしい。
道路整備。
浸水対策が一向に進まない。行政の動きが悪い。
ボランティアリーダーの若手の育成や物品の支援。
防災。地震の可能性がある為。
災害が大きくなりたくないまちづくりを望むから。
お年寄りが多いから。
今後高齢になるので心配。
自然災害に力を入れてほしい。
防災無線放送が聞き取りにくい。
災害に対するライフラインのロバストネス向上(選択と集中)。日本人優遇の施策による労働力確保(治安と文化の維持)。
災害になるべく早く対応できる取り組み。断水があった時など早急に給水車で準備し連絡するような体制があると良い。
有人の派出所を増やしてほしい防犯カメラの設置を増やしてほしい。
地震、地滑り、漏れ対策など、自然災害に対する市民の生命、財産の確保。
おとなも子どもも安全、安心して住めるよう皆で市民を守っていくこと。
獣対策の充実。
防災行政無線が聞こえにくい。無線を増やしてほしい。

D 安全・安心 分野
南海トラフ大地震対策。大津波(大竹市は危険地域)に対応できるように設備の整備を早急に。
車が侵入できないところに住宅がある場所があるので、救急車などが入れない不安がある。
怪しい電話番号がかかる。電話番号は簡単に変更できないものか。
防災対策。歩道、用水路の整備。
テレビで一応の知識は得られているが、高齢者ばかりで地区を支えている町内では不安に思う。災害(水害)など未経験なので特に不安がある。
防災放送は聞き取りにくい。3回くらい発声すると良いのでは。市民の安全、安心の大事。目配り気配りは公務の要。
災害が起きた時、結局どこに避難するのかいまだによくわかっていないので、事前に今より詳しい情報が開示されている方が良いと思う。
ゲリラ豪雨が各地で発生し、崖崩れなどが起きている。
12時のサイレンを鳴らしてほしい。
防災を頼みたい。
河川の改修工事。
我が家はまだ子どもが中学生なので、安心して登校できる環境を維持するために、見守り活動など仕事のない日にしか出来ませんが、登校ルートに危険な場所はないか、夕暮れ時電灯が足りるのか。
歩道を整備して欲しい。整備されれば自転車や歩くことを考える。
近年の異常気象による自然災害だけでなく、工場が多いため大事故が起こると地域にも影響が及ぶ可能性があるため。
災害が多いから。
巨大地震や異常気象による大きな災害が起きるといわれています。有事だけでなく、社会的な弱者を支援できる行政のお仕事としての中で一番大切なことであると思うので。
災害対策の、さらなる充実を。平野部の空き家の、活用等。

E 健康・福祉 分野
専門的な病院がない。西医療センターも診療内科など専門的でない。
産婦人科や休日救急医などが少なくなっている為。耳鼻科や小児科なども少なくなっている。
大竹には産婦人科がないのでできたら良いと思う。
病院の患者への対応を行政も見してほしい。
健康で文化的な生活を送りたい。福祉の充実も望む。
医療体制を充実させる。18 歳未満の医療費ゼロ。
70 代後半なので不安がある。
病院を増やしてほしい。特に皮膚科。
子ども医療費を岩国市のように無料にしてほしい。
高齢化社会に不安を感じている。福祉の充実を求める。
産婦人科がない。出産時に困る。
高齢になり、認知や障害を持っても基本的には公的に日常の助けは得られない。日々の支えのケアを細かくに考えてほしい。
高齢者に対してのスポーツなどの PR をもう少しやった方が良いのでは。
大竹市で安心して赤ちゃんを出産できる病院施設がない。大竹市に子どもたちの屋内遊び場があればと思う。
年金で入れるような老人ホームがほしい。
老人施設が少ない。
公的な充実した老後施設。
介護施設が最優先で、もっと安価で安心できることを求めている。
分娩ができる産婦人科があれば安心である。
特養をもっと増やしてほしい。
産婦人科病院の充実。
福祉施設が少ない。
自分や家族が通っている病院、リハビリ施設が全て廿日市市になっている。大竹にはないものが多い。
高齢者がコミュニケーションを取れる場所がほしい。
足が不自由なので福祉関係の充実を望む。
未就学児の療育がほぼない。廿日市市、広島市に行かざるを得ない状況。
市民プールをなんとかしてほしい。土地がもったいので屋内プールを作してほしい。
医師の充実(産科など)。
子どもの医療費助成は大変助かるが、近隣の和木や岩国は無料と思うと羨ましく思う。500 円でも何人も子どものいる家庭では負担になる。
通院が大変である。
週1回大竹体育館アリーナで運動をしているが、この時期アリーナの室温 30 度以上になりとても危険な状態である。早くエアコン対応してほしい。
一人になった時、年金で入れる施設が増えると良いと思う。
医療機関で風邪の症状がある時診療を断るような病院をなくしてほしい。
高齢者になった時に手続きなどが一人でも簡単に進められたらと思ったから。
老人ホームの在り方に疑問を感じる。清潔感が感じられない。

E 健康・福祉 分野
超高齢化が進んでいる中で一人暮らしの高齢者が増えている。高齢者の見守り、互助などについて地域での取り組み。
高齢者なので介護施設など。
医療機関が少ない。産婦人科がない。子どもの休日当番医がない。市内に当番医があれば西医療センターを受診して高額な選定療育費を支払う必要もなかったのにと地域格差を感じる。ゴールデンウィークやお盆、年末年始など、かかりつけ医が休診の時が不安。
高齢者が健康維持できるようにまた孤独にならないように、楽しく長生きできるような環境
健康診断自己負担額 1000 円以下は無償にならないのか。
高齢者が安心して生活できる環境や施設を充実させてほしい。
高齢者なので今後の生活に不安がある。わかりやすい情報をわかりやすく教えてほしい。
耳鼻科と皮膚科が1ヶ所しかない。
高齢化が進む中、施設をスムーズに利用できるようにしてほしい。
子育て支援対策の充実。医療費の無料化など。
健康・福祉。管理が充実しているから。今後共さらなる充実を継続してもらいたい。
他国のように公園に簡単なトレーニング器具を設置してほしい。トレーニングルームの器具を新しくしてほしい。
高齢者が増える中、いつでも参加できる運動教室などが盛んになってほしい。
子育てをしやすくする為にもっと支援する制度を作った方が良い。
人間ドック、今回抽選に漏れ受けることができなかった。高齢者には受けられるようにしてほしい。
小児の救急外来があると助かる。
出産が可能な施設が必要。
今は現役で働いているので活動も車を利用し不便はないが、体力は年々落ちている。地域全体で運動や体力作りができる場があれば良いと思う。
耳鼻科、皮膚科が増えれば良いと思う。
住民同士がお互いに支え合える地域づくりになったらいい。
病院の充実。里帰り出産ができる環境。
子育て世帯の子どもも大人も参加できる運動教室など。
病院の心療内科の偏りをなくしてほしい。
病院を増やしてほしい(特に皮膚科)。
産婦人科、小児科の充実。
近い将来介護を受ける身として福祉施設の充実を願いたい。
運動できる機会や場所をもっと作ってほしい。総合体育館のトレーニングジムをきれいにしてほしい。わかりやすく宣伝をもっとすべき。スーパーや駅にポスターを貼るなど。
高齢者終身サポート。
大人が利用できる屋内プールがない。民間企業と連携してスポーツジムなども合わせて運営できないだろうか(大野マルクル参考)。
健康寿命を延ばす為の取り組みをしてほしい。老々介護にならない為に。
病院代を安くしてほしい。
晴海公園のウォーキングコースに目安となる距離(m)を入れてもらうと良い。
シニア世代への介護保険料の軽減化。シニア世代向けの保健、医療体制の充実。

E 健康・福祉 分野
歳を重ねると健康にも不安を感じる。サポート体制のようなものができたらいいと思う。
耳鼻科、皮膚科、産科の病院が増えると助かると思ったから。
皮膚科、耳鼻科の病院がほしい。
大竹市の西医療センターに満足していない訳ではないが、専門分野(産婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科)などの分野が毎日利用できると良い。
老人施設が少ない。
産婦人科がないので産めなくてもせめて診察ができるようにしてほしい。
病院が少ない。
身体、心の健康など、医療機関の充実。
障害のある子を知ってほしい。大竹市に住んで良かったなとなるような充実した支援、施設を考えてほしい。
子育てをしやすいまちづくり。インフルエンザ予防接種などの助成があると受けやすい。子どもを多く育てたいけれどそういうので考えてしまう。
自分がセラピストとして健康や美容を目的とした仕事をしているから。大切な人にもいつまでも元気でいてほしいから。
公園を整備して市民が運動できるようにするのがいいと思う。
医療機関が少ない。
体づくりのための施設の充実、ウォーキング、サイクリングなどの道の整備。高齢者の交通手段の充実。
医療機関が充実していない。周辺地域で受診するにも交通機関がJRだけで不便。往診ではない訪問医療体制を整える。
市民プールを作ってほしい。健康のため
医療機関の充実。

F 自治 分野
高齢化で参加者が少ない。中年者の参加推進。
南栄地区だが、昔のような行事がなくて寂しい。
自治会は必要だが、我々は高齢者になると役員にも参加できなくなっている。
市としての現実的な長期的プランを策定してほしい。
自治会の在り方を考え直すべきではないだろうか。自治会を必要としているのは60代以上だけである。
少数自治会は自治会長の担い手がいない。
住み良いまちづくり。リピーターが増えることを考える。
自治会の役割が多過ぎる。特に会長の仕事(選出にも苦労)。高齢者が多くなり、若い人たちは自治会に入会する人が少ない。そのうち自治会がなくなると思う。
大竹市の自治会活動は段々さびれていく気がしている。もう少し力を入れてほしい。
スマホがない人に提供しては。固定電話もどこからかかったか番号がわかる操作法がほしい。無言電話があるため。
コロナも収まったので、少しずつ自治会の方でコミュニケーションを取るといいと思う。
イベント情報などの周知方法が不足していると感じる。伝達手段が整備されるとよい。ラジオ、防災無線など。
高齢化が進み地域活動の担い手が少なくなっているため。

(4) 属性別分析

●性別

分野	分野別取組宣言	問番号	設問	R5							
				男性				女性			
				設問		項目		設問		項目	
				「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
A 教育・文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	60.9%	11	62.0%	2	61.8%	12	63.1%	2
	学び楽しむ心豊かなまちづくり	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	49.1%	18			53.6%	15		
	一人ひとりを大切にするまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	52.0%	15			56.7%	14		
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	82.3%	2			77.8%	2		
	歴史や文化を大切にするまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	65.5%	9			65.7%	8		
B 産業・雇用	活気ある産業のまちづくり	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	32.8%	24	31.3%	6	33.5%	24	31.4%	6
	多くの人が訪れるまちづくり	⑥	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	14.2%	26			17.0%	26		
	地域経済が元気なまちづくり	⑦	多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	41.6%	21			37.3%	23		
	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	36.5%	23			37.8%	21		
C 生活・環境	快適で暮らしやすいまちづくり	⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	49.6%	17	56.4%	4	49.7%	17	56.7%	4
		⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	40.4%	22			37.7%	22		
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	60.1%	13			63.0%	10		
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいいと感じますか。	62.7%	10			65.1%	9		
	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよいと感じますか。	56.0%	14			51.2%	16		
	環境にやさしいまちづくり	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	69.8%	7			73.3%	5		
D 安全・安心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレフォンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	71.8%	6	68.4%	1	72.2%	6	64.8%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。	50.4%	16			45.2%	20		
	事故や犯罪の少ないまちづくり	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	73.8%	4			68.0%	7		
	命を大切にするまちづくり	⑮	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	77.5%	3			73.9%	4		
E 健康・福祉	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	67.3%	8	61.9%	3	61.9%	11	60.4%	3
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	48.8%	19			46.4%	19		
	見守り支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	46.6%	20			46.9%	18		
	みんないきいき元気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	60.6%	12			57.2%	13		
		⑲-2	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	86.1%	1			89.7%	1		
	F 行政運営	地域を愛する人づくり	㉔	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	73.8%			4	51.3%		
市民と行政の協働		㉔-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	28.7%	25	28.4%	25				
合計				56.1%				55.6%			

R4								R3								R5-R3							
男性				女性				男性				女性				男性				女性			
設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目	設問	項目
「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
56.8%	13	57.0%	5	57.8%	13	58.2%	4	61.7%	8	63.9%	2	67.0%	9	66.5%	2	▲ 6.1%	21	▲ 1.9%	▲ 3	▲ 5.2%	17	▲ 3.4%	▲ 2
49.6%	18			57.2%	14			59.9%	11			64.0%	14			▲ 14.9%	26			▲ 10.4%	26		
47.0%	20			46.4%	20			56.3%	15			57.0%	17			▲ 5.0%	17			▲ 0.3%	6		
78.1%	2			69.7%	6			82.2%	2			80.8%	2			1.5%	6			▲ 3.0%	12		
53.7%	16			60.1%	12			59.1%	14			64.0%	13			1.5%	5			1.7%	4		
32.7%	25	32.2%	6	37.7%	23	34.1%	6	26.5%	25	27.2%	6	34.2%	23	31.1%	6	▲ 1.4%	10	4.1%	0	▲ 0.7%	7	0.3%	0
15.8%	26			22.5%	26			12.9%	26			12.8%	26			1.4%	7			4.2%	2		
41.2%	23			36.5%	24			30.2%	24			32.5%	24			9.1%	1			4.8%	1		
39.6%	24			39.9%	22			39.4%	22			45.2%	22			▲ 8.7%	25			▲ 7.4%	20		
57.5%	12	60.3%	3	57.0%	15	60.7%	3	59.1%	13	57.4%	4	57.1%	16	62.0%	4	▲ 7.5%	23	▲ 1.0%	1	▲ 7.4%	21	▲ 5.3%	1
48.8%	19			44.8%	21			46.1%	21			46.1%	21			▲ 5.7%	19			▲ 8.4%	24		
62.2%	11			67.3%	9			60.4%	9			65.0%	11			▲ 4.9%	16			▲ 2.0%	9		
67.3%	7			71.8%	4			59.4%	12			68.2%	8			▲ 5.5%	18			▲ 3.1%	13		
54.9%	14			55.0%	16			51.2%	18			59.0%	15			▲ 3.0%	13			▲ 7.8%	22		
71.4%	5			68.8%	8			68.2%	6			76.7%	5			▲ 6.9%	22			▲ 3.4%	14		
65.0%	8	65.9%	1	69.5%	7	67.4%	1	66.0%	7	67.6%	1	69.5%	7	67.7%	1	2.3%	3	0.8%	0	2.7%	3	▲ 2.9%	0
54.8%	15			54.6%	17			52.0%	17			51.0%	20			▲ 0.6%	8			▲ 5.8%	19		
69.3%	6			74.2%	3			76.9%	3			72.0%	6			1.8%	4			▲ 4.0%	15		
74.3%	4			71.0%	5			75.0%	5			78.3%	3			▲ 0.8%	9			▲ 4.4%	16		
64.5%	9	62.8%	2	65.4%	10	64.5%	2	60.3%	10	59.1%	3	64.6%	12	65.8%	3	2.7%	2	2.8%	1	▲ 2.7%	11	▲ 5.4%	1
50.4%	17			50.9%	19			47.8%	19			51.8%	19			▲ 3.0%	12			▲ 5.4%	18		
46.5%	21			53.3%	18			47.3%	20			55.3%	18			▲ 8.7%	24			▲ 8.4%	23		
62.4%	10			61.0%	11			53.3%	16			66.6%	10			▲ 6.0%	20			▲ 9.4%	25		
89.9%	1			91.1%	1			86.4%	1			89.8%	1			▲ 3.7%	14			▲ 0.1%	5		
77.7%	3	59.8%	4	76.9%	2	53.9%	5	75.2%	4	55.6%	5	78.0%	4	54.3%	5	▲ 4.2%	15	▲ 4.4%	1	▲ 2.3%	10	▲ 2.2%	0
41.4%	22			30.0%	25			35.9%	23			30.1%	25			▲ 1.4%	11			▲ 1.7%	8		
56.6%				57.3%				55.7%				59.1%				▲ 2.9%				▲ 3.4%			

【全体的な傾向】

各分野の各設問で「はい」と答えた人の割合の単純平均値により、全体的な傾向を捉えたものです。
「はい」と答えた人の割合は、「男性」56.1%、「女性」55.6%と、「男性」が「女性」よりやや高くなっています。しかし分野別でみると、6分野中のうち5分野で、「女性」のほうが「はい」と答えた人の割合が高くなっています。

男女差が5ポイント以上のもの

男女差が5ポイント以上あったのは次の3つの設問でした。
昨年度は8つの設問で男女差が5ポイント以上あり、うち6つの設問が6ポイント以上の差で、最も男女差が開いたのは11.4ポイント差でした。
今年度は男女間に大きな差がないうえ、昨年度に該当した設問はすべて5ポイント未満の差でした。

(単位：％、ポイント)

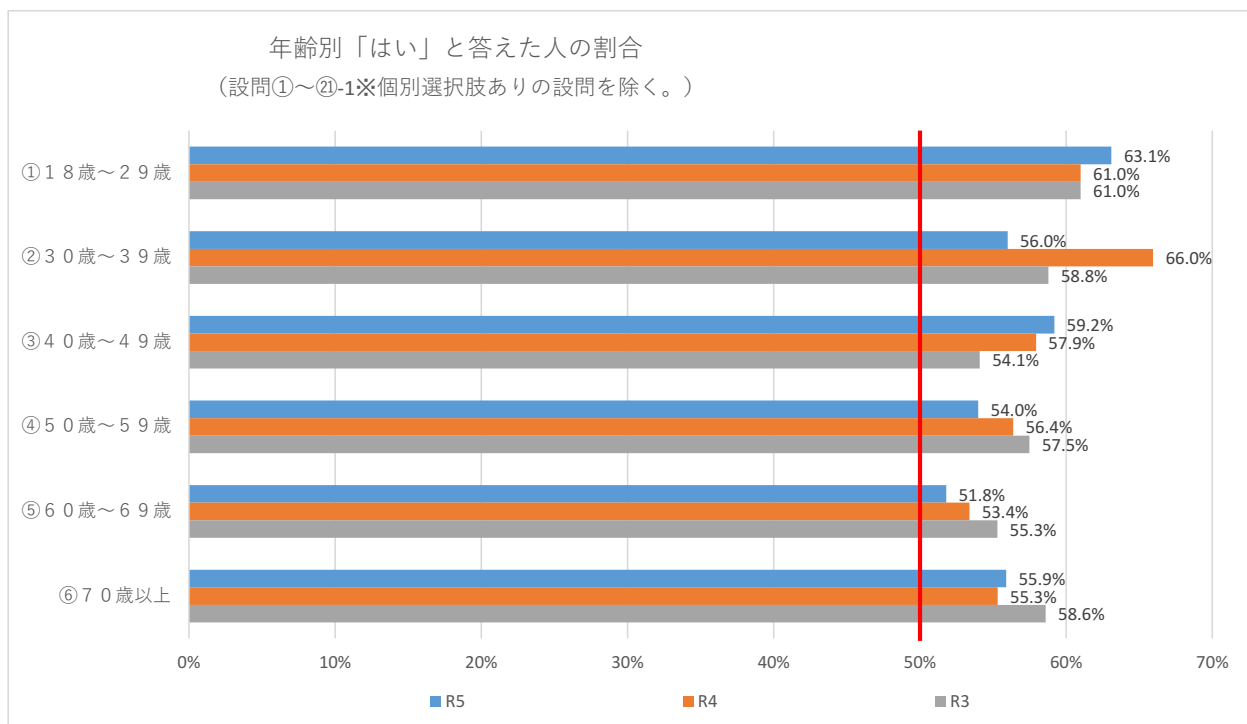
分野	設問番号	設問	男性	女性	差
			「はい」の割合	「はい」の割合	
D 安全・安心	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	73.8	68.0	5.8
E 健康・福祉	⑯	大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	67.3	61.9	5.4
D 安全・安心	⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。	50.4	45.2	5.2

【項目・設問にみられる傾向】

「はい」と答えた人の割合の分野別の順位は「男性」「女性」とともに1位から6位まで同じでした。最上位の分野と最下位の分野の差は、「男性」が37.1ポイント、「女性」が33.4ポイントと、共に30ポイント以上の差が生じています。

設問ごとの男女差で差が大きかったものは「D安全・安心」分野で、「⑭地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。」の設問が5.8ポイントの差で、男性のほうが「はい」の割合が高くなっています。また、「E健康・福祉」分野の「⑯大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。」の設問でも、5.4ポイントの差で男性のほうが「はい」の割合が高くなっています。

●年齢



【全体的な傾向】

どの年齢層においても、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。

年齢層別の「はい」と答えた人の割合は、「18～29歳」が63.1%で最も高く、次いで「40～49歳」、「30～39歳」の順に高くなっており、「60～69歳」が最も低くなっています。

年齢別「はい」と答えた人の割合

年齢	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営		合計	
	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
①18～29歳	73.5%	1	48.4%	1	71.0%	1	78.2%	1	67.7%	1	39.7%	6	63.1%	1
②30～39歳	65.7%	3	42.5%	2	64.9%	3	66.0%	5	57.3%	5	39.9%	5	56.0%	3
③40～49歳	70.2%	2	31.8%	3	66.1%	2	77.2%	2	60.4%	3	49.8%	3	59.2%	2
④50～59歳	60.4%	5	30.2%	4	57.4%	4	70.1%	4	58.0%	4	48.0%	4	54.0%	5
⑤60～69歳	58.7%	6	25.3%	5	54.2%	5	65.1%	6	55.1%	6	52.4%	2	51.8%	6
⑥70歳以上	60.6%	4	28.8%	6	51.3%	6	75.3%	3	63.4%	2	56.3%	1	55.9%	4

【項目・設問に見られる傾向】

分野別では、「18～29歳」は6分野中5分野で「はい」と答えた人の割合が最上位となっています。

「C 生活・環境」分野は、「はい」と答えた人の割合が若年層ほど高くなっています。

6分野の「はい」の割合平均では、「D安全・安心」が最も高くなっており、全ての世代で関心がある分野といえます。

●住所

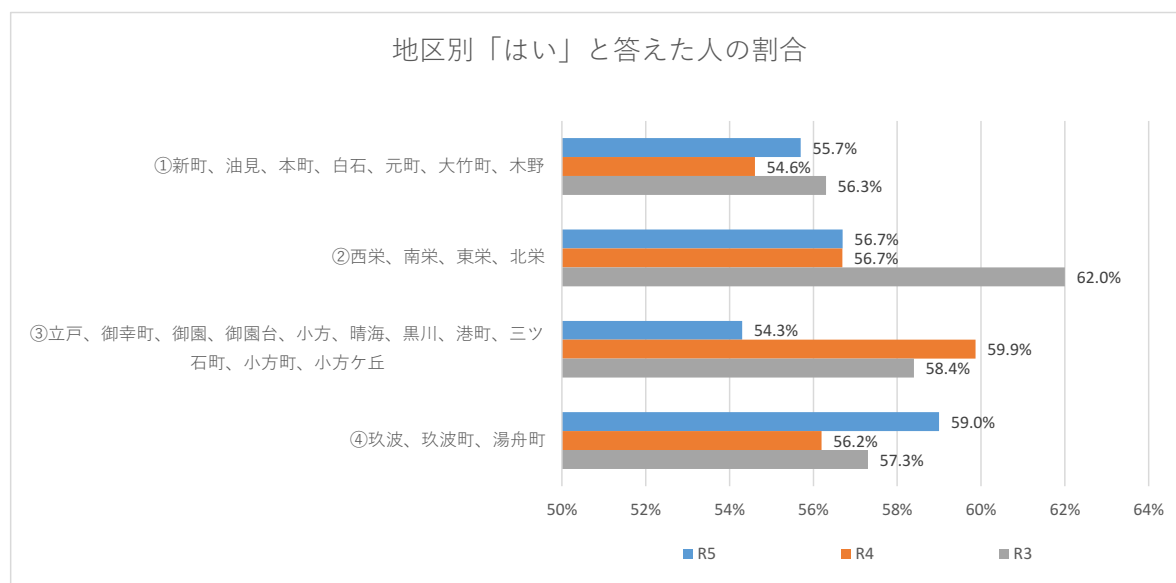
回答数100以上の次の4つの地域で比較しています。

①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野

②西栄、南栄、東栄、北栄

③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ケ丘

④玖波、玖波町、湯舟町



【全体的な傾向】

いずれの地区も、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。

最も割合が高かったのは「④玖波、玖波町、湯舟町」で最下位の「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ケ丘」と比較して、4.7ポイントの差が生じています。

昨年度と比較して「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ケ丘」の減り幅が顕著で4.7ポイント下がっています。

地区別・分野別「はい」の割合

(単位：%)

地区	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営	
	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位	「はい」 の割合	順位
①新町、油見、本町、白石、 元町、大竹町、木野	63.5%	2	28.8%	4	57.1%	2	74.4%	1	60.1%	3	50.2%	3
②西栄、南栄、東栄、北栄	62.1%	3	31.3%	3	60.5%	1	74.1%	3	60.5%	2	51.6%	1
③立戸、御幸町、御園、御園 台、小方、晴海、黒川、港 町、三ツ石町、小方町、小方 ヶ丘	60.1%	4	32.4%	2	57.1%	2	68.2%	4	58.1%	4	49.7%	4
④玖波、玖波町、湯舟町	66.1%	1	35.8%	1	55.2%	4	74.2%	2	67.0%	1	56.1%	1

【項目・設問に見られる傾向】

地区別で「はい」と答えた人の割合は、「④玖波、玖波町、湯舟町」が6分野中4分野で最上位となっています。

地区によって最も差が大きかったのは「E健康・福祉」分野で、最も高い「④玖波、玖波町、湯舟町」と最も低い「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘」で8.9ポイントの差が生じています。

2 大竹市の住み良さや居住意向について

問 あなたは大竹市が住み良いまちだと感じますか。

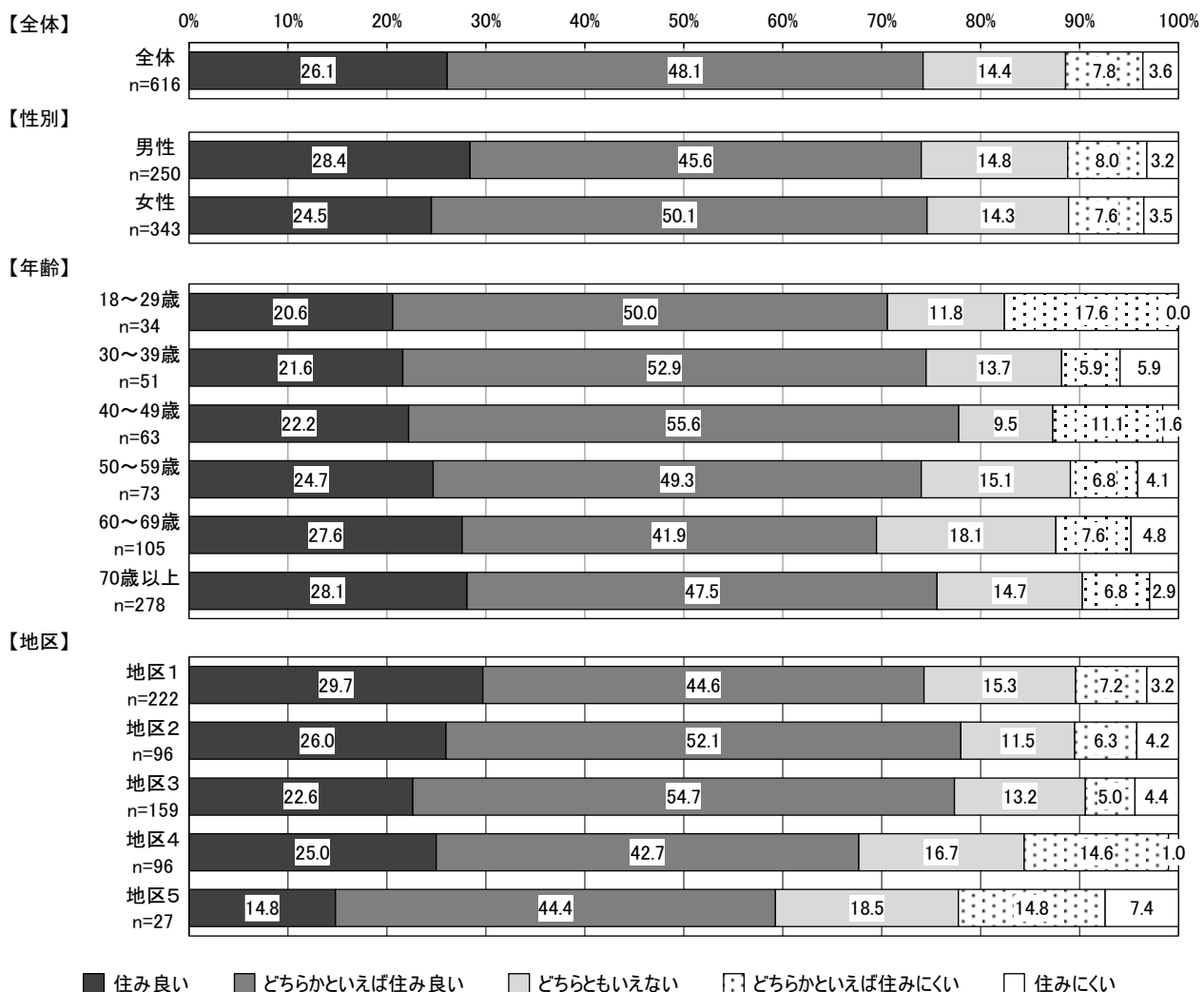
【全体】『住み良い』(「どちらかといえば住み良い」を含む。以下同じ。)が74.2%、
『住みにくい』(「どちらかと言えば住みにくい」を含む。以下同じ。)が11.4%、
「どちらともいえない」が14.4%となっています。

【性別】大きな差は見られません。

【年齢】「40～49歳」が『住み良い』の割合が最も高くなっています。
「60～69歳」が『住み良い』の割合が最も低くなっています。

【地区】「地区2」が『住み良い』の割合が最も高くなっています。

「地区5」が『住み良い』の割合が最も低くなっています。



地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

問 大竹市の住み良いところは何ですか。(複数回答)

【全体】「治安が良い」が50.0%で最も高く、

「自然環境が豊か」が49.7%で次に高く、

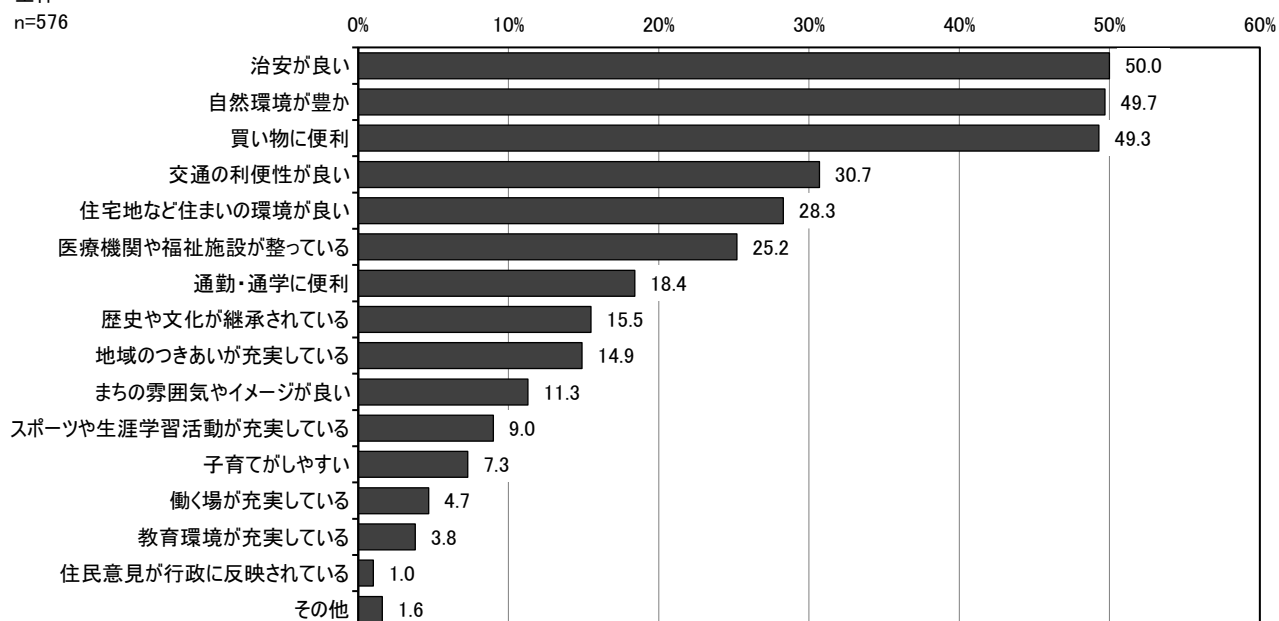
「買い物に便利」が49.3%で3番目に高くなっています。

【性別】「女性」が「男性」に比べて「治安が良い」の割合が低くなっています。

【年齢】「30～39歳」が他の年齢に比べて「買い物に便利」の割合が高くなっています。

【地区】「地区5」が他の地区に比べて「自然環境が豊か」の割合が高くなっています。

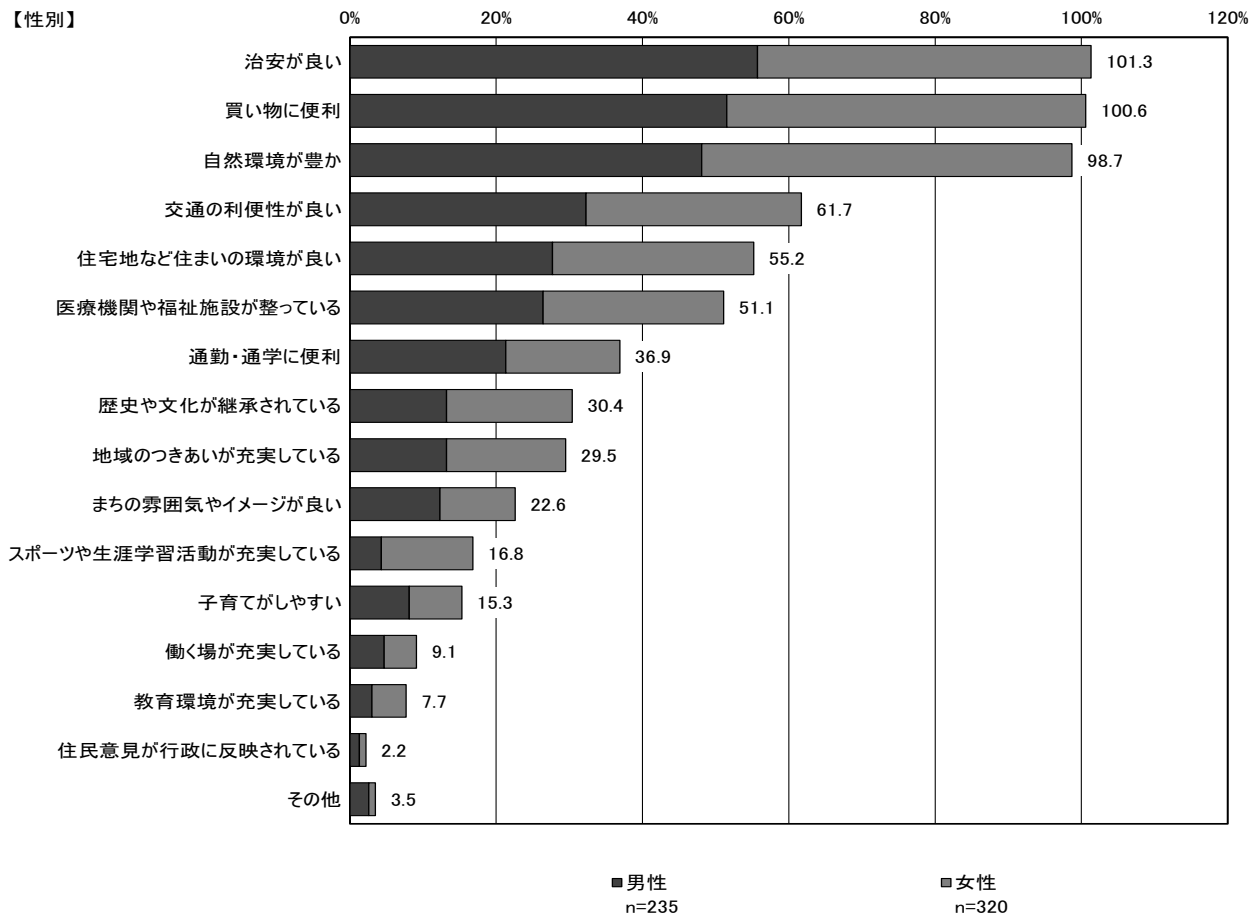
全体
n=576



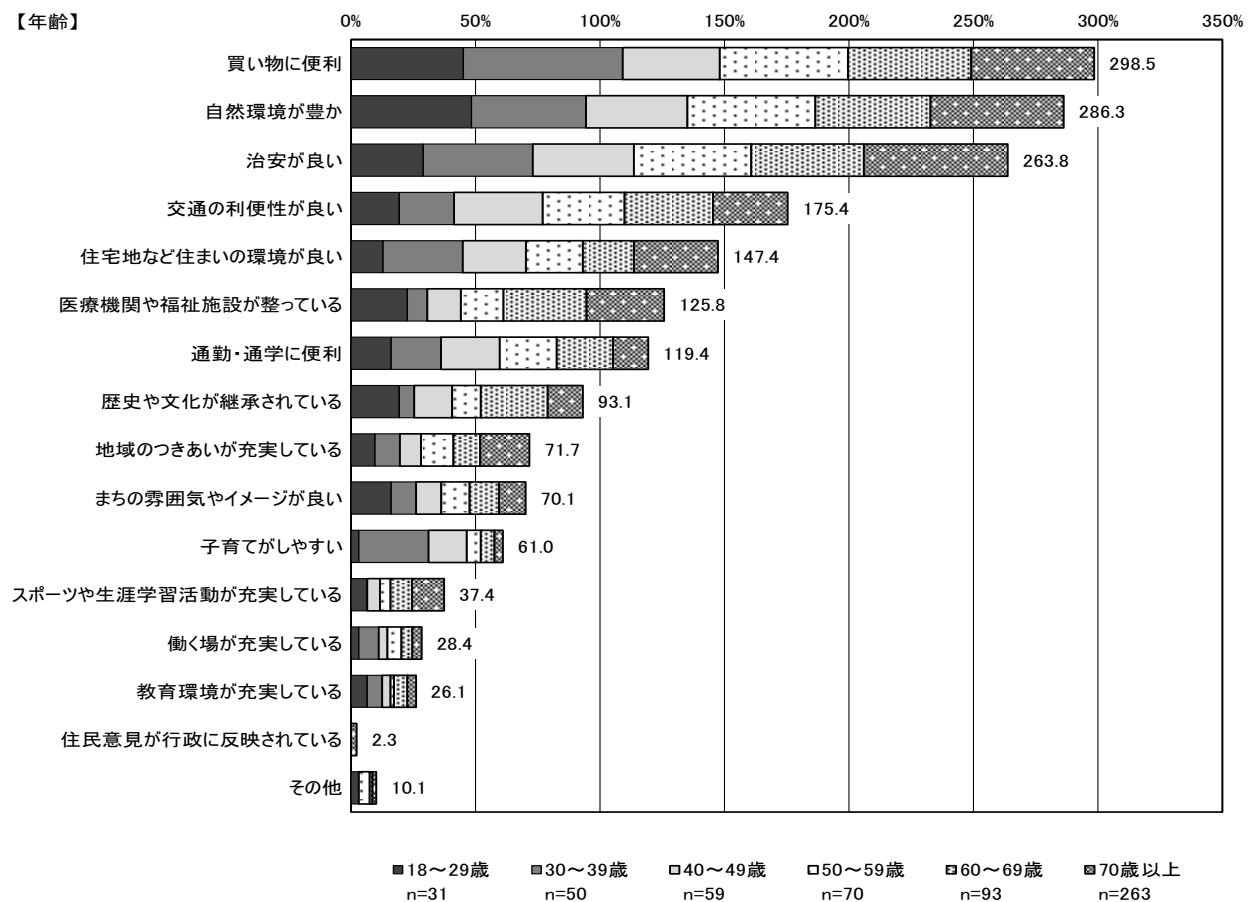
■その他の内容

- ・災害が少ない
- ・上水が豊富 など

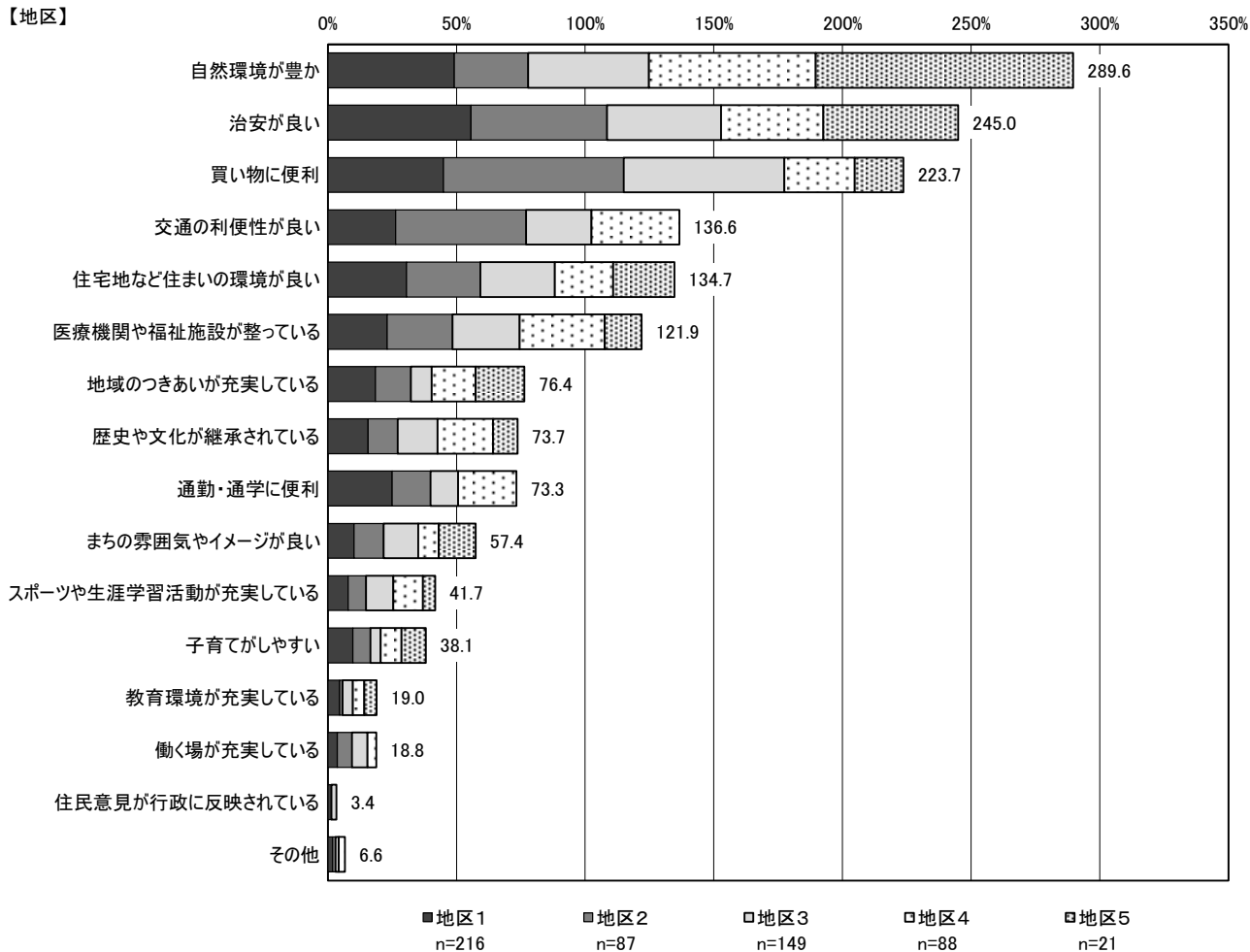
【性別】



【年齢】



【地区】



地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

問 大竹市の住みにくいところは何ですか。(複数回答)

【全体】「交通の利便性が悪い」が50.3%で最も高く、

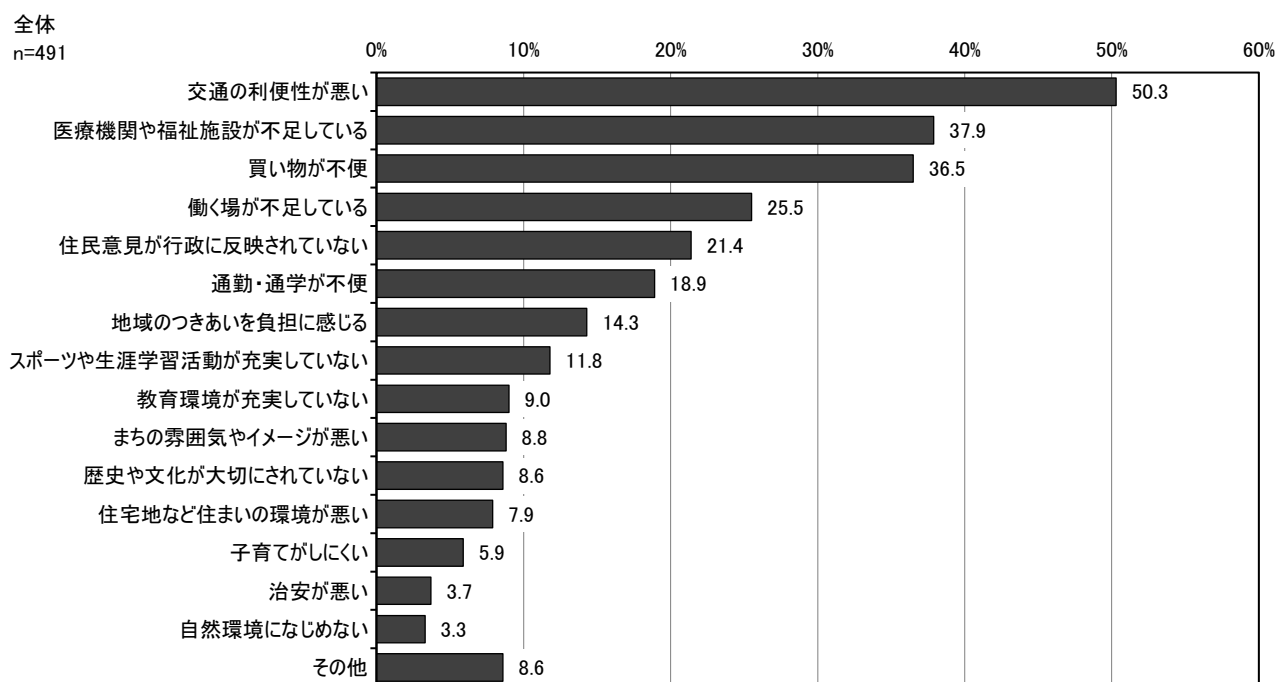
「医療機関や福祉施設が不足している」が37.9%で次に高く、

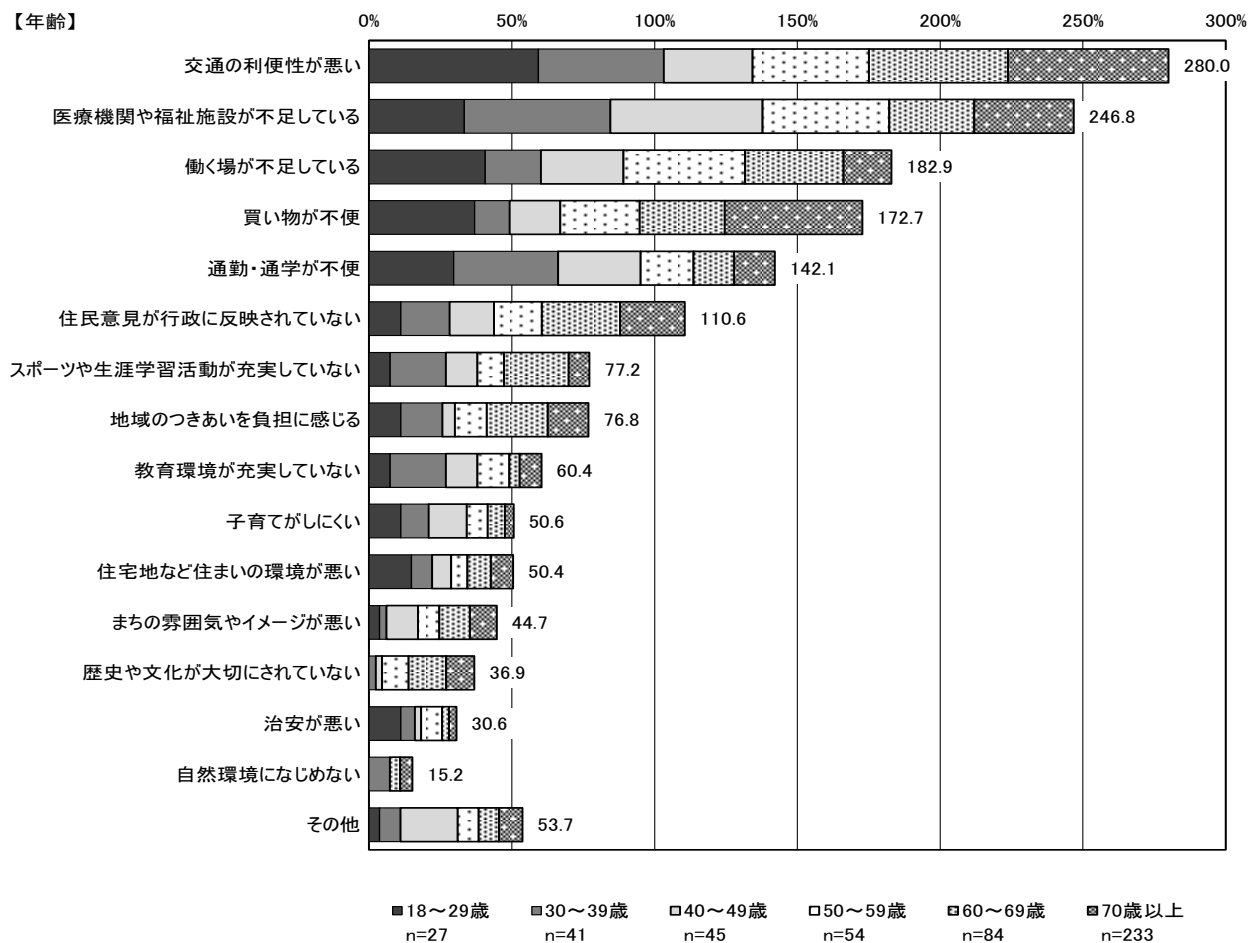
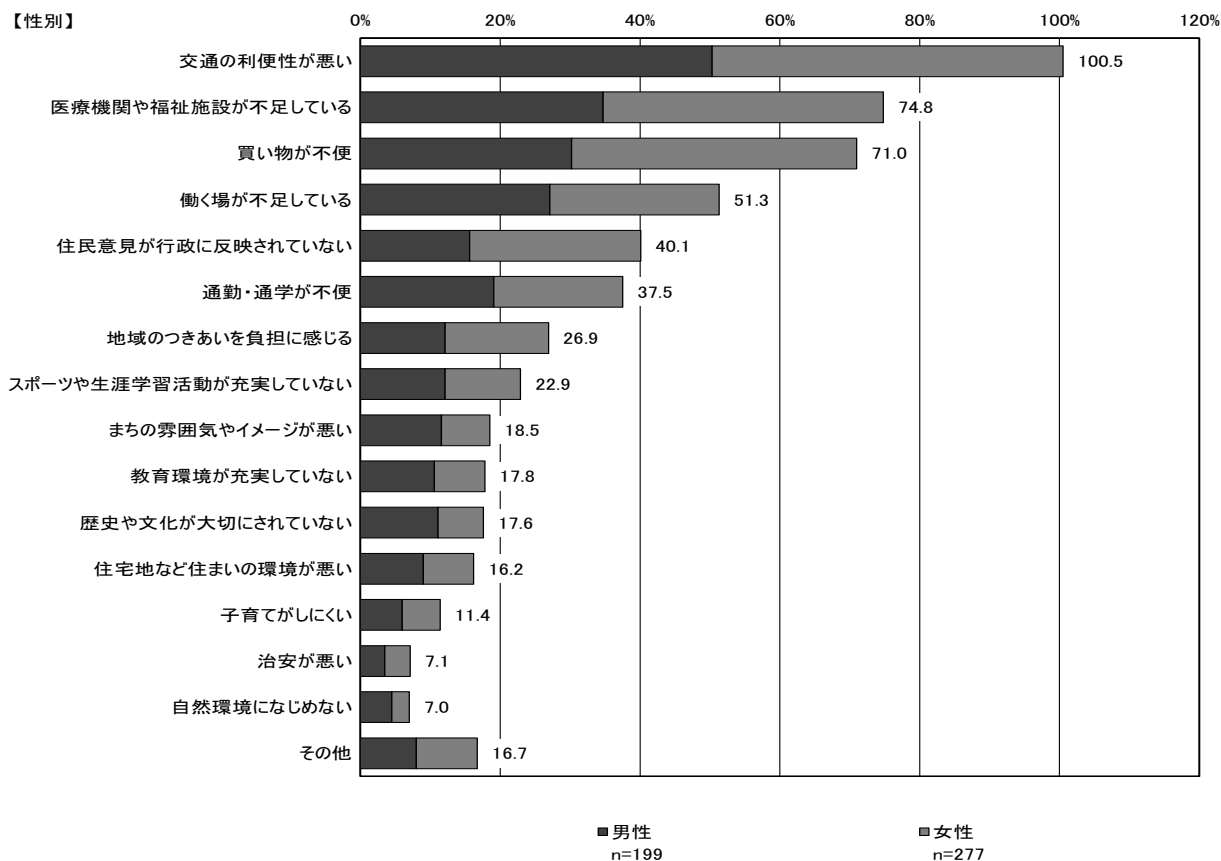
「買い物が不便」が36.5%と3番目に高くなっています。

【性別】「女性」が「男性」に比べて「買い物が不便」の割合が高くなっています。

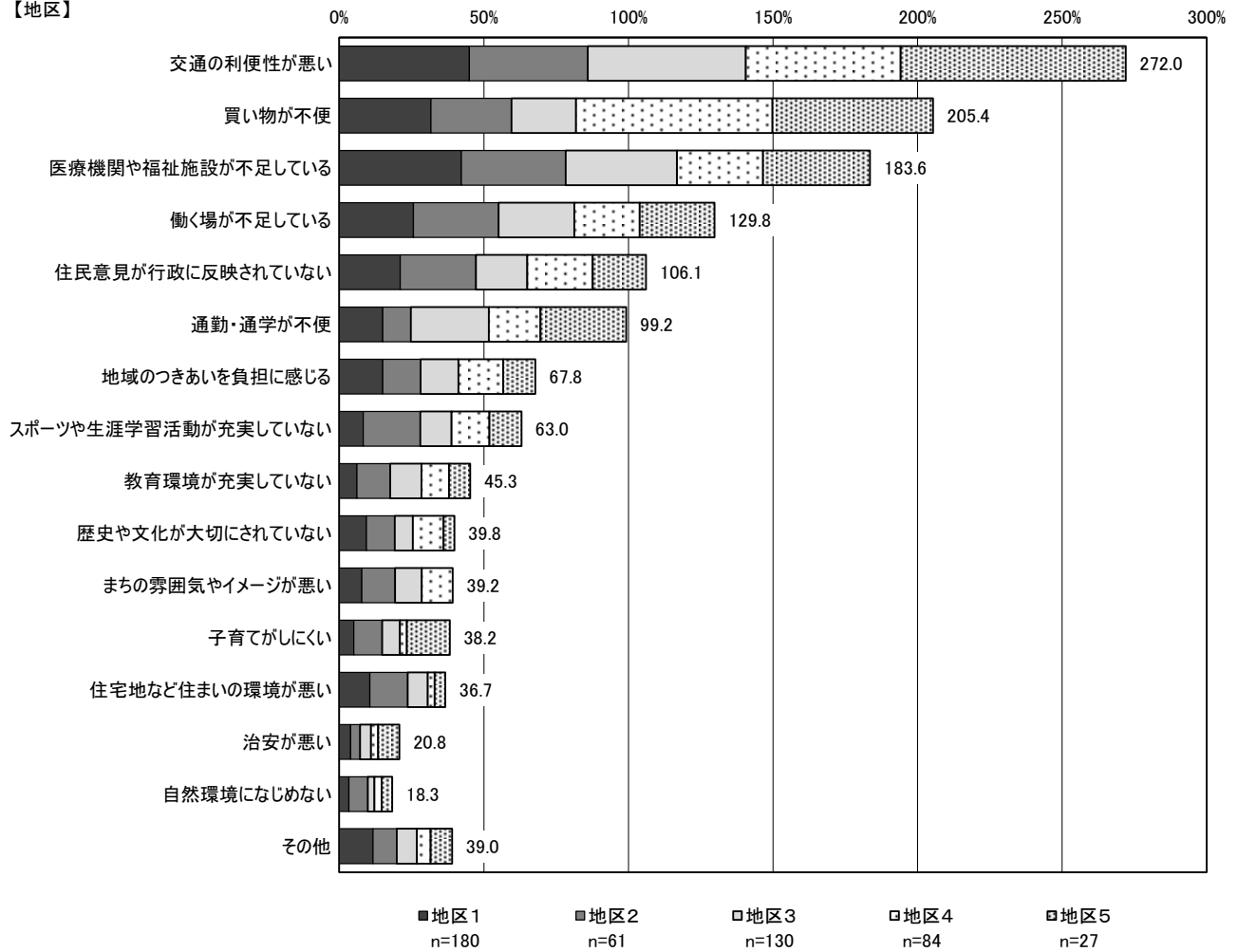
【年齢】「50～59歳」が他の年齢に比べて「働く場が不足している」の割合が高くなっています。

【地区】「地区4」が他の地区に比べて「買い物が不便」の割合が高くなっています。





【地区】



地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

問 大竹市に愛着を持っていますか。

全体】『持っている』(「ある程度持っている」を含む。以下同じ。)が78.5%、
『持っていない』(「あまり持っていない」を含む。以下同じ。)が14.5%、
「わからない」が7.0%となっています。

【性別】「男性」が「女性」に比べて『持っている』の割合がやや高くなっています。

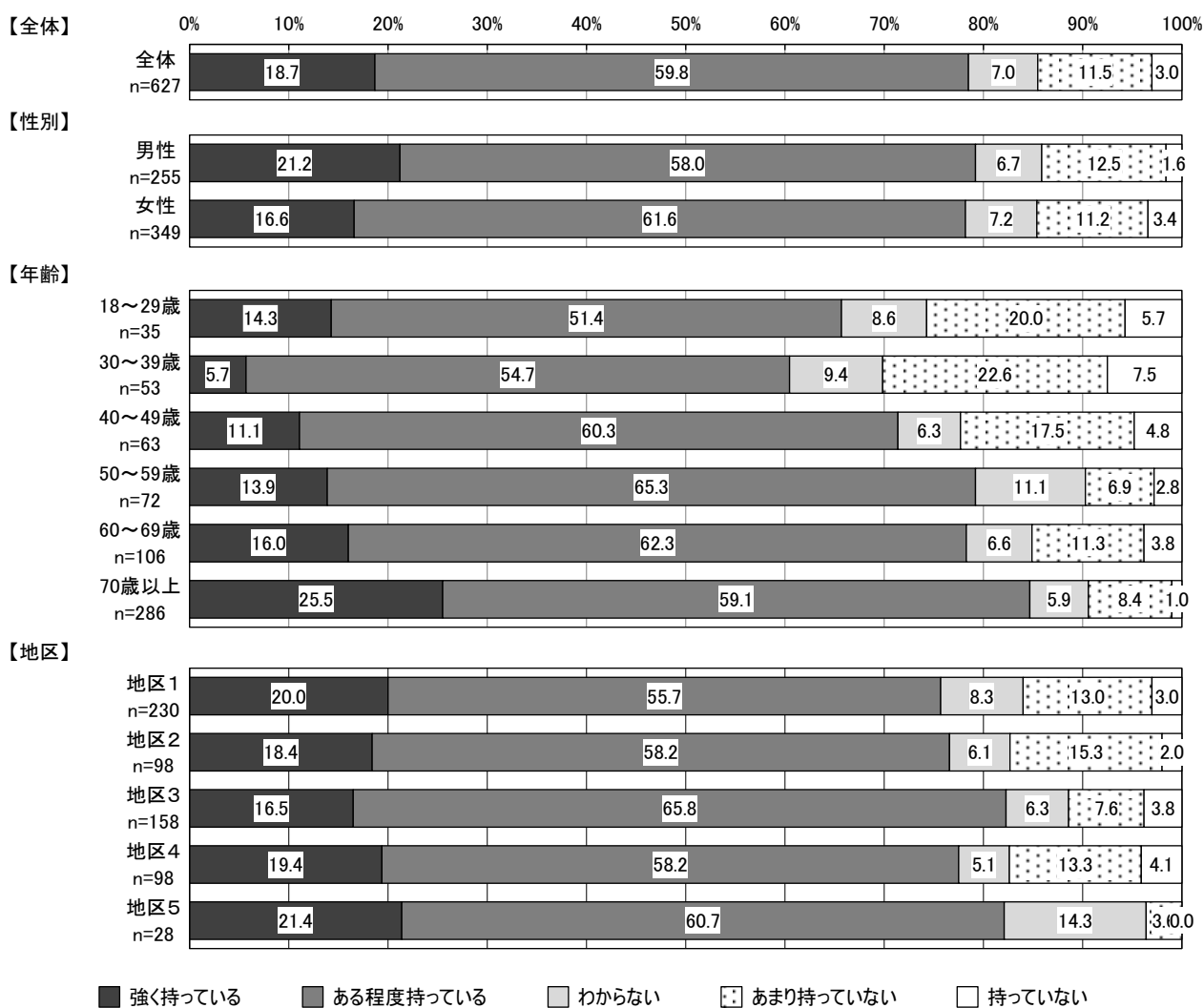
【年齢】「70歳以上」が他の年齢に比べて『持っている』の割合が最も高くなっています。

「30～39歳」が他の年齢に比べて『持っている』の割合が最も低くなっています。

年齢が上がるほど『持っている』の割合が高くなる傾向があります。

【地区】「地区3」が他の地区に比べて『持っている』の割合が高くなっています。

「地区1」が他の地区に比べて『持っている』の割合が低くなっています。



地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

問 大竹市にこれからも住みたいと思いますか。

【全体】『住みたい』(「どちらかといえば住みたい」を含む。以下同じ。)が75.0%、
『住みたくない』(「どちらかといえば住みたくない」を含む。以下同じ。)が4.8%、
「どちらともいえない」が20.2%となっています。

【性別】「男性」が「女性」に比べて「住みたい」の割合が高くなっています。

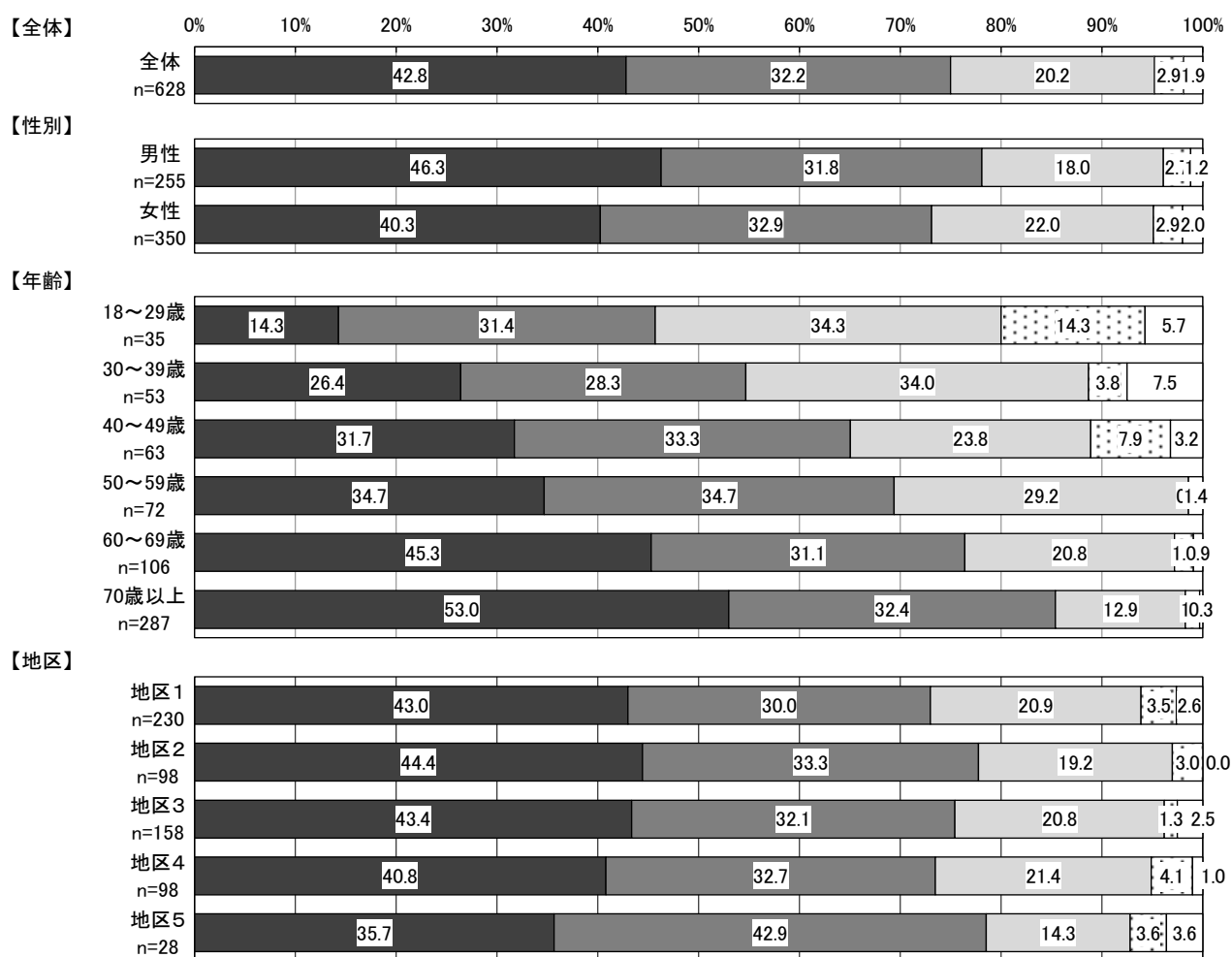
【年齢】「70歳以上」が他の年齢に比べて『住みたい』の割合が最も高くなっています。

「18～29歳」が他の年齢に比べて『住みたい』の割合が最も低くなっています。

年齢が高いほど『住みたい』の割合が高くなっています。

【地区】「地区5」が他の地区に比べて『住みたい』の割合が高くなっています。

「地区4」が他の地区に比べて『住みたい』の割合が低くなっています。



■ 住みたい ■ どちらかといえば住みたい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば住みたくない ■ 住みたくない

地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

3 デジタル技術の活用についてなど

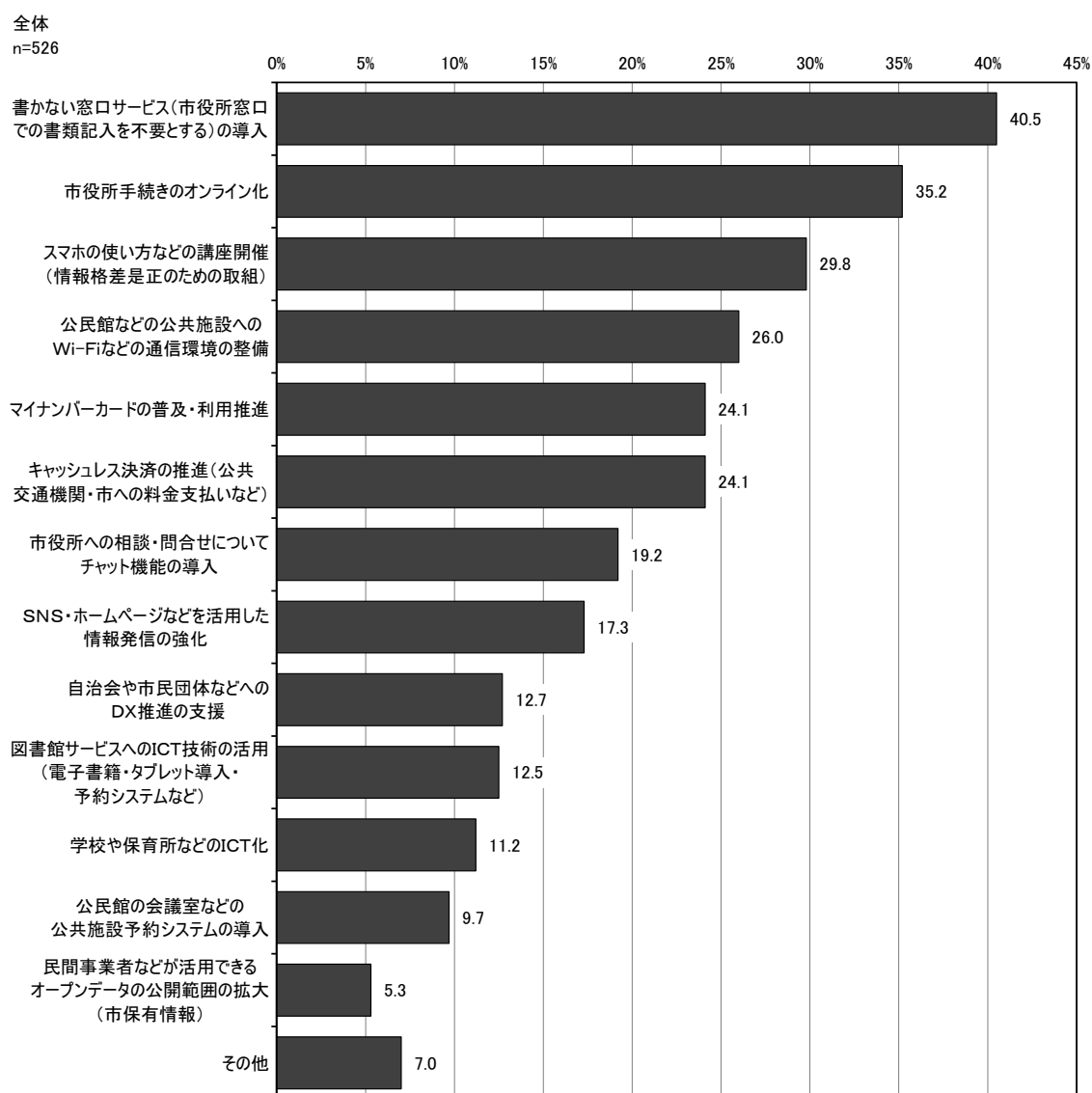
問 デジタル技術の活用に関する次の市の事業について、導入した方がよい(進めた方がよい)と思う事業は何ですか。(複数回答)

【全体】「書かない窓口サービス(市役所窓口での書類記入を不要とする)の導入」が40.5%で最も高く、「市役所手続きのオンライン化」が35.2%で次に高く、「スマホの使い方などの講座開催(情報格差是正のための取組)」が29.8%で3番目に高くなっています。

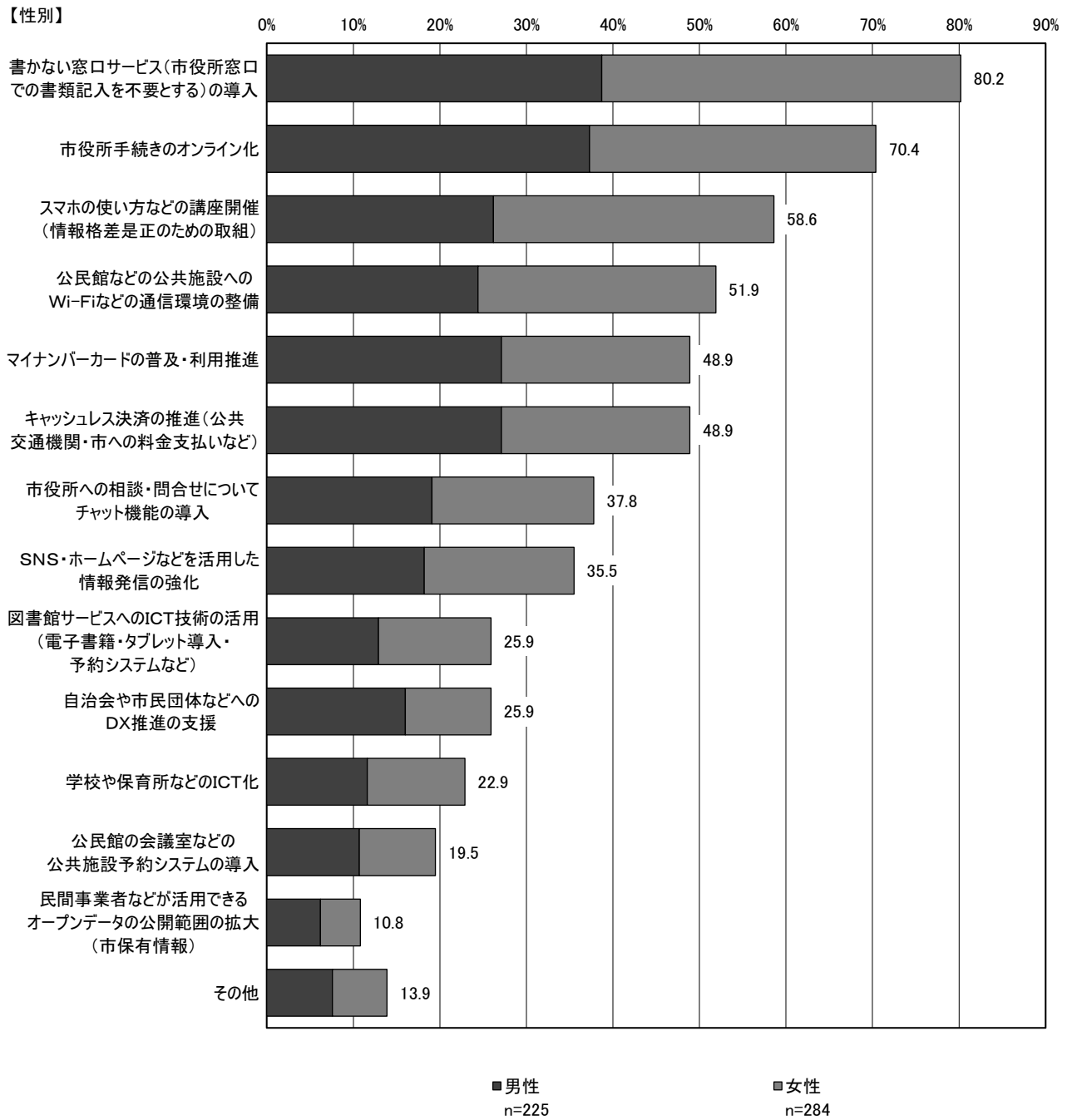
【性別】「女性」が「男性」に比べて「スマホの使い方などの講座開催(情報格差是正のための取組)」の割合が高くなっています。

【年齢】「18～29歳」が他の年齢に比べて「市役所手続きのオンライン化」の割合が高くなっています。

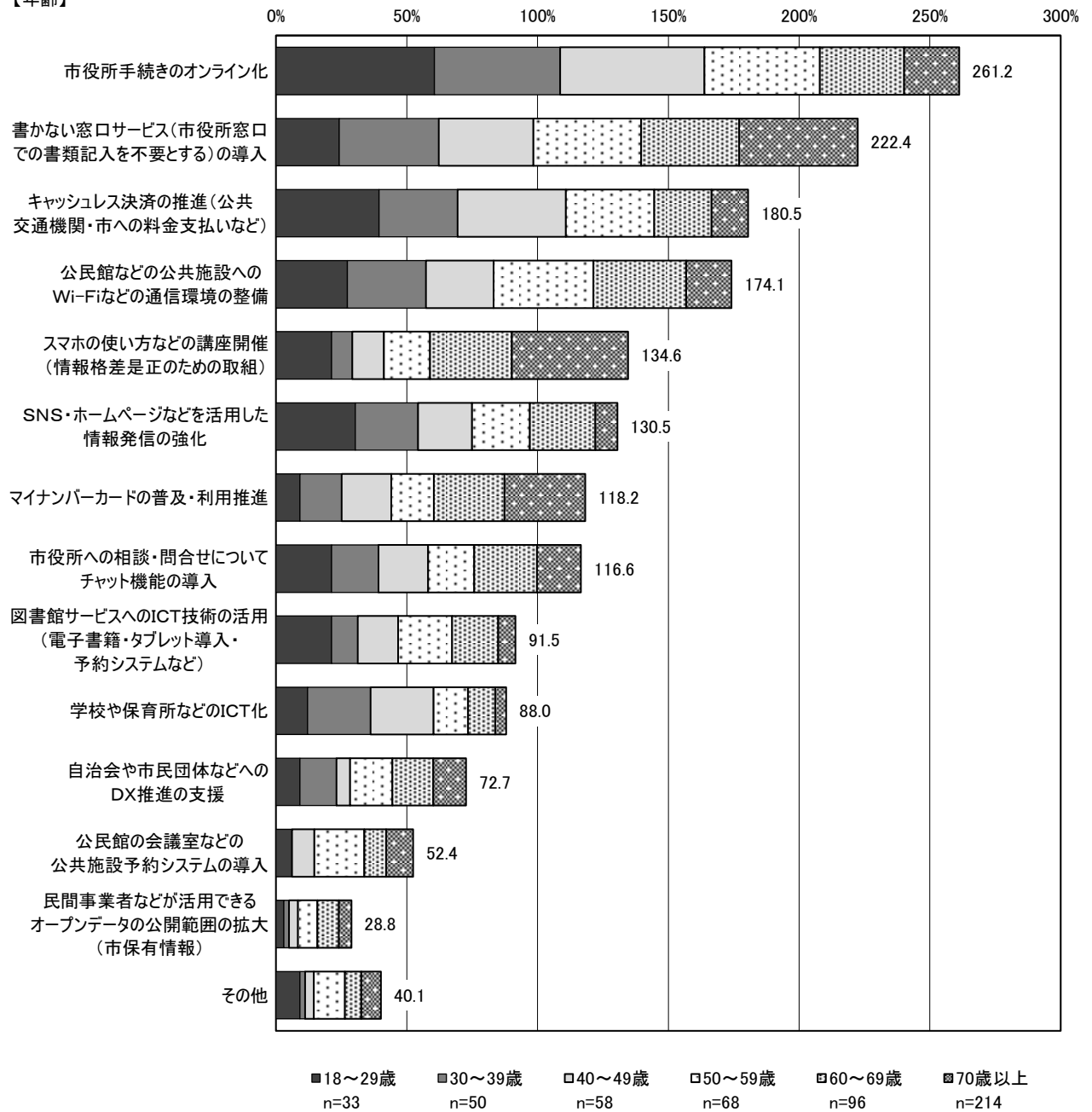
【地区】「地区3」が他の地区に比べて「公民館など公共施設のWi-fiなどの通信環境の整備」の割合が高くなっています。

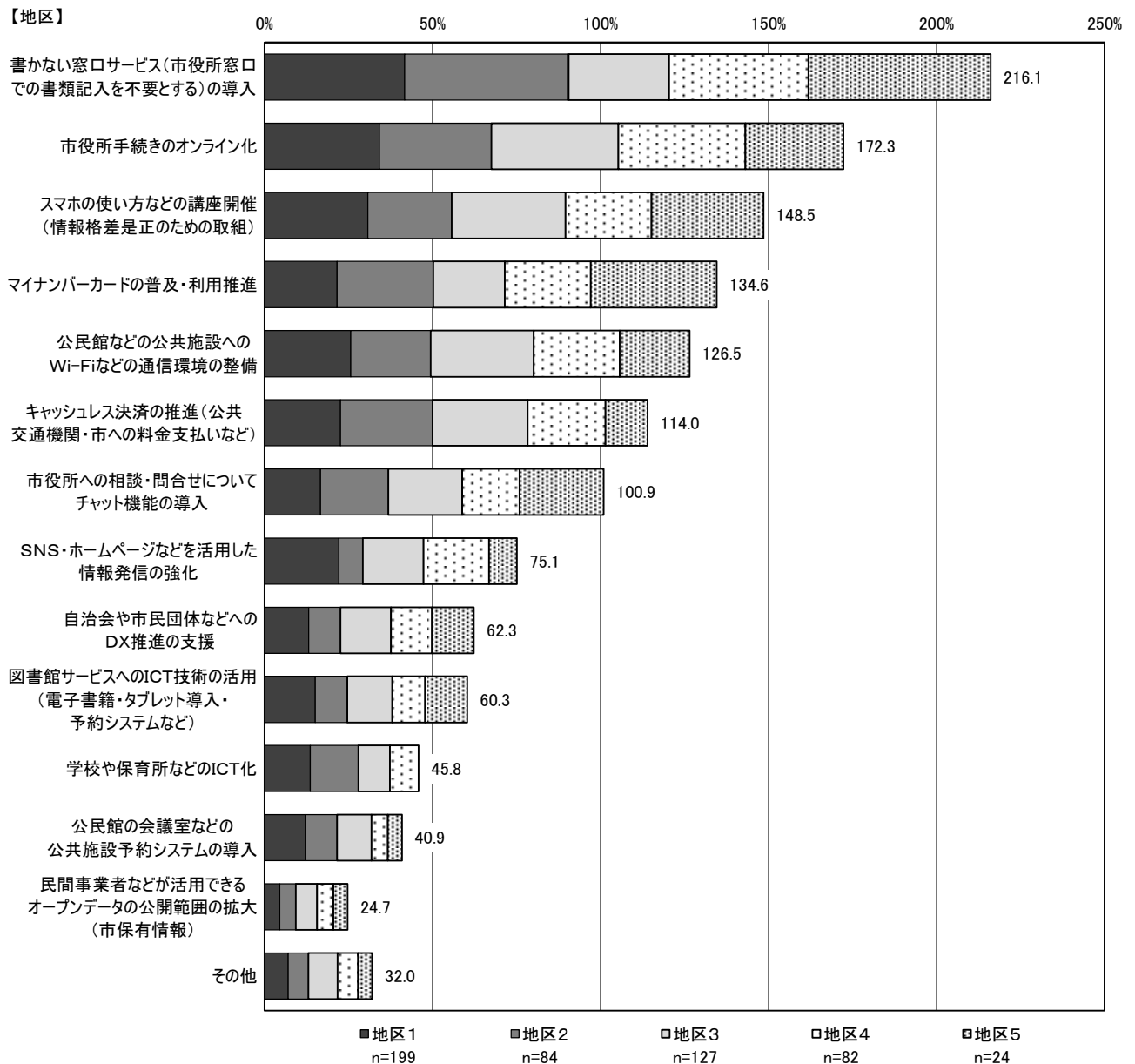


■その他の内容
・選挙のWEB投票 など



【年齢】





地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

問 市のキャッチフレーズ『笑顔・元気♥かがやく大竹』につながるまちづくりが進んでいると感じていますか。

【全体】『進んでいる』(「どちらかというに進んでいる」を含む。以下同じ。)が24.0%、
『進んでいない』(「どちらかというに進んでいない」を含む。以下同じ。)が35.1%、
「わからない」が40.9%となっています。

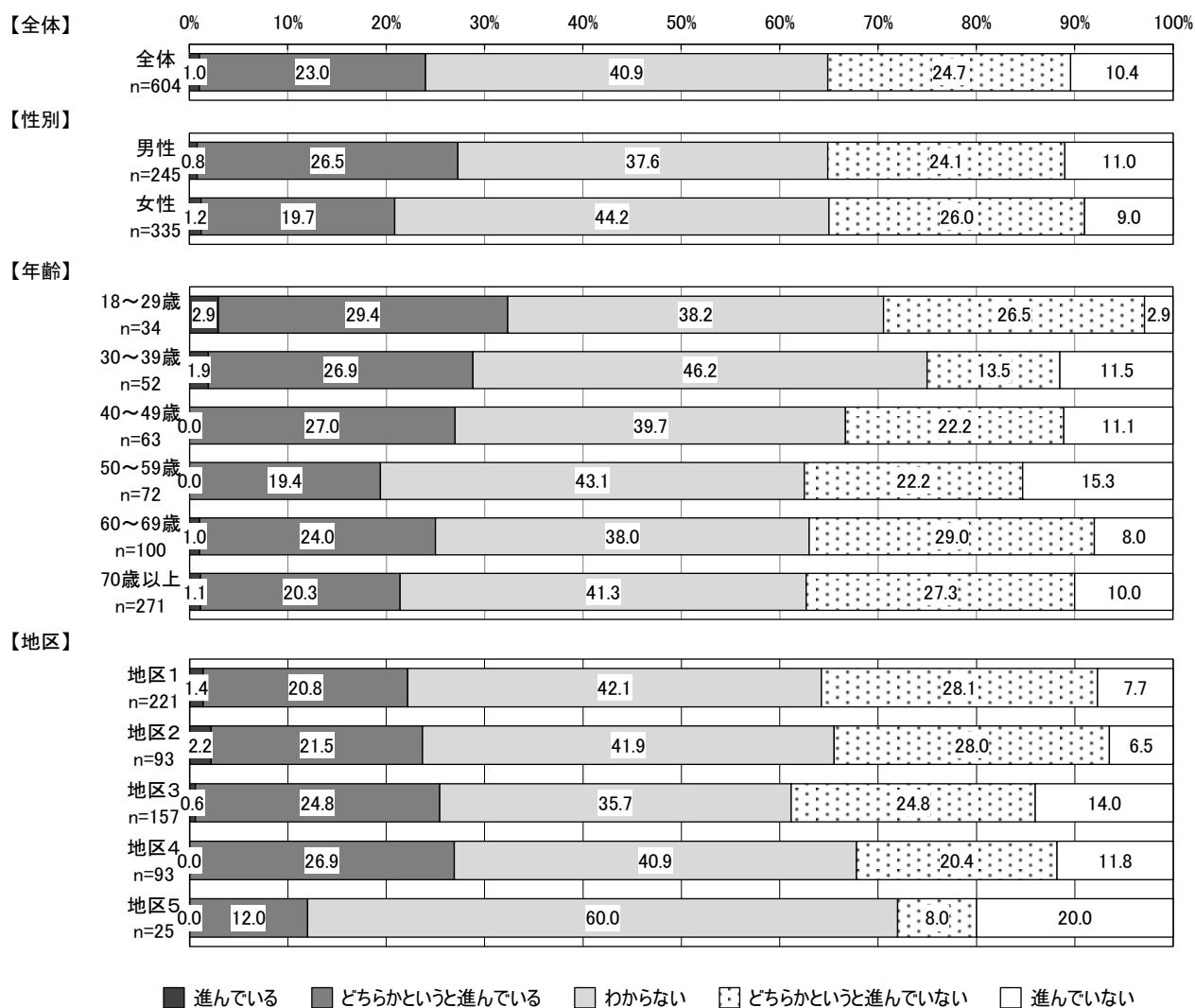
【性別】男性が女性と比べて『進んでいる』の割合が高くなっています。

【年齢】「18～29歳」が『進んでいる』の割合が最も高くなっています。

「50～59歳」が『進んでいる』の割合が最も低くなっています。

【地区】「地区4」が『進んでいる』の割合が最も高くなっています。

「地区5」が『進んでいる』の割合が最も低くなっています。



地区1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
地区2	西栄、南栄、東栄、北栄
地区3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
地区4	玖波、玖波町、湯舟町
地区5	阿多田、防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷、松ヶ原町、栗谷町

『笑顔・元気♥かがやく大竹』につながるまちづくりが「進んでいる」・「どちらかというと進んでいる」と思う理由(自由回答)

『進んでいる』と思う理由
私はふれあいサロンに参加しているが、集合場所が家から近くてとても良い。
住んでみたいまちランキングの上位を占めていることから。
大竹駅の新設を見るとキャッチフレーズを感じることができる。
晴海の整備。グラウンド、遊具が良い。
デイサービスに通っている方を見ると楽しそうだから。
挨拶をするし、される。
イベントの開催など。
晴海公園の整備など進んでいるから。
役所、社協などスタッフが充実している。リーダーが良い。
晴海辺りの雰囲気で。
年間を通していろいろな行事が行われているのが良い(参加はしないけど)。
大竹駅裏口が開設。スーパーが多くなった。
大竹駅の改修、晴海公園の拡大など。
公民館などいろいろな努力をしていると思う。年配者が元気がいい。
城下をあるいてみると守りの人(警察など)にしょっちゅう出会うので、少し安心できるかなと思う。パトカー、救急車の音には感謝できることが多いが、しっかり守ってくれていることに安心している。
駅が新しくなった。市役所の海側が綺麗になった。
晴海が変化していくのが楽しみである。
玖波公民館活動や自治体活動、地区社協活動も活発である。
市民のあいさつ運動が盛んに行われているから。
中国地方の市町村で住みやすさは大竹が2位。
子どもたちが元気に登校したり楽しく遊ぶ様子から。
子どもたちが明るく元気である。
晴海の整備。
駅前などいろいろな学生作品などが飾ってある。
集まりごとが少し回数が多くなった。
晴海港町地域で生活していると「笑顔、元気、かがやく」に出会う日々だが元町地域では、栗谷ではどうなのか、と思う。
犯罪が少ない。
市民が明るい。
近くの人が助け合っている。
公園、駅周辺の再整備進捗。産業道路整備計画。
お年寄りが比較的元気。
晴海側を通ると景色がいつの間にか変わっている。
子どもが参加するイベント(晴海公園など)が増えてきた。
災害対応の取り組み方。
いろいろなイベントがある。
近隣の人と話をすることが都市部より多いと感じる。

『進んでいる』と思う理由
大竹駅周辺整備が進んでいる。
様々な市の行事の中で盛り上がり、活気を感じる。
市内がいつもきれいだし、自治会の活動も盛んだし、100%を望むことは無理だから。
交通や地域の環境整備が行われている。
晴海公園方面の整備がされていると思う。
市民がおだやかに暮らしているので。もっとこのキャッチフレーズをPRしても良いかと思う。
大竹駅とその周辺が整備されたことで地元を誇らしく思う人が増えているから。
職員の皆さまの頑張っている姿勢を見て。
子どもが楽しめ学べる、行事を継続し、主役になれる場を与えている(祭りや体育館でのイベントなど)。
近所の人たちと楽しく話ができる。
大竹祭のにぎわい。晴海公園周辺の整備。
商工業面については活気があり働き場所があり、若い人も増えつつある。
まだ住み始めて1年未満だがそう感じるので。
元気な人が増えたような気がする。
地域のボランティアなどで子どもたちを見守ってくれている様子を多く見かけるから。自治体の方々がいろいろな情報をLINEなどで教えてくれるから。
大竹駅、玖波駅ときれいになり便利になったと思う。早急に小方新駅もできたらいいと思う。
大竹駅がきれいになった。
高齢者と子供たちのふれあい活動の場の提供や公園等の新設、楽しめる場を作ってもらって笑顔も増している。有料施設で良いので、室内で遊べる遊技場があれば尚良いかと思います。
マイナンバーカードを作り市役所へ行った時、若い職員さんがよくしてくれました。
栄公園や晴海の公園が綺麗になり、子供が遊んでいる姿を見かけることが増えた。
駅周囲の整備。
駅の建て替えなどで全体的に元気になってきている印象があります。 未就学児や小学生年代が笑顔になり、元気になるような施設が増えると更に良くなるのではと感じています。
小方を中心に整備されて魅力的になってきているがその周りはまだまだなので引き続き整備して欲しい。
いろいろなイベントが開催されている。
子どもに親切に声かけしてくださる方が多いため。
70周年キャンペーンが良い。

『笑顔・元気♡かがやく大竹』につながるまちづくりが「進んでいない」・「どちらかというに進んでいない」と思う理由(自由回答)

『進んでいない』と思う理由
どんな行動をしているかわからないため。
実感できない。
関わりがないから。
少子高齢化が進んでいる。活気がない。
発表の場やどんな感じで進んでいるかわからない。
近所付き合いが好きではないのでどうしても消極的になる。
そもそもそのキャッチフレーズを知らない。一部の人だけが思っている(推進している)だけで告知、広報不足なのでは。
広報不足。
笑顔、元気♡かがやく大竹というキャッチフレーズを初めて知った。
具体的に何をしているのか知らない。
まちに活気がなく歩いている人たちの顔つきも暗い。
全体的に活気がない。
同居している高齢者への配慮不足。孤独感のない老後への取り組み。若い人への見方が強く、中高齢への対応を進めてほしい。
商業施設に集中が進み周辺地域では買い物難民が増加している。
大竹市の人口が減り続けているということは魅力がないということである。大竹に住んでいる自分ですら魅力を感じることができない。
ここ数十年隣近所のふれあい、世代間交流が薄くなった。各家庭は笑顔、元気だが、励まし合い明るく生きる大竹市であってほしい。
30年以上住んでいるが変わり映えしないまちに感じている。
お店が少ない。
市役所の職員が市民の要望に対して前向きな対応がされていない。
小方駅ができと言われてもう30年以上。行動が欠けているのではないかな。
キャッチフレーズを初めて見た。
行事にあまり参加できないので把握できない。
そもそもこのキャッチフレーズに通じる何が進んでいるかの情報が浸透していない。
市の活動でキャッチフレーズを感じることが少ない。
何に取り組んでいるのか伝わってこない。取り組みすら知らない。
特に変化を感じない。
イベント(子どもから高齢者向け)など少ないと感じる。もっと盛り上げてほしい。
実感できない。
まちの活気があると感じるのはお祭りの時くらいで、駅前や商店を歩いていても元気がない。
PR不足。
何もかも中途半端(市民プール、野球場)。
いろいろな構想は目にするが、実現に向けての動きが見られないから。例えば小方地区のまちづくりなど。
自分さえ良いという人々が多くいる。

『進んでいない』と思う理由
大竹駅前通りでありながら人通りは少ない。特に大和橋以降(元町)は少なく活気がない。
通学時、小中学生とすれ違う時に挨拶ありとなし。散歩時おとなの声をかけてくる割合は4～5割程。
大竹市全体に元気を感じない。イベントの少なさ。誰でも集まれる場所がない。
元気がない町。市役所の人たちは不愛想で貧しい人に冷たい。駅から離れると汚い。花もない。
活気がない。
地域性もありある程度仕方がない面もあるが、噂などによるプライバシーの侵害についてもっと対策を練れると良いと思う。
働くところが少ない。
土日、大竹駅前がとても静かで元気、活気がないので。駅は立派になったのに。
キャッチフレーズが市民に浸透していないので、もっとアピールした方が良いと思う。
活気を感じられない。
子どもの挨拶に大人が返答しない。
実感できない。
活気がない。
税金が高過ぎて心の底から楽しめない。
何も届いていない。
あまり知られていない。
初めて聞く。朝の駅のあいさつ運動がなくなった。活気がない。
交通が不便。
市のキャッチフレーズを知らなかったし、何も変化を感じられなかったから。
キャッチフレーズを今知った。
大竹のことを県内で知らない人もいる。
キャッチフレーズを知らなかった。大竹駅以外で特に変化は感じない。
誰が笑顔なのか謎だし、元気、かがやくことも別に感じない。
駅周辺はシャッターが閉まり、元気、かがやくとは程遠い気がする。
人口が減って行っているから。
具体的なものが見えない。
住民が増えていない。
いつからどのようなタイミングで始めたのか知らないから市民全員へ周知されていない。
市全体に行き渡っていない。
市職員さんが先頭になり、笑顔で対応し積極的に挨拶してほしい。何か市役所はすごく暗く重い。活気を感じない。
サブタイトル(何に力を入れているか)がないとわかりにくい。
笑顔や元気があると言われてもピンとこないため。
市のキャッチフレーズを今回初めて知った。もっと市民全体に広く知られるような工夫、広告が必要だと思った。
市民からキャッチフレーズの内容が感じられない。
キャッチフレーズに親しみが感じられない。
初めて目にした。

『進んでいない』と思う理由
市外から人が集まる魅力ある施設があればそこで働くことができ、交流できる。
玖波には銀行がなくなり、店も閉まったりと暗い環境にため息が出る。美術館ができ明るい話題もあったが、何度も行くところではない。毎日の生活が楽しいと思える環境がほしい。
隣近所の付き合いが薄いように感じられる。
交通の不便なことが全ての動きを妨げている。
皆に浸透していない。
人口減少と高齢化率が進んでおり大竹市の明るい将来像がイメージできない。
市のキャッチフレーズさえ知らなかった。
駅前の開発がいまひとつ。東口(2号線側)に横断歩道の設置。
キャッチフレーズが広まっていない。
笑顔、元気を見るところがない。かがやいている場所が見たい。
実感がない。
目に見えて変化したところが見当たらない。
具体的活動に心当たりがない。
キャッチフレーズが漠然としている。
活気のない寂しいまちとなってしまった現在がとても残念に思う。
大竹のここが良いと自慢できるところがない。
きれいなまちではない。
市外へ仕事に出ているため、市としての取り組みをあまり感じない為。
自分の住んでいるところは変化がないので。
笑顔、元気というキーワードがあまりにも抽象的なのでこの言葉だけではまちづくりが進んでいると判断できない。
キャッチフレーズを知らなかったため。
元気がない。晴海地区の開発ばかり目立つ(公園など)。大竹地区の老人には不便。
住むには良いが、「笑顔、元気」となる活動の出来る場がない。若者が定住できるまちづくりを行ってほしい。
全く実感がわからない。
全体的に進んでなく一部のみに見える。
交通(車を持たない世代、高齢者、子ども含む)が本当に不便。特にバス。
行っている行事のPR不足。知らない人が多いと思う。
実感がない。
目に見える成果が思いつかない。
特に思い当たるところがない。
まちを歩いていても人通りが少ない。もっと交流場所を増やしたらどうか。
考え方が古いから。
何も変化はない。
キャッチフレーズがあったことも知らなかった。
数人集まってどこかで食べるかお茶でもしようと思っても場所がない。
地域からすると沈下気味に進んでいると思う。
民生委員の声が地域の方々に伝わってこない。

『進んでいない』と思う理由
空き家が多くなっている。
周りに楽しそうな人があまりいないような気がする。
具体的にどのような事業を行っているのかよくわからないため。
少子化や住み良さの面。環境など。
10年前と変わっていない。
挨拶ができていない。
いきいきしている人が少ない。挨拶をしても返ってこないことがある。
キャッチフレーズの設問が具体的ではない。
市のキャッチフレーズを初めて知った。市報などで明確にアピールできていない(進捗状況が不明はゼロと一緒に)。
周りに笑顔な人が少ない。
何となく抽象的でわかりにくい。
具体的に何をやっているのかわからない為。
大竹に戻ってきてまちづくりが進んでいるように感じられない。以前とかわらない。もしくは寂しくなっている感じも受ける。
毎年変化を感じない。
高齢者、体の不自由な人が生活圏内で行動しにくい。笑顔、元気になりにくい。
笑顔になっているのか。元気が出ているのか。市内を歩いていても車で走っていてもかがやいていると感じたことがない。JRの改札口が増えたことくらいか。
箱物ばかりつくったって、利用価値がないように思う。
駅が新しくなったり下瀬美術館ができたりして、せっかく盛り上がっているけど、結局交通の便利も悪いし、下瀬美術館や駅周辺には食べる場所も少ない。人が来ても食事を楽しめたり、交通が便利になってくれないと移動も難しく不便。先日他のエリアから下瀬美術館は来られた方に『この辺で和食のお店はない?』と聞かれて返答に困った。
そのような話を聞いた事がない。
居住区での買い物もままならない買物難民地域が多い。
商店街も古びて廃れてしまい、新しいお店も一時的にしか流行らず産業的に活気がない上、不審者に怒鳴られたり絡まれたりするなどの事案も少なからず起こるため、住民の全てが元気で笑顔の輝く状態になるのは難しいと感じる。
身近にまちづくりの成果を感じる場面がない。
大竹市民となり3年半目(過去居住あり)、何も変わってないように感ずる。
キャッチフレーズ『笑顔・元気♡かがやく大竹』について知らない。

4 自由筆記

問 最近「幸せだな」と感じたこと(自由回答)

「幸せだな」と感じたこと
趣味に高じている時。
親族の結婚式。
健康に生きていくこと。
元気で自分のことができる(グラウンドゴルフを楽しんでプレーしている時)。
睡眠を取る時。趣味の時間。
自然災害がほとんどないこと。
家族でいる時が一番幸せである。
家族と過ごしている時。
穏やかな日々。
地域活動に協力できる。適当な運動(グラウンドゴルフ)ができる。
妻と一緒に過ごしている時間。
普通に仕事終わりにほっとした時。寝る前のほっとする時間。
子どもたちが順調に成長して一般的な生活ができていること。
おいしい物を食べられる時。
家族が全員健康であることとスポーツを楽しんでいる。ただ市内にスポーツジムなどのスポーツ施設がもっとほしい。
大竹市から来る「健康診断の案内」が届いて今年もクリニックへ行くことができそうなので幸せを感じている。6月に高校の同窓会に出席できて幸せだなと感じている。
配偶者と元気で暮らせること。
晩酌においしいお酒とおいしい肴を少々いただくこと。
普通の生活ができていることが幸せだと感じる。
自分の時間を自由に使える。
健康でいる時
体の不調がない時。痛みが少ない時。糸谷整形の理学療法士さんの治療を受けた時「幸せだな」と特に思う。
健康で生活できていること。
戦争に巻き込まれないでいること。いつまでも続くように願っている。戦争は絶対に反対。人道に外れる
夫婦が普通に健康で過ごせること。
何事もなく日々過ごせていることに幸せを感じている。
バイクで走って夏の雲を見上げた時。風呂上りにミネラルウォーターを飲んだ時。犬と遊んだ時
買い物をした時。
家族全員が笑顔でいる時。
一人ではなく家族と一緒にいることが幸せだと思っている。年を取ってから特にそう思う。
当たり前の日常が過ごせること。
何も変わらず平穏に過ごせた時。自然を感じられた時。
おいしい物を食べられる時。
生活の安定、安全。健康であること。

「幸せだな」と感じたこと
血圧を測る時、自分の為だけにこんなことができるなんて、と平和を感じ幸せなことだと思う。
休日に体調が悪い時に休日診療所があって幸せだと思った。
母になり子どもの成長を感じる時。自分も夫も友だちも近所の子も、皆親に育てられてきての今なんだなと平和な日本に生まれ幸せだなと感じる。
一日何もなく終えた時など。スポーツや健康体操など皆と楽しくしたあとなど。
自宅で家族と食事をしている時。
子どもが学校の話をしてくれた時。幸せというか安心。子どものできなかったことがチャレンジしてできるようになった時に子育てを自分なりにできている幸せ(喜び)。
近所の人「ごきげんうかがい」に来てくれるところ。
友人、孫との交流。
健康であること。
5～6人の友だちと集まっておしゃべりする時。
地域の老人会行事で10名くらいの人たちと筋トレやギター伴奏のコーラスをしたりおしゃべりしたりする時。四季の草木花を育て知人に喜ばれた時。子ども、孫たちとドライブ遊び食事会。夫婦で外出できる幸せ。
高齢になっても働いていられること。若い人たちに昔の大竹の話を伝えている時(昔の大和橋、原爆のおそろしさを伝える、昔の大竹のようすを伝える、祭りのようす、カープの樽募金など)。
種から植えた花が大きく咲いた時。
人に親切にしてもらった時。
家族が元気になった時。家族が来てくれた時。友人と会う時。
人の役に立てた時。
元気にウォーキングしている時間。年金があること。税金が高いのが残念。
主人 89 歳、私 83 歳、結婚生活 62 年。元気に毎日楽しく暮らせることに幸せである。
一人暮らしなので娘が帰って来た時感じる。
近所の人と顔見知りで安心して暮らせる。
通学の子どもの笑顔。
家族そろって食事をしている時。
自然の中で穏やかに生活できている時。
近隣の方々と市民行事に参加した時。
特に不自由なく暮らせていることが幸せだと感じる。
家族が健康であること。
市が一個人に健康を促して問いかけてくれること。健康診断の案内が届くこと。
元気で目覚めた時、今日も頑張れると思う。
何の不安もなく毎日過ごしていること。
孫、ひ孫の成長を見る時。
普段の生活で満足している。
夕飯の時晩酌できること。生活が苦しいので他は幸せだと思えない。
日常生活が普通に人に迷惑をかけずにできた時。
夫婦共に元気でいること(結婚して 53 年)。
家族の健康。

「幸せだな」と感じたこと
子ども、孫の笑顔を見た時。
介護保険の支援があたたかい。デイサービス、包括の人的対応が進んでいる。
寝る時、食べる時、お風呂に入った時。
健康で毎日元気で働き、一日有意義に過ごせること。
家族が笑って元気で過ごしている時。
自然災害が少ない。
趣味。
家族との食事。
家族という時。
子どもや孫たちの笑顔にふれあった時。
ショッピング、おいしい物を食べた時(外食)、旅行。
平凡なことだが、家族が笑顔で過ごせること。
孫を見た時。
年を取ってもいろいろサロンに行って歌を歌ったり体操をしたり、皆でおしゃべりしたり楽しい。
家族の笑顔。
頑張った自分へのご褒美をあげる時。大切な人と過ごす時間。
子どもたちや家族と日々ゆっくり過ごすこと。
子どもたちが元気で過ごしている。
花が咲いているのを見る時。寝ている時。食べている時。小さい子の笑顔を見た時など。
お正月など家族がそろって食事をする時。
男子バレーの試合観戦。仕事のない日。充実した休日。
まちが元気で安心して生活できる環境。
2人共元気で毎日過ごしていること。
健康であること。
子どもと共に頑張ってスポーツの練習を行い、子どもの成長を感じた時。
健康で人の手を借りずに自分なりにできる仕事をし、満足して生きている。
家族で遠出をして外食をしたり買い物に行った時など。
本当に人の為にしてもらっている時が幸せを感じる。そんな人は大竹には少ない。
家族が元気で毎日過ごしていること。
健康であること。
家族で夕食を取る時が一番の幸せ。
子どもが笑っている時。
買い物に行き、自分で食べることができる。
親、子、孫そろって会食をする時。
自身と家族の健康。
おいしい料理と日本酒、ビールなどで楽しい時間を過ごせた一日がとても大事。胃袋の幸せが一番だと思っている。
子どもが元気に笑っていると良かったと思う。
元気でいること。
生きていると感じた時。

「幸せだな」と感じたこと
最悪の人間関係に置かれている時に情のある人物と出会えた時。他地域で経験したことがある。生きているうちはやはり良い人との出会いが大切。
子どもの笑顔や笑い声。毎日の食事を食べられる喜び。日々の健康。
おいしい物を食べた時に幸せを感じるので、外食店を増やしてほしい
子どもの笑顔を見られた時。おいしい物を食べた時
健康で日々暮らせている時。
孫、ひ孫に会えること。
友人と小旅行をした時。
家族団欒。
家族からやさしくされた時。皆で食卓を囲んでおいしいご飯が食べられた時。
友人と楽しく話ができる時。子どもの成長がわかる時。
人と話すとき。家族や友達と過ごす時間。普通に生活できる今。
元気で毎日過ごせること。
笑顔で挨拶してくれた人に出会った時。
孫の顔を見る時。
友人と話したりすること。
健康な毎日。
自分の運転で買い物をして事故なく家に帰れた時。
スーパーで安く良い商品を買った時。
一日無事に終わることができた時。
自分でどこでも行ける電動カー使用で何とか自由に出かけることができる。たまに西栄コミュニティーセンターで囲碁を楽しむことができること。
一日でも健康で過ごせた日に感謝のみ。
野菜などを作って楽しむこと。
健康なこと。
馴染みの大竹の店で飲めること。受け入れてくれるところ。
一日が何事もなく、夜眠りにつく時。
散歩する時。家族が元気なこと。自分が元気なこと。
子どもたちから旅行に誘ってもらったこと。
グラウンドゴルフなどを通じていろいろな人たちとめぐり逢い、楽しく日々を楽しんでいること。
子どもの成長。
健康であること。
平凡な日常。家族そろって夕飯を食べながらビールを飲んで「カープ」を観戦することが続く毎日。
一日が終わって寝る時。
足を怪我して2週間入院した。介護の皆さまの温かい心遣いとしっかりした仕事への取り組みに感謝した。
80歳でも元気である。
恋人と会った時。
子どもたちとしょうもないことで笑った時。おいしいご飯を食べた時。
健康で普通の生活が送れていること。

「幸せだな」と感じたこと
子どもが楽しいと言ってくれる時。子どもたちが仲良く笑い合っているのを見られた時。
仕事に追われることなく、自分の時間が過ごせる日がある時。
健康でウォーキングをしている時。
お風呂上りに食べるアイス。
子どもが楽しそうに遊ぶ姿を見られる時。
働いて収入を得た時。
健康で家族とおいしいご飯を食べていること。
老人クラブ(しあわせ会)で下瀬美術館に行き、皆に喜んでもらい良かったと礼を言われた。
病院、スーパー、ショップが近い。
家族でおいしい物を食べた時。
自分が少しでも役に立ったと感じられた時。
健康であること。
家族が元気で暮らせていること。
週3回運動して友人とおいしい物を食べ、コンサートへ行った時。
一日が無事に済んだ時。
子どもが楽しそうにしている時。学校生活が充実していると聞いた時。
若い方が老人(私)に対してやさしく対話してくれたり、難病を患っていて交通の便が悪くタクシーで通院しているのだが、運転手さんがやさしくしてくれる時。
今はまだ健康で自分でできて一人暮らしを満喫している。健康体操にも参加している。
88歳今は自立できていること。24時間自由でいられること。
家族で旅行に行った時。
子どもや孫が元気で暮らしていけると思った時。
一日調子が良かった時。
私は年齢が78歳で弱視になり運転免許を返納し、交通手段を自転車に変えて道路で転倒した際通りがかった人が助けてくれてとても親切な人だった。
家族が健康で仲良く生活できること。
子や孫との会話や旅行。
街中にあるストーンアートを見たり、修復作業を行っている高校生を見かけた時。
家族と共に食事をする時。
友人との食事。
友だちと出かけ、食事、会話をする家族と一緒に食事をする。旅行にでも行かれたらもっと良いと思う。
家族の安全。
事故なく毎日過ごせること。
自分のことが何とかできて、子や孫が元気に楽しく暮らしていること。
自治会の活動で週1回女性の集まりがある。体操をしたり料理や手芸、踊りなどを教えてもらっている。参加してからは楽しく楽しみになった。たくさんの人たちが加入して楽しめたら幸せだと思う。月に1回の友人との食事会は生きる楽しみである。
自治会の集まりで皆と笑いながらいろいろ話ができた時。
友人との関係が良好であること。

「幸せだな」と感じたこと
友だちと遊んだりご飯を食べる時。
病院に行かず夫婦そろって元気であることに感謝と幸せを感じている
減税、孫。
ガチャでSRが当たった時。
子どもの成長を感じられた時。
一人暮らし。
家族で過ごすとき。
いつもの日常を過ごせること。
健康で過ごすことができる。
子、孫たちが集い楽しく過ごした時に感じる。
家族の健康状態が良い時。
自宅のテラス窓から山々や空を見ながらちょっと一息(ビールなど)。但し生活の利便性は確保できているという状況である。
朝元気に気持ち良く起きられた時、今日一日楽しく過ごすことができると思う。
しばらく会っていなかった人、あるいは近所の人と出会って少しの時間でもコミュニケーションが取れた時。そんな場所があること。
おいしい物を食べた時。良い景色を見た時。
家族が健康で笑顔である時。
度々ひ孫と会えること。
友だちと電話したり毎日のように出かけて 30 分くらい歩いて健康であることが幸せだなと思う。
一人暮らしなので家族がそろった時。
一日が無事に済んだ時。
地域の行事に子どもからお年寄りまで多くの人々が参加し笑顔で楽しんでいる姿を見て、地域の魅力や活力にふれあえた時。
家族でおいしく食事をした時。野菜がうまくなった時。
元気で過ごすことのできる今。
のんびりと家族でいる時。
家族が健康なこと。
子どもの学校帰りの大きな笑い声や話し声を聞く時。
足腰の調子が良く散歩や皆と体操できた時。いろいろな人(好きな仲間)と出会って笑顔で話したり挨拶した時。
おいしい物を食べに行った時。
3人の子もたちから定期的に電話をしてもらう時。また来てくれる時。
健康であること。
保健、医療体制が充実していていつでも病院に行かれることで家族で元気に暮らせることが本当に幸せだと思う。
生きていること。
デイケアセンターでいろいろな人と話ができる時。

「幸せだな」と感じたこと
職業を得ながら健康を保ち、社会貢献と納税の義務を果たしていること。健全で礼節のある児童、学生、若者と出会い将来への希望を感じる時。日常において治安と文化が保たれていると感じる時。
健康で毎日の食事がおいしく食べられること。
カープロードを歩いてマツダスタジアムにて応援できたこと(1年ごとに体力維持の目安としてカープ観戦を挙げている)。
日々の生活が充実していて健康であること。
孫の笑顔を見た時。
健康で朝を迎えられ、それなりに働き社会の一員でいられること。
子どもが結婚をして孫が生まれ家族が増えたこと。元気で旅行ができ、広大な自然の美しさが見られたこと。ペットの猫とまったり過ごせること。
孫の誕生と成長。他市でのボランティア後の達成感
生活習慣病はあるが、薬を服用しながらでも日々日常生活を人の手を借りずに全て自分でこなしていけること。
毎日普通に暮らしていけていること。
休日にのんびりしている時。
生活の安定。家族が何ごともなく毎日過ごせることがなによりと思う。
自宅でのんびりしている時。
家族とふれあう時。
健康で生活できている時。
大竹の栗谷方面の豊かな自然を見た時近くにこんなきれいな場所があるんだと感じた。
私は現在 78 歳だが、週3日仕事に行っているので私としては元気に日々生活できているので良いかと思っている。
家族が元気。
お盆や正月に子どもたちが孫を連れて帰って一緒に食事したりする時。
一日の終わりにお風呂につかること。おいしい物を食べた時。観葉植物が元気なこと
野菜作り。
孫のスポーツ観戦。
家族の時間。
おいしい物を食べたとき。
健康で近所との付き合いがスムーズにいく時。
病気が治った時。家族で一緒にいる時。
家族が健康なこと。
家族でおいしい物を食べた時。
心身が健康で穏やかな日々の暮らし。明るく楽しく笑顔をモットーに。
現在では車に乗れるので元気で畑にも卓球にも行けるし自分の好みの料理もでき、何の不自由もなく送付できているし、本当に幸せと感じる。
友人と休日にランチに行くこと。
一人暮らしの生活を支えてくれる子どもたちにお世話になることが多い。その時が幸せだと思う。
夜お風呂から出て大の字になって寝る時。最近母とおいしい物を食べに行ったこと。

「幸せだな」と感じたこと
友だちと再会した時。
80歳を過ぎても自分のことが自分でできる幸せを感じている。一日一日を大切に生きている。
子ども、孫の顔を見ている時。食事会などをしている時。姉妹と話したり電話をしている時。
大きな災害(地震、洪水など)のニュースで被災された人たちのようすを見て、大竹という地域に住んでいて免れたことの安心感が幸せ。
家でゆっくり過ごしている時間。
玖波から広島市内へ行き、買い物以外でお茶タイムをしている時間が贅沢と思いながら過ごしている時(3ヶ月に1度くらい)。
自分も含め家族が皆健康で楽しんでいる時。主人と2人で旅行に行けることが幸せ。
自治会のお世話をして会員の方に「ありがとう」と言われたこと。
健康であること。
生活上皆さまの親切が幸せだと思う。
子どもの出産準備をしている時。親子学級に夫と参加した時。
栄町方面は栄公園があるのでいろいろ活用できて良いと思う。老人はグラウンドゴルフを盛んに利用している。公民館、コミュニティサロンで活用が多い。
家族が健康なこと。
コロナ前、シシリー・デイ・メイプルシティや駅前のはなの舞でお酒と夕飯を楽しみ歩いて帰れることに何度も「幸せだな」と思っていた。駅前のチェーン店居酒屋は何とか復活してほしい。
土日に休みが取れ、子どもと遊んでいる時。市外だがおいしい食事をしている時。
遠方へのドライブ。
体調が良いこと。検査の結果が良くて前に向いて頑張れる幸せを一番に感じる。
健康で周りの方と笑顔で会話できる。
日々生きて働いて遊べている。
健康でいられること。好きなことができる時。
周りに支えられていると実感できる時。
近所の方の見守り、声掛け、気配りに感謝。
自然環境に恵まれた地区に居住していること(その裏返しとして交通の便は良くない)。
孫、子どもとの会話、会食。
朝目覚めた夜明け。
今はどこでいつ大きな災害に見舞われるかわからないので、ただ家族と一緒に食事をしたり笑顔で会話できていれば幸せである。
家族で家でゆっくりしたり、皆で昼寝したり、ご飯を食べたりする時。
ゆっくり過ごす時間。
健康であること。
家族とハグした時。
家族の元気を感じた時。友人と会食をした時。知人に会った時。
健康に暮らし普通に生活できていることが一番幸せだと思う。
他人との会話。元気に活動で来た時。食事がおいしかった時。

「幸せだな」と感じたこと
20 数年ぶりにUターンした。いろいろな手続きの際にいろいろな助言をたくさんの人からいただいた。行政の関係の手続きも多かったが、とても対応が良く安心している。ぼーっとする瞬間、のんびり、ゆったりする感覚で幸せだなと思う。
災害がなく、皆元気に暮らしていると感じる。幸せを感じる。
自然に恵まれ災害にあうことがあまりないのが幸せだと思う。山と海があり両方の幸が食べられるのが楽しみに思う。
家族、親族の心遣いにふれた時。
仕事が終わった時。
子どもがのびのびと遊んでいる時。
家族に笑顔が増えた時。横断歩道にいて車が止まってくれた時。
健康であること。働けていること。
家族(子ども、孫)全員が健康で生活していること。
刺身がおいしかった。新鮮な魚を食べられることは本当に幸せ。
水道水がおいしかった。関東の水はまずくて飲めないけど大竹はおいしい。
大竹の人がやさしい。いやな対応をする人に会ったことがない。これは本当にすごいこと。
何の心配事もなく日々の生活ができる時。
遠方で生活している子ども家族が見守りの電話をくれたり、好きな物を送ってくれたりした時。
平穏無事に日々を送れること。
大竹の立地が海が見え、宮島も見え、それを眺めながら食べるおいしい食事(カフェ、デザート、パン)をしている時。広島市内にいた頃は手続きの人が多いので区役所で時間がかかったが、大竹市役所は手続きが全てスムーズでノーストレスである。
配偶者が病気治療中なので、ここ1年間はあまり幸せを感じる事が出来ない。以前はよく出かけておいしい物を食べたり景色を見たり幸せを感じる事が多々あった。
今自身で行っている活動に共感して参加してくれる人が出て来た時。
日々平穏に生活できていることが幸せだと思う。
家族と穏やかに過ごしている時。
彼女ができた。
家族全員(子ども、孫)が一堂に集まった時。最近孫が結婚した時。普段は自分のことは自分ででき、人の手を借りることなく少しでも他人の世話も少しはでき、元気で暮らせていることが今一番の幸せだと感じる。
近所の人たちが皆親切にしてくれる。
友だちと話ができること。
仕事を終えてゆっくりしている時。
夫婦での会話。
孫と一緒にいる時。
静かな生活をできる時幸せを感じる。
家族が健康で普通に生活している時。
子どもの成長を感じられた時。
落とし物が戻って来たこと(こいこいバス、自転車の定期が入ったケース)。大竹は美しい町と思った。
健康、元気でいること。

「幸せだな」と感じたこと
他地域の祭りを手伝いに行った際、数十年前に大竹市内の自主主催の祭りに行ったことを思い出した。地域の人々の手で作られた温かい祭りだった。子どもの頃にそんな祭りへ行けたこと、今でも心に残っていることに幸せを感じた。
三世代交流などで子育てしやすい町になると良い。例えば夏休みの子どもの居場所や高齢者の生きがい対策などがマッチングできたら働く世代の子育ての負担を軽減でき住みやすい地域になるのではないかと。少子化が進むと自治体としては継続が難しくなると思う。
物事がうまくいった時。
スポーツを楽しんでいる時。
災害がないこと。米も野菜もあり最近では登下校の子どもたちに会える時本当に幸せと感じる。
人と会話(世間話)した時。
食事。
元気で地域の行事に参加できること。
子どもたちと一緒に過ごしている時。
昨年 65 歳で会社を退いて介護用品レンタルで学び直している。66 歳の高齢者でありながら同じ高齢者の人々がよろこぶことがうれしい。こういった「学び直し」のチャンスを増やしてほしい。
最近近所の方と挨拶ができた。
家族と過ごす時間。
健康である。
心身共に健康。万人、平等に与えられる政治。
働けていること。
スポーツ(ゴルフ)で思うようなスイング、スコアを出すことができた。
家族と一緒に過ごせる時間。
朝すっきりと目覚めた時。
飲み会に行ったこと。
衣食住が充実しているので。
笑顔で挨拶できるまちづくり。
公園でのんびりしている時。
子どもたちが元気で充実した日々を送っている姿を見た時。
おいしい物を食べた時。それを共有する人がいる時。
大病をしていないこと。
家で猫と遊んでいる時。給料が入った時。
子どもの成長を感じられた時。
パソコンを買ったこと。
とりあえず大きな病気もせずおいしい物を食べて仕事にも行けて夫婦仲良く過ごせていること。子どもたち(孫も含め)も近隣に居ること。これだけで幸せである。
今は仕事为主で働くことができる幸せ。
子どもの成長を感じられた時。
自分、家族が元気である時。
皆がつながっていると感じる時。
自宅で過ごす休日。

「幸せだな」と感じたこと
何ごともなく1日を過ごせた時。
自分自身が両親の年齢になっているが、両親の介護をしたことがある為、今健康で自分のことは自分でできる、また他人の世話ができることに幸せだなといつも感じている。
コロナの濃厚接触者で自宅待機をしたことが何回もあり、マスク必須で人と会うこともなく(少なくなり)、今やっと友だちとランチに行き、家族の健康が一番の幸せである。ただお店もなくなったところもあり元に戻るのは難しい。
おいしい物を食べた時。
子どもが元気で楽しそうにしている時。
自分のことが自分でできている。
健康でいられること。
不安がなく生活できること。誰かのために何かできること。
おいしい物を食べた時。
娘夫婦が自宅の隣に家を建て孫たちが頻繁に遊びに来るようになり、一緒にいる時間が増えて孤独感が薄れたこと。
家族での食事。
食事が楽しく心配しないで食べられる時。
一日穏やかな日であったと思う時。
孫の写真が届いた時。
家族で美味しいものを食べている時間。仕事で褒められた時。
健康で3食食べられること。
ごく普通の生活が出来ている日々がある。
子どもが学校生活を楽しんでいることに幸せを感じています。
家族が健康でいること。
何気ない日常を過ごせたら。
各地で生活する子供家族を含めみんなが健康で過ごせている。
60歳になっても同級生と今でも付き合いがあること。しかも単身赴任先の東京で月に一回は集まっていること。
仕事を終え自分の時間が十分に確保された時。
災害、事件、事故もなく毎日変わらない日々を過ごせる事に幸せを感じます。
子供が元気な時。
子育て中に子供が笑っているとき、趣味を楽しんでいるとき。
家族全員が健康で毎日を過ごせる時。
給料日。
ふとした時。
お酒を飲んでいる時。
家族が健康で生活ができることが一番幸せです。
大竹市内で仕事をしていると、誰かの役に立ちたいと熱望されている高齢者の方に多く出会います。その方たちから元気や勇気をもらっていて、一緒に何か出来ることがあった時、幸せだなと感じます。
平穏無事に1日が終わったとき。

「幸せだな」と感じたこと
美味しいデザートを食べた時。
小瀬川の流れを見ながら宮島や島々を眺める時。 美術館とレストランへ、他地域に住む友人を招待出来た事。(海側の土地を整備し継続運営可能なよう市として協力してほしい)
家族でゆっくりしている時、子どもが私の周りにくっついてきて幸せに思いました。
子どもの成長を目の当たりにした時。
おいしいものを食べた時。
次世代に続いている自分の身内と会えること。
おいしいものを食べた時。
子どもの笑顔や笑い声を見聞きしたとき。
全国ニュースに出るような、事件(殺人等の恐ろしいもの)が無い事。
子どもが楽しそうにしているとき。
何事もなかったとき。
おいしいものを食べて、お風呂に入って、今日一日を無事に過ごせたなあといろんなことや人に感謝するとき。
外でお酒が飲める時。
家族と過ごす時間。
ゴルフして飲み会して寝る時。

問 これからの大竹市のまちづくりに対して、ご意見やアイデア(自由回答)

まちづくりに対する意見・アイデア
高齢化が進んでいる。町内の溝掃除などの催しは再考願いたい。
年寄りに住みやすい交通利便性。
市民参加型イベントの企画を増やしてほしい。
ドコモ回線が非常に弱い。行政からの改善要請をお願いしたい。
街灯を増やしてほしいのと、小方駅を早く作ってほしい。
コイコイクーポンを定期的に配布してほしい。それがあることで買い物をする機会が増える。
とにかく夫が亡くなった時のことを考えて車にも乗れないので病院へ行くのも大変になる。近所の人に甘えてはいるが、とにかく何とか考えてほしい。
威厳のある年寄りやリーダー的な存在が少なくなったことが全体的にふらふらした行動になっているのかなと思う。
玖波地区には生活に必要な買い物施設がなく不便。用を足すには小方のゆめタウンしかなく、皆どうしているのだろうと思う。
運転免許返納対策としてバス路線などの充実、乗車運賃補助など。
道路の整備。
映画館、ステージなど、魅力的だと感じる施設などを考えてもらえないだろうか。
観光地として、宮島から岩国(錦帯橋)を素通りされることなく、大竹の地に立ち寄ることはできないか。美術館など既存の施設や国道2号線の立地を活かしたい。
人口が多くないまちなので、人々のつながりを感じられる。住んでいて良いなと思えるまちづくりを希望する。
歩道に石碑があるのは危ない。高齢化しているので婦人会の役員はいらない。年寄りが年寄りの世話をする敬老会もいらない。
晴海周辺の施設の充実がもっと進むといいなと思う。
まちに IKEA を作れば中四国から人が集まり市にお金を落とすのではないだろうか。
他の市で行われているまちづくりを参考にしてほしい。
飲食店を増やしてほしい。
若者が活躍できるまちづくり。
倒壊寸前の家は近隣にも影響を及ぼす恐れがあるので、速やかに対応してほしい。防犯の強化(窃盗、不法侵入など)。
カルチャー講座の充実(現在参加したくても参加できる場所がない)。
介護施設に入居しやすい金額であってほしい。
海も山もある豊かな自然をもっと活かせると良いなと思う。晴海公園はショッピング店も近く、子どもや高齢者にとても良い場所。山登りや海水浴も安全にできる場所のアピールがほしい。
とにかく道路を少しずつでも補修してほしい。歩く人、自転車の人は大変である。
観光としてアニメ(スラムダンク)の広報活動など、大竹としてアピールできることをもっとするべき。
玖波地区、小方地区など区画整理を実施するべき。未来に向けて住み良い町にしていく為には道路を4m以上にすべきだと思う。
市外にいる人が大竹に住みたいと思ってもらえるような環境やイベント。子育てに力を入れた大竹市になるといいと思う。
外に出た子どもたちが大竹に集まりたい、来たいと思うような施設を作ってほしい。晴海の施設は小

まちづくりに対する意見・アイデア
規模でまた来たいと感じるものになっていない。拡充してほしい。
市役所前が草だらけで汚いいつも思う。広過ぎてもったいないスペースである。
小方まちづくり構想を発表し早や 25 年。小方のまちは哀れなものである。心の平静さを保つ努力しつつも歯がゆい思いである。岩国大竹道路、小方駅(仮称)、旧小方小跡地を第2期まちづくりに優先して完成させてほしい。
本町地区は自治会活動も頑張っているが、高齢化している。若い人たちとの交流ができる方法を若い人たちの意見も含めて高齢者にも伝えてほしい(ことに災害の時にも大切である)。
みどり橋の2号線の信号で矢印信号がかなり短めなのでよく渋滞が起きている。もう少し長めの矢印信号設定にできないだろうか。
安くて楽しい店がほしい。皆が集まれるところがほしい。
小児科と産婦人科が少なく隣の市の病院に行かなければならないのがとても負担。岩国市はクーポンや給付金、医療費無料など市民への還元が度々あるのに、大竹市はそういった市民への還元が少なく感じる。税金は何に使われているのかと思う。何かある度に廿日市市に施設を利用するように言われているのも面倒くさい。大竹市内で完結できるようにしてほしい(コロナ時の発熱外来や検査会場も廿日市だった)。
医療、福祉の充実を求める。
キャッチフレーズの宣伝が不足している。高齢者の交通の便を考えてほしい(免許返納後の補助金の支給など)。
高齢者にタクシー券を希望する。
大竹小学校前の道路、大型のトラックが多数往来していて危険、やかましい、振動が大きい。生活道路なので大型トラックは通行止めにしてほしい。
バスなどの交通機関の便が悪いので、さらに年を重ねても自家用車の運転をしないと買い物や通院ができない。
少子化が気になる。
市役所の庁舎が老朽化している。5年以内に建て替えるなどの案はないのか。
もう少しふれあいの場があればと思う。
石本美由起。著名作詞家を生んだ町。亀居城(誌の坂道)の活用。東和町・・・星野哲郎記念館。白光・・・船村徹記念館などのように 大竹市駅前に観光案内看板設置。玖波駅前にはあるが、腐っている。
子育て環境の整備を進めてほしい。産婦人科がないのはどうにかしてほしい。どうにもならないかもしれないが、臭気対策をしてほしい。
市民から前向きに参加しやすい行事作り。高齢化が進み公園の掃除も人が減っている。
現実を踏まえ、実現性の高い長期プランを作成してほしい(例、小方地区のプラン見直し)。専門のコンサル活用。
高齢者への対応を十分にしてほしい。
税の使い方をもっと考えてほしい。防災対策に対して大丈夫か心配。もう少しゴミ処理施設をしようやすくしてほしい。市議会議員の人数を減らしてほしい(多過ぎる)。市営住宅に入居しやすいようにしてほしい。市営住宅をもっとしっかり管理してほしい。市営住宅にエレベーターを設置してほしい お年寄りにやさしいまちづくり。イベントを増やしてほしい。
小方駅を作してほしい。
道路の道幅が狭い。玖波駅のトイレを東口に作ってほしい

まちづくりに対する意見・アイデア
御園新駅ができればJRを利用した通勤にしたいので、早めに進めてほしい。
駅前の活性化。
こいこいバスは元町まで来てもらえないのだろうか。私も大竹駅まで自転車で行って駐輪代を払いまたバスで払っている。まだ自転車に乗れるからいいのだが、乗れなくなったらもうバスには乗れない。
大きめの複合施設を作ってもらえたら、人も集まるし経済も回ると思う。「大竹市」なので廿日市まで行けばいいと決まってしまうようなことをしてもらえればと思う。
だんだん交流する機会が減っていく中子どもと高齢者が結びつく機会があったり、足がない人でも交通の便が良くなったりするまちづくりができればと思う。
高齢者が働きやすい町(働き口を多くしてほしい)。
市民が誰でも安く利用できる屋内プールなどのスポーツ施設の充実。
阿多田-小方港の船代が安くならないだろうか。
旧小方小、中学校や晴海方面に土地はあるので、そこを有効に活用し、市外から人が集まる新しい団地やマンションにより子育て世帯が増えてくれるようなまちづくりを進めてほしい。
市幹部職員たちはもっと積極的に出向いて市民との対話をしてほしい。話を聞いてほしい。
大竹で外食を気軽にしたいけど、なかなか家族連れですぐ行かれる場所が少ないので、市外ばかりに行っている。食事のできるところがもう少し増えてほしい。
防犯カメラの設置をしてほしい。岩国市のように耐震診断を市の負担でしてほしい。防災に力を入れてほしい。大型フードコートができると良い
コンビニートを抱えた大竹市の防災意識の向上を望みたい。
JR駅発着メロディーにゆかりのある曲を採用してほしい。昨年の新大竹駅の完成に伴い発着メロディーの変更の話はなかったのか。二階堂知美さんのジブリ映画の主題歌など。
大竹市と言えばこれと言われる何かを新しく感じられるようになれば良い。食事でも季節ごとでも、大小問わずのイベント。
バスの便を増やして夜 20 時までにしてほしい。タクシーも高くて使えない。お年寄りが日中暑い時間にバス停まで歩いて行き帰りをする姿を見て涼しい時間に増やしてもらいたい。車を持たない人もたくさんいる。
人口が増える対策を考えてほしい。
市がどのような活動をしているのか、自身も含め興味のない人が多数だと思う。SNSなどを活用し(既に行っているかもしれないが)、市民に興味を持ってもらえるような発信を進めてもらえればと思う。
人口の増加。
具体的な方法や内容は別として、我々一般市民は行政の内側がよくわからない。見えない。安芸高田市の市長の方策に習いネット配信をもっと取り入れてほしい。
産婦人科の復活。
子ども、高齢者だけに恩恵があり、税金を払っている人、子ども、高齢者がいない家庭には何もいいことがないのでそういう家族にコイちゃんクーポンを出してほしい。
大型商業施設の誘致。岩国市以西には綺麗で新しく大きな商業施設がなく、大竹市民はゆめタウン廿日市以東に行っている為、大竹市にあると人が集まると思う。
デジタル化により高齢者、障害者にも使いこなせるようにしてほしい。市制 70 周年の歴史を若い世代にも伝えてほしい。

まちづくりに対する意見・アイデア
市の広報に誰でも参加できるコーナーを設けてほしい(例、おたよりひろばなど)。
高齢者にやさしいまちづくりを期待している。
誰でも意見を出せる市民会議などを開いたらいいと思う。
もっと買い物、特に洋服や外食する場所を増やしてほしい。
高齢者で孤独な人はたくさんいる。話し相手がほしい人がたくさんいる。介護認定も受ける基準に満たない人は居場所がなかったりする。秋田県の能代市にあるような高齢者の交流センターを建設してほしい。
これからも今以上に大竹市が良くなることを望む。
大人が子どもに挨拶をする習慣を教え、それが実行できる世の中になってほしい。
市外から人がたくさん来るようなイベントを定期的にやってほしい。
第3子以降、子育て費用全て無償化。
歩いていける距離の場所(自治会館など)での活動の活性化をお願いしたい。高齢者同士の会話ができる機会を増やす。
白石本町、元町の歩道の整備をお願いしたい。
若者が楽しめる 24 時間の施設を多く作ってほしい。少しでも納税金額を抑えたい。ショッピングモールの拡大。
栄町の道路、アスファルトの改善を望む。防災無線の音が聞こえにくいので改善が必要。大竹商店街の活性化。
こいこいバスのアンケートとしてゆめタウンから玖波駅に帰る時に狭い中の道を通らず玖波公民館の前で降ろしてそのまま駅に行けばすごく助かる。団地にはお年寄りがたくさんいる。アンケートは毎回書いても意味がないので出していない。
大竹市の住民税は高くないだろうか。別の地域に住もうか迷っている。住民税がどう使われているか詳細がわからない。
免許返納しても交通利用を手厚くしてもらえれば出かけるのも億劫ではなくなる。岩国市のようにタクシー券の配布などがあったら良い。
大竹には温泉がない。深くなるとある程度の温泉は出ると聞いたので、温泉があったらいいと思う。介護施設(特養)も山の奥ではなく海が見えたり、眺めが良いところにあれば子ども、老人と皆があつまれるところ、自然と集まれるところがあれば良いと思う。
交通の便が悪いので、高齢者(80 歳以上)に割引タクシー券などを出してほしいと思う。バスの本数を増やしてほしい。
大竹駅周辺が整備されたので「にぎわい」ができて他所からも人が集まってくれるよう施設などの設置など。駅の東口から近い栄公園の整備
こども園(フルムーンインターナショナル)の周辺が臭い。工場からの空気が悪い。
市議会議員数を早く減らしてほしい。
玖波公民館での(地域の中での)体操教室が再開されるとうれしい。
道路も駅も立派だが、とにかく市民プールを何とかしてほしい。室内プールの大きいものを作れば大会もやるし、人が来る。
大竹駅と玖波駅の間にもう一つ駅があれば買い物に便利。運転免許証を持っていない高齢者は喜ぶ。
最近の新築の家はどこも駐車スペースが3台くらいの広さを占めている。車社会の現況では仕方ないとしても緑のスペースのない潤いのない風景になっている。公共の場や街路での憩いの場の提供

まちづくりに対する意見・アイデア
を願っている。
マロンの里をアピールしてほしい。
大竹を綺麗でかっこいいまちにしてほしい。
現在の自分としてはかなり住み良いまちだと思う。大竹駅前の開発には期待している。旧大竹町の開発が進まないと感じる。
油見公園、さかえ公園はゴミがよく落ちていると思う。多目的トイレを設置しておむつ交換台など子育て世帯がより使いやすい公園にしてほしい。
大きなショッピングモールのようなものできると、山口方面の人も買い物に来てくれるようになり、活気が出るのでは。もう少し遊べるところがほしい。
高齢者にもやさしいまちづくり。駅を新しくしても駅前、人の流れが変わり、どんどん寂れて行くように思ってならない。
お祭りなどの行事をもっと広める。
大竹駅が新しくなったのは良いのだが、雨の日は水はけが悪いせいで臭い。そこを改善してくれたらうれしい。
岩国バイパスや道の駅などの完成を早くしてほしい。市のまちづくりではないかもしれないが、人が立ち寄りやすい仕組みをお願いしたい。
耳鼻科の病院が少ないので増えてほしい。
若者が定着する施策を望む。
空き家が多い。土地、家賃が高いので皆岩国、廿日市市に家を建てる人が多い。そもそも市の職員がどれくらい大竹市に住んでいるのか。
若者を引き込み、若者に考えてもらえるような雰囲気作り。
最近とても暑い為、学校の体育館で子どもが運動をしていると心配になる。エアコンの取付は難しいかもしれないが、スポットクーラーを設置するなど、何か対策をしていただくと子どもたちもスポーツにもっと打ち込めると思う。
こいこいバスに関して、弥栄方面のバスは時間待ちで連絡できずとても不便。タクシーに関して元町方面への乗合タクシーのようなものは必要である。
大竹の体育館はエアコンがない為試合の参加者が減少している。早く見直して対策しないと大竹から人が去っていくと思う。
産婦人科(検診～分娩まで)の設置。災害対策。住宅購入の補助金。雇用の充実。スーパーなどを一ヶ所に集中させるのではなく、分散して配置するようにする(老後買い物に困らないように)。地元出身者の地元就職の優遇。
防災用のテントなどの備品準備。プライバシーが守れる安全な避難所。
最近はいろいろと施設が小方方面ばかりにできて私たちの大竹地区はとても寂しいまちになってきている。
いつまでも一人暮らしができるように医療や交通機関を整えてほしい。
資源の活用を進め、産業が盛り上がるとうれしく思う。
晴海公園でのイベント(フリマやお祭り)、雨や夏場に子どもと遊べる場所(室内の遊具または日陰のある公園など)の充実。美術館で絵本作家さんの絵の展示などがあると家族で大竹で楽しめそうだと思う。
さかえ公園、県営側道路は一方通行だが逆走が頻繁にある。道路標識を改善してほしい。
もう少し人口を増やせるようお願いしたい。耳鼻科や皮膚科、産婦人科など産み育てやすい環境に

まちづくりに対する意見・アイデア
してほしい。
人にやさしい気遣い。老後の安定。
ショッピングモール(食、衣など)ができると良い。
現在「ひまわりタクシー」の運行先は玖波7、8丁目からJR玖波駅及び広島西医療センターまでとなっているが、それに加えてゆめタウン大竹店まで延長してほしい。
JR小方新駅の早期実現。温泉施設があったら良い。
若い世代が移住し、活気ある商店街を再生してもらえれば町がもっと元気になると考える。
気軽に利用できるコミュニティが少ないと思う。途中大竹市に来て溶け込めないもどかしさを感じている。町内の行事なども年齢もあって参加できない。
文化施設を増やしてほしい。日用品などの買い物の利便性の向上
白石地区など高齢者が多く、せめてアゼリアホールまでこいこいバスが来てくれれば利用者は多いと思う。
地元の人たちが農業をしても食べきれない量ができる。大竹でも道の駅ができて新鮮野菜やとれたて魚などが購入できる場があれば必ずたくさんの人が集まると思うバス代が高過ぎる。1区間で200円は高い。
市外から集客できる交流施設があって魅力のあるイベントがあればうれしい。
玖波には買い物ができるところがないので考えてほしい。高齢者は買い物ができない。時間をかけて税金を使ってアンケートをしたのでこれを反映させてほしい。
コミサロがコンビニだったら歩いて買い物に行け、そこに行けば地域の人と出会いがある。最近は町内に住んでいる人とも出会うことがなく残念である。イベントなどでわざわざ出かけるのではなく、必然的な買い物がすんなりできる町であってほしい。歩いて行けば健康にもつながるのではないだろうか。人が集まりたくなる場所がほしい
子どもが遊ぶ場所や公園及び、子どもが楽しめるイベントが少ないので増やしてほしい。起業とかおおげさなことではなくちょっと試してみたい人が集まるイベントを計画してみたらたくさんの人が集まるような気がする。それに移動販売車などを交えると盛り上がりおもしろそう。
お年寄りが集まれる温泉施設がほしい。
子どもがおとなになった時にずっと大竹で暮らしたいと思えるまちづくりが必要だと思う。隙間時間に働きたい人と大竹市内の企業などをつなぐマッチングサイトのようなものがあれば、近くで短時間だけ働きたい人、企業の双方にとって良いと思う。
将来を考えると少子化対策は大切だが、私たちの年齢からすると長生きするのであれば健康で楽しく過ごせる環境を望む。また一人暮らしになった時に若い人にサポートしてもらえるようなサービスがあったらうれしい。
道路の整備をお願いしたい。
予算の選択と集中をお願いしたい。大竹の中でも特に過疎が進んでいる地区、それには理由が必ずある。その地区選出の市議員や何とか盛り上げようという気持ちはわからないでもないが、俯瞰的な視点で大竹全体にとって何が最適かというアプローチをお願いしたい。
物価高対策、クーポン券など 10000 円くらいほしい。市内のメイン通り青木線空き店舗の対策、空き家対策(市が管理料を取って管理する、あえて税金を増やすとか)。
車を手放してからの通院、駅までの道のりが不便である。高齢者にはタクシー券などで助けてほしい。
アンケートやワークショップなどで住民の意見を聞く方法だが、一般的、事務的なことを聞くのでは

まちづくりに対する意見・アイデア
なく、市の重点施策などに関しより具体的な複数案を示し、それに対しての意見をもらい分析集約する方がいいと思う。
こんなことで困っている、こんなことがうれしかったということを気軽に口に出せる場作りを進める。
大竹在住者は住んでいて自慢できることがあり、他の地域の人が大竹に来たいと感じること。道の駅(中途半端なものではなく)で産地、山海などの産物、特に海の物を置く。
大竹市の人口もどんどん減少している。3月1日～6月1日現在で 183 人の人が大竹市を離れている。亡くなった人もいると思うが。 裏山の大木が怖くて子どもたちは他地域の安全な場所に家を建てた。もう何年も前から切ってほしいとお願いしている。空き家の裏はコンクリートで固めてある。大雨の時はいつもビクビクしている。いつ倒れて来るのかと心配なので、生きている者の声も聞いてほしい。
駅構内のベンチの少なさに不満である。
海外交流。借家など不動産屋がなんとかしてほしい。住宅に空きがあるのでそれはいらぬ。踏切の渋滞。
自家用車のない高齢者が買い物や通院など生活する上で交通弱者とならないようにこいこいバスや乗合タクシーなどの公共交通を利用しやすい形にする。例えば現有一系統の路線を増やすことも検討してはいかか。公共交通なので事業の採算性にとられすぎず、利便性に重きを置くことも重要と考える。またバスでは買い物後に重い荷物を持って帰ることも困難なのが高齢者である。これも解決できるサービスがあれば良いと思う。大竹が子どもからお年寄りまで誰もが住み良い町で市外の人も大竹市に住みたいと思うようなまちになれば良いと願う。
街灯がもう少し増えるといいなと思う。
市議会議員の人数と給料が多い。人口に比率して多いし、議会にかけても多数決で通らない。名前を書いた市民の意見が全く通らない。市議会議員の動いている活動は選挙の時以外全く見かけない。
子どもにプログラミングの勉強を学校でさせること。
人口減が加速し、地元定着の為に空き地(小方小跡、大林組跡など)を住宅地にしたら人は集まらないのだろうか。大竹は玖波駅、大竹駅とJRの便も良い方ではないだろうか。住民に負担させてまで小方駅を作る意味は。作ると維持管理と経済的にも問題がある。
インフラ、特に上水道は素晴らしいと思うが、去年断水があった。水の大切さをつくづく感じた。ある地区は通水しているところもあり、こういう時は交互通水できるような設備があれば設置をお願いしたい。
交差点での歩行者を安全に通過させる方法を考えてほしい。
猪などの害獣被害で困っている。野良猫の避妊去勢手術費用の助成金制度
当市も人口減少、高齢化は免れない。コンパクト化により効率性を高め、重要インフラや防災対策の選択と集中で費用対効果を追求する。外国人労働者に頼らない人材確保は必須。治安、文化の崩壊を防ぐこと。
私の大好きなストーンアートが草ぼうぼうの中に埋もれてしまっていて悲しい。除草している人たちは暑い中大変だろうがきれいで整備された街中は人の心に響くと思う。
玖波では買い物ができない。店がないから。
高齢化に伴い近所で困っていること、悩んでいることを支え合うサポート体制作り。 空き家が増えている。不審火、野生動物が住み着くなど困った時の相談窓口。
高齢者(70 歳以上くらい)のバス乗車料金負担を少なくする。公園内、周りだけでなくバイク、自転車に乗りながら歩きタバコの取り締まり強化。

まちづくりに対する意見・アイデア
自転車用ヘルメット購入の負担。自転車通行帯の強化(民家の草木が道路まではみ出ている危険)
学校などにボランティアで良いので学校の手助けや給食のお手伝いなど(安全面を良く考え少人数交替制などで)細く長く子どもたちとふれあう場があれば有難い。
下瀬美術館を訪れた人がゆっくりできる場所を周辺に作ってほしい。
老人が安心して歩けるまちづくり。
近郊の町から大竹へ行こうと思わせるまちづくりが大切。
駅前通りの活性化。
地域の自然を前面にアピールしつつ、駅(小方)を作ってもらい、道路を整備し、他県の人でも来て楽しいと感じるまちづくりをしてほしい。
下瀬美術館をもっと利用させてもらいたい。
しっかり市民の意見を聞いて市民の為に動く政策などをしていくべき。
高齢者が多くなるので生活しやすく安心して残り少ない人生を楽しく全うできる社会にしてほしい。
乳児医療を大学卒業まで引き上げてほしい。
小方駅の早期実現。
猪の仕掛けとか市役所でしてほしい。
島では道のアスファルトが何十年もやり直されておらず、デコボコの間に枯葉などが詰まって、掃くのに時間がかかる。個人的に申し立てていいのかわからないのでそのままになっている。
歩道に段差をなくしてほしい。
スポーツ施設が遅れていると思う。他県の施設を見てほしい。
民間学童の取り組み。
農業にもっと力を入れてほしい(米作りなど)。年々人手は減少し意欲も欠乏。見渡す限り荒れ果てて行く農地。寂しい思いがする。空き家も増加している。
玖波に何とか一軒お店ができることを望む。
店にしても同じような店ばかりで偏っている。もっといろいろな分野の店が増えると良い。
こいこいバスはずっと運行してほしい。
やはり子どもの声がたくさん聞こえる町になると活気が出ると思う。私が思うにはやはり子どもを大竹市で産める環境でなければ若い人は住みたくないだろう。
子育てしたり住むのには最高のまちだと思うが、もう一つ何か魅力的なPRポイントがあればと思う。廿日市と岩国に挟まれると微妙な感じになるので。
古くなった設備は早急に新しい物に取り換えてまちの安全を進めてほしい。
まちづくりというよりも市営住宅の跡地の草刈りをしてほしい。蛇、猪などの道になっている。頼んでもダメ。細い道など辺鄙なところをよく見てほしい。
海を眺めながら半日でもぼーっとして、好みの飲食ができるような場所。大竹駅近くにもそんな場所があれば良いと思う。
若い時と高齢になった時を比べてみると若い時は楽しくある程度自由があり、その時期を懐かしく思う。現在元気に過ごせていることに感謝している。
生活のしやすい市であると思うのだが、交通の面がどうしても不備で、広島市内や仕事や学校から帰るのに困ることがある。JR以外の交通の便があれば助かる。全ての人が自動車に乗れない。広電も宮島止まりである。お産のできる産婦人科がないのも残念である。
住所の区分けがおかしい。隣と同じ住所になっており、市に尋ねると仕方ないと言われた。宅配など困ることがある。

まちづくりに対する意見・アイデア
市の目指す方向性について、もう少し心に響く言葉で示していただきたいと思う。全国どこでも当てはまるキャッチフレーズなので。
高齢者にやさしいまち、少子化対策としての施策が充実しているまちづくり。
市が主催する親子学級で子育てグッズをいただいたり、大竹市独自の支援(健診時の交通費の負担など)があったり、とても有難い。子育て世帯への支援がより充実するとうれしい。
市役所からの伝達、その他、マイクが良く通らない為何の連絡がよくわからない。言葉をゆっくりはっきり伝えてほしい。
取り残される市民が出ないようにひとり一人を大切にしていだけたらうれしい。
年2回くらい市のクーポン券を発行してほしい。5000円×2を赤色青色と前は2回発行。年金生活者にタクシー券を発行したら便利。年金のアップを5万円以上してほしい。
経済発展、住み良い住環境など大切だが、自然豊かな大竹の魅力をぜひこのまま残してほしい。山があり広い空があり静かな環境であり、なおかつ買い物もすぐにでき、とても「ちょうど良い」大竹だと思う。
JRや山陽道など広島市内へ出勤するには良いところだと思う。ただ自家用車がないと不便なところもあるのでこいこいバスをもっと利用しやすくすると良い。玖波駅に6時半頃着のバスを検討してほしい。
後期高齢者のこいこいバスの使用料を安価にしてほしい。ゆめタウン周辺への買い物に行くのに不便である。
大竹市内の環境作り(道路の雑草が気になる)。元気な高齢者の方(シルバー人材センター登録の方)に草刈り、花壇作りに力を入れてほしい。町が明るくなる。人の心も光の方向に進み大竹のまちに活気が出ると思う。
市民税が高い。
基本計画に関して何がどう変わったのかなど、わかりやすく共有できる場の提供や、もっと市政に関心が持てるような情報発信をお願いしたい。
医療関係、福祉関係の相談がもっといつでも自由に行かれる場所があれば良い。夜の交通手段(タクシーが夜中はない為)。
マイナンバーカードがある。他家の財産や保有資産を知らせてくれる、知っている者がいるようである。市の対応はどうか。本当によく知らせてくれる者がいる。勝手ながらどうにかしてほしい。本当にバスが不便過ぎる。時間も停留所の場所もあり得ないくらい少なく、子育てしにくいまちである。
無料バス(または低料金)、無料タクシーの充実。路線を増やす。
前述では子どものことについて記入したが、高齢者の交通手段が問題だと思う。これまで以上に買い物難民が多くなると思われるので、スーパー、物流、タクシーなど各業界の連携を密にして、取り組んでもらえればと思う。若者が大竹に戻ってきてくれたとしても何十年後かの自分たちの将来に不安を感じるとまた出て行くだけだと思うので。
子どもが行きやすい飲食店を増やしてほしい。
大竹市内に浮かぶ阿多田島をもっと観光的に持ち上げてはどうか。
私は自治会に入れてもらえなかった。夜の仕事をしている為に集まりに参加できないからやめるまで会費を出すだけの参加になると申し出たら断られた。残念だった。
市の放送が一度としてまともに聞こえたことがない。
人口の増加。企業の誘致。宅地開発。

まちづくりに対する意見・アイデア
最近家のメンテナンスでアプリを使っていろいろな業者さんに依頼することがたくさんあったのだが、大竹市内の事業所がヒットしないので、地元の業者さんがヒットできるシステムがあれば良いなと思った。宅配してくれるお店がもう少しあると有難い。行政系の手続きなどが土日に行けると助かる。
駅舎は新しくなったが、その周囲は何も変わらない。行政と市民の人々が話し合いをするべきだと思う。
猫の害を何とかしてほしい。
地元の宝として大竹高校存続へ力を貸す。通っている 20%の大竹市民も高校がなくなれば市外に出て行くから。小方駅は廃案に。市役所やその周辺に勤務する人が大竹市外に居を構えることになるから。大竹駅⇄玖波駅のこいこいバスにも坂上バスのようにコイちゃんの絵を描いてほしい。愛着がわくので。
玖波駅近くに日用品の店があれば良い。高齢になると買い物が大変である。
少子化に対処する為の施策を総合的に推進してもらえよう期待している。
大地震(特に南海トラフ)や大雨災害が発生した時の為への設備を高いレベルで整えることは必須だと思う(できれば津波の来ない地域、他県への移住も考えている)。
飲食店の誘致をもっとしてほしい。特にカフェ。なさ過ぎて岩国や宮島まで行っている。アパレルを購入する場所も少ない。しまむらばかり。転勤族で友人ができないので、知り合いを作れる場所を作してほしい。
一人暮らしの高齢者が安心して最期を迎えられるまち。
大雨時の排水能力の確保が遅れている。新町3丁目で一番心配なこと。
学校や駅などの周辺道路での喫煙、歩行喫煙を禁止してほしい。
広島市内などはスポーツ施設が充実し(廿日市サンチェリー、大野町まるくる)これからの高齢化の健康維持、体力低下を予防する要、大変多くの人々が利用している。民間企業に運営を任せるなどしてほしい。道の駅を作るのなら岩国JAファムズキッチンのようなものが良いと思う。大野ADOAは全体的に高額過ぎる。海が見える場所にカフェ、キッチンカーを呼ぶ。そのような設備があるとドライブ途中に寄ってもらえるかもしれない。
玖波7、8丁目山側道路(恵川～)車からの缶、コンビニゴミ袋投げ捨てが多い、のぼり旗で少しは減ったが年中見受けられる。こいこいバスは玖波駅→玖波7丁目→8丁目と将来的には延伸してほしい 2号線の暴走族は主に廿日市市から来ている。廿日市に取り締まるように促してみても。
市政報告会などに地域の人が集まらない。
おおたけ de マルシェのようなイベントがもっとあれば良いと思う。フリーマーケットなお個人が活躍できる場の提供など。
高齢者が多く車の運転が危ないと感じることが多い。免許返納時に「こいこいバス無償」や他自治体が行っているような高齢者免許返納に向けて取り組んでほしい。大竹は狭い道が多いので特に危ない。 同時に子どもたちの自転車マナーが悪い。ヘルメットを付けていない。ヘルメットを配布する、または低学年は義務付けなどしてほしい。
大竹駅前の開発が進んでいるが、あの周辺を歩いても人と会うことが少なくすごく寂しい感じがする。市内の活性化を望む。お店もほとんどシャッターが降り、住宅化している感じがする。大竹駅の裏に通じ道ができたのが大変うれしい。
スペイン通りに店を出店してほしい。

まちづくりに対する意見・アイデア
夫婦の仕事場の中間地点ということで住み始めた。近隣の方々、知り合った方々は良い人ばかりで大竹市に住んで良かったと思っている。一方、職場、スーパー、家くらいしか行動範囲がなかったのこれから大竹のことを知っていきたいと思っている。
文化の充実。生活する上でのところはかなり進んでいるが、うるおいの生活がほしい。
大竹駅周辺の活性化。店舗もなく人通りもない。市が補助を出しても積極的に店舗の誘致などを行うべき。
若い人がどうしてほしいか意見を集約できるところがあればいいかと思う。
近くて広大な森林公園。大きな文化会館。
全国で学校部活動廃止の流れが進んでいる。子育て世代としても、生涯学習の面でも危機感を覚える。小さい規模で学習、体験サービス、文化活動を行う個人や団体は見かけるが、大竹市としてそれらをまとめあげ、牽引するプロジェクトを発足してもらえないだろうか。
町並みをきれいに街灯を増やし夜安心して歩けるまち。
地域防災、公園の猛暑対策(ウォーターガーデン、ミストと噴霧器の設置)にも力を入れてほしい。
保険、福祉については充実していて幸せに思う。救急医療についても西医療センターが町内にあることで多くの住民が助けられていると思う。存続と市としての活用も含め発展を願っている。
老々介護の居宅にレンタル用具を設置する時、部屋の中が片づけられずに目を背ける。こういった場合公で何とかしてあげられたら良いのと思う。
大竹ならではの物産品のアピール。和紙やキクイモ。例えば和紙でのちょうちん作りで町を飾る。キクイモのアイデア料理。
1. 陶磁器を資源回収として市税とする。 ①陶磁器を粉砕加工して玉砂利や墓地砂利とする。 ②陶磁器は高温で作成するのでコンクリートなどの小石とブレンドして補強材として使用。 ③粉砕してタイルの原料として再生する。 2. ゴミの収集について ①市内の交通の便が良いところは従来通り。 ②山間部の人口密度の低いところは収集の効率を上げる為、1～2箇所山間部に小型を親切する。電源はソーラーを主とし、間伐材や処理した竹材などを使用する。山林をキープする為近隣の人の雇用を作る。 ③CO₂の発生はできるだけさせない為、例えば尿素肥料を作る。海外へ輸出(国内消費) $\text{Ca(OH)}_2 + \text{CO}_2 \rightarrow \text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$ とする。$\text{Ba(OH)}_2 + \text{CO}_2 \rightarrow \text{BaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$ とする。CaCO_3 ならば土壌に混ぜて使用できるのでは。
1、晴海公園の遊歩道の整備を工夫。歩道のkmを標示する。 2、中学校跡地の有効活用。今道の駅案のようだが、収支他を熟考。箱物は管理維持費は大きく市のお金で大丈夫だろうか。 3、小学校跡地は宅地案。人口が増えるのが市の狙いか。 4、今時道路端の草を刈り取っている個人の方々を見かける。早朝にやっている。安全上の問題他あるが、小さなボランティアとしては見事である。市政に携わる方々は時として現場、現物、すぐに現見と言うが、何を言いたいかというと小を見て、小をたたえて人は動く。 5、小方駅案があり詰め中。土地を手放せば取り戻せない。 6、子育て(小中高大)、若者、壮年、高齢者の人口が増えるように物、各設備、病気、交通、買い物、娯楽、公園、安らぎ、お金を万人に工夫すること。

まちづくりに対する意見・アイデア
緊急事態用の備蓄品の保管状況はいかに。管理できているのだろうか。
野球場の改善(硬球ができるよう。高校野球予選ができるよう)。
少子化対策もちろん大事だが、シニア世代への援助にも力を入れていただきたいと思う。
アピール動画を市民全員で作ったらおもしろい。
高齢化してきているので、高齢の方が外に出ておいしい物を食べて楽しい時間を過ごせる場所があると良いと思う。また提供する側は地域の高校や若い世代の人が中心となると交流ができると思った。
小方新駅を中心としたまちづくりを早急に進めていただきたい。旧小方中体育館周辺の道の駅の構想は考えが古いのではないだろうか。
廿日市市民図書館のように自習ができ子育て支援が充実している施設がほしい。そして個人的には屋内プールを併設した運動施設がほしい。玖波地区にスーパーの建設ができれば住民の満足度はUPし、人口増加につながるはずである。
晴海運動公園の充実は来訪者増につながるのでは。
飲食店が増えてほしい。
スシローとシャトレーズを大竹に作ってほしい。
JRの小方駅の設置が伝えられているが、玖波、大竹駅があるのになぜなのだろうか。
若者がとても不便に感じる町である。昨年下瀬美術館がオープンして今世界的にも注目を浴びている大竹市である。今回世界で最も美しい美術館の一つに選ばれた(全世界で7ヶ所のうち1つ。ヴェルサイユ賞)。さまざまな雑誌や海外エージェントを通して海外でも紹介されている。これをチャンスととらえ、大竹市をより魅力的な町へ進めていくには今しかないのではと思っている。駅で電車の扉が開く度に工場臭のあるイメージの良くない町から変えていくには今だと思っている。
例えば図書館。現存あるが、徳山駅を例に駅周辺がとても最近にはぎわっている。スターバックスの入った大きな図書館兼本屋。市民の集いの場でもあり憩いの場でもある。
他にはカフェがない。チェーン店でもいい。ぜひ誘致してほしい。人が集えないし、ゆっくり休める場がない。
文化的施設を作ってほしい。せっかくすばらしい下瀬美術館がある。コンサートホールなど他の市にない施設で人の流れを大竹市に呼び込んではいかがだろうか。文化的大竹市にはすてきな人が集まって来るに違いない。
スーパー。地域のスーパーではなく、作るのなら時代を先取ったスーパーを。SDGsに根ざすなど、特長あるスーパーを望む。海外からもゆめタウンなどはNot so goodと評価されるそうである。
バイパスも今後通るし、小方駅の話もあると聞いている。ぜひ部分的に新しくする「つぎはぎ」の町ではなく、大竹市全体として大きく変化が必要なチャンスの時期なのではないだろうか。
晴海公園も中途半端だし、元小方中学校、小方小学校もこれからのまちづくりを考えているなら若者が移り住んで来なくなるような、わくわくするまちづくりに力を注いでほしいと思う。
高齢者の車の返納は問題がある。車がないと病院、買い物にも行かれず、タクシー、バスなどの補助を出したとしても人手不足でなかなか使えない。何か良い案があればと思う。もっと障害のある人のことをアピールし、支援があれば良いのにとと思う。
アミューズメントパークの誘致(遊び場がない)。
子育て世帯ばかりに手厚くしてほしい訳ではないが、その強みがあると新たに住んでくれる人や魅力を感じる人もいると思う。
大竹小学校のプールだが、近年の暑さやニュースのことを考えると屋根などを付けた方が良いと思う。何か起こってからでは遅いと思う。

まちづくりに対する意見・アイデア
やはり活気が足りないと感じる。気軽に行かれ、立ち寄れる町の駅のようなものがあると高齢者も軽食を取れたり、地域の野菜など購入したりできるのでは。小さくても良いので大竹全体に2ヶ所くらい市の補助でできると良いなと思う。
外食できるお店を増やしてほしい。ファミレスのようなできるだけ夜間開いているところがいい。老若男女が楽しめる娯楽施設(ラウンドワンや映画館)があると休日も遊べて良いと思う。
産業、教育、スポーツ、文化などにおいて大竹市といえばこれ、と思い浮かぶような特化した物を創出する。公金目的としたNPOなどに助成金を支払うよりそういった予算を高齢者、市民、子どもが行事の運営、参加などに活躍する為のお金に振り分ける。
その町その町で元気の出る集まりをしたらいいと思う。
もう少し食事や遊んだりを楽しめる場所が増えてくれるといいなと思う。
旧小方小中学校跡地を早く活用してほしい。
図書館の本を充実して欲しい。
市が積極的に空き家、空き地を売買仲介し若い方たちの定住の為の住居を設けやすくする。
おおごう山や小瀬川、阿多田島、小瀬川河口の潮干狩りとかの身近なレジャーを活性化してほしい。
大竹駅前の商店街に手すき和紙のお店ががるが、手作りで鯉のぼりや鯉のぼりのしおり、ミニチュアの鯉のぼりの飾りものなどがあり、可愛くって、大竹市外の人に土産とても、喜ばれる。大量生産は、無理かもしれないが企業とコラボして売り出せばいいのに。 あと、大竹市のキャラクターがコイなので、手すき和紙の鯉のぼり特にしおりの鯉のぼりとコラボした、エコバックを作っても面白いと思った。 観光地が少ないけど、土産物に力を入れて欲しい。
子どもに力を入れたい。
産院が岩国が廿日市市しかなく、大竹市では生むことができないので、産院があると安心する。
何か特色がなければ今の少子化による影響で大竹市に移住する人は少ないと思う。子どもの医療費無料や現金給付等、家族が恩恵を受ける制度を導入する。
廿日市市に「まるくる大野」という施設があります。大変魅力的な場所で、もし未就学の子どもを持っていたら、まるくる大野のそばに引っ越したいと思いました。 大竹市にまるくる大野を軽く超えた施設を作るだけでなく、その施設をあらゆる市民団体等が活用できる仕組みを作ってもらいたいです。ほとんどの大竹市民が定期的に訪れ、0歳から100歳までが多彩に交流する場になると、市民の困り事の多くがそこで解消されるのではと想像できます。 見える化された【まるっと大竹】になるのではとワクワクします。
計画道路の整備を早く進めてほしい。公共施設を刷新してほしい。サントピア、プール、体育館、ジムなど。建売住宅の隣棟間隔の規制。
こいこいバスをICOCA 支払いできるようにすると良いと思います(キャッシュレス化が進んでいる、こいこいバスは新硬貨の両替ができない、昇降に時間を要する) 他の市では高齢者であってもICOCA 対応できているので、前向きに検討してほしいです。
コイちゃんクーポンの復活。大竹市民は普段買い物はしにきてはいるが市外に行くことが多いと思う。クーポン利用でもっと大竹で買い物できるようにしてほしい。
工場の煙や大気汚染を何とかして欲しい。
安心して出産・子育てができる住みやすいまちづくりを進める。永住希望者に不動産取得の優遇特典も。
市民プールを作してほしい。

まちづくりに対する意見・アイデア
子育て、高齢者層には補助や手当てが充実されているが、それらと比較すると、中間層は税金を納めるばかりで補助や手当てが少ない様な気がします。
大きな通りから1本中に入った道路に穴が空いている箇所があって危ないと思うことがある。
トップの方々がチームワークをもっともっと意識していただいて、職員の方々みずからが笑顔になっていただき、今以上にがんばってください。期待しています。
徒歩圏内に居酒屋や手頃な食べ放題のお店ができてほしい。
インフラ整備、更新を考えるとある程度平野部への集中化。古くよりお住まいの方には少々酷な、こともあるかもしれないが福祉的な政策を考慮するとある程度は必要と考えます。
市のキャラクターこいちゃんがかawaiiなので、グッズ化やLINE スタンプ化してほしい。

第3節 資料(アンケート調査用紙)

第2期大竹市まちづくり基本計画に関する アンケート調査のお願い

大竹市は今年、市制70周年を迎えます。日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「第1期大竹市まちづくり基本計画」を令和3年度に策定しました。このたび、令和7年度から5年間の「第2期まちづくり基本計画」が始まることから市の新たな現状を踏まえた計画の策定を進めています。

このアンケートは、18歳以上の方から無作為に2,000人の方を抽出し(抽出基準日：令和6年6月16日)、大竹市のまちづくりへのご意見をおうかがいするものです。市民の皆様のご意見や想いを、この度の計画にも反映させたいと考えております。

なお、お答えいただいた内容は、統計処理にのみ利用し、秘密の保持には万全を期していますので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見やご考えをお聞かせくださいますようお願いいたします。

令和6年7月

大竹市長 入山 欣郎

アンケートご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、あて名のご本人がご記入ください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. お答えは、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答をご記入ください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、()内になるべく具体的な内容をお書きください。
3. 選択する答えの数は、「1つに○」「あてはまるものすべてに○」など選び方が指定されていますのでご注意ください。
4. ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに

令和6年7月31日(水)までに

ポストにご投函ください。よろしくお願いいたします。

ご希望であれば、インターネットによる電子回答フォームでもご回答いただけます。スマートフォンやタブレット、パソコン等による回答が可能です。こちらのQRコードか下記URLを読み込んでお答えください。回答期限や注意事項は同様です。

URL : <https://●●●>

注)本紙アンケート及び電子回答フォームの必ずどちらか一方のみでお答えください。



<お問い合わせ先>

大竹市 総務部 企画財政課 企画係

電話 0827(59)2125 FAX 0827(57)7130

E-mail kikaku@city.otake.hiroshima.jp



まちづくり基本計画って・・・なに



まちづくり基本計画とは、
大竹市のまちづくりの理念や将来像、またそれを達成するための方法を明らかにしたもので、市における総合的で計画的な地域づくりをするための説明書のようなものです。

まちづくりの計画は、
子育てや高齢者など、いろいろあったと思うけど・・・？



市では、たくさんの取組をきちんと進められるよう、様々な分野で個別の計画をつくっています。まちづくり基本計画はそれらの上位に位置づけられる計画なんです。

すごく大事な計画なのね！
じゃあ、このアンケートはとても大事なもののなのね！



そうなんです！
大竹市が、これからどのような取組に力を入れたら良いのか、みなさんの率直な声を是非お聞かせください！！

大竹市では、みなさまの意見を大切にしながら、
市の取組を進めていきます。

1 あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)

1 18～29歳	4 50～59歳
2 30～39歳	5 60～69歳
3 40～49歳	6 70歳以上

問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(1つに○)

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
2	西栄、南栄、東栄、北栄
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
4	阿多田
5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
6	玖波、玖波町、湯舟町
7	松ヶ原町
8	栗谷町

問4 あなたは大竹市に住んで通算何年になりますか。(1つに○)

1 5年未満	3 10～19年	5 30年以上
2 5～9年	4 20～29年	

問5 家族構成について、同居している方すべてに○をしてください。

1 同居家族なし	4 親
2 配偶者	5 孫
3 子	6 その他

2 大竹市の住み良さや居住意向についておたずねします。

問6 あなたは大竹市が住みよいまちだと感じますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 住み良い | 4 住みにくい |
| 2 どちらかといえば住み良い | 5 どちらともいえない |
| 3 どちらかといえば住みにくい | |

問7 大竹市の住みよいところ、住みにくいところはそれぞれ何ですか。
(それぞれ5つまで○)

住みよいところ(5つまで○)	住みにくいところ(5つまで○)
1 自然環境が豊か	1 自然環境になじめない
2 交通の利便性が良い	2 交通の利便性が悪い
3 住宅地など住まいの環境が良い	3 住宅地など住まいの環境が悪い
4 まちの雰囲気やイメージが良い	4 まちの雰囲気やイメージが悪い
5 買い物に便利	5 買い物が不便
6 治安が良い	6 治安が悪い
7 子育てがしやすい	7 子育てがしにくい
8 地域のつきあいが充実している	8 地域のつきあいを負担に感じる
9 働く場が充実している	9 働く場が不足している
10 通勤・通学に便利	10 通勤・通学が不便
11 医療機関や福祉施設が整っている	11 医療機関や福祉施設が不足している
12 教育環境が充実している	12 教育環境が充実していない
13 スポーツや生涯学習活動が充実している	13 スポーツや生涯学習活動が充実していない
14 歴史や文化が継承されている	14 歴史や文化が大切にされていない
15 住民意見が行政に反映されている	15 住民意見が行政に反映されていない
16 その他()	16 その他()

問8 大竹市に愛着を持っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 強く持っている | 4 持っていない |
| 2 ある程度持っている | 5 わからない |
| 3 あまり持っていない | |

問9 大竹市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい | 4 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 5 住み続けたくない |
| 3 どちらともいえない | |

3 大竹市のまちづくりについておたずねします。

問 10 大竹市のまちづくりに関する分野ごとの質問です。次の①～⑫の設問に、それぞれあてはまるところに○をしてください。

	設問	回答欄	
A 教育・文化 分野	① 広く社会で活躍する人を育むまちづくり 子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	② 学び楽しむ心豊かなまちづくり 生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	③ 一人ひとりを大切にするまちづくり あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	③-1 あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	④ 歴史や文化を大切にするまちづくり 地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
B 産業・雇用 分野	⑤ 活気ある産業のまちづくり 地元の産業(商業、工業、農業、水産業、サービス業など)に活気があると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑥ 多くの人を訪れるまちづくり 大竹に魅力を感じ、市外から多くの人を訪れていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑦ 地域経済が元気なまちづくり 多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑧ 安心して働けるまちづくり ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	1 はい	2 いいえ
C 生活・環境 分野	⑨ 快適で暮らしやすいまちづくり 生活に必要なインフラ(上下水道、鉄道、バス、道路など)が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑨-1 目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑩ 自然と調和するまちづくり 豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑩-1 環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいいと感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑪ 楽しさと憩いにあふれるまちづくり 公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよいと感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑫ 環境にやさしいまちづくり ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取組がされていると感じますか。	1 はい	2 いいえ

	設問	回答欄	
D 安全・安心分野	⑬ 災害に強いまちづくり 防災情報の伝達手段(防災行政無線、防災メール、公式 LINE、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど)は充実していると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑬-1 あなたの家庭では、災害を意識した準備をしていますか。	1 はい	2 いいえ
	⑬-2 はいを選んだ人は次の項目のあてはまるものすべてに○をしてください。 1 自宅周辺で起こり得る自然災害をハザードマップで確認している。 2 災害の状況に合わせた避難先(避難場所、親戚や知人宅、ホテルを含む)を決めている。 3 大きな災害があった時のために水や食料を3日分程度備蓄している。 4 その他()		
	⑭ 事故や犯罪の少ないまちづくり 地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取組がされていると感じますか。	1 はい	2 いいえ
E 健康・福祉分野	⑮ 命を大切に作るまちづくり 消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑯ 子どもが健やかに育つまちづくり 大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑰ 誰もが自分らしく生きるまちづくり 高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活を送れる環境にあると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑱ 見守り支え合うまちづくり 住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	1 はい	2 いいえ
	⑲ みんないきいき元気なまちづくり 保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	1 はい	2 いいえ
F 自治分野	⑲-1 あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	1 はい	2 いいえ
	⑳ 地域を愛する人づくり あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	1 はい	2 いいえ
	㉑ 市民と行政の協働 あなたは、現在何か地域のためになる活動をしていますか。	1 はい	2 いいえ
	㉑-1 はいを選んだ人はどんな活動をしているかあてはまるものすべてに○をしてください。 1 自治会活動 4 子どもや高齢者の見守り 7 介護ボランティア 2 PTA 活動 5 あいさつ運動 8 地域行事の運営 3 自主防災組織活動 6 環境美化活動 9 その他()		
	㉑-2 いいえを選んだ人は今後「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と思いますか。(1つに○) 1 はい 2 いいえ		

問 11 次の6分野の中で、特に力を入れてほしいものを A から F までの中から1つ選び○をしてください。また、選んだ理由やこうしたらいいと思う対策などを記入してください。

1つ選び○をしてください		回答欄(選んだ理由)
A	教育・文化 分野	
B	産業・雇用 分野	
C	生活・環境 分野	
D	安全・安心 分野	
E	健康・福祉 分野	
F	自治 分野	

問 12 デジタル技術の活用に関する次の市の事業について、導入した方がよい（進めた方がよい）と思う事業は何ですか。（5つまで○）

1	マイナンバーカードの普及・利用推進
2	市役所手続きのオンライン化
3	書かない窓口サービス（市役所窓口での書類記入を不要とする）の導入
4	キャッシュレス決済の推進（公共交通機関・市への料金支払い等）
5	市役所への相談・問合せについてチャット機能※ ¹ の導入
6	学校や保育所などのICT※ ² 化
7	公民館等の公共施設へのWi-Fi等の通信環境の整備
8	公民館の会議室等の公共施設予約システムの導入
9	図書館サービスへのICT※ ² 技術の活用（電子書籍・タブレット導入・予約システム等）
10	SNS※ ³ ・ホームページなどを活用した情報発信の強化
11	民間事業者等が活用できるオープンデータ※ ⁴ の公開範囲の拡大（市保有情報）
12	スマホの使い方等の講座開催（情報格差是正のための取組）
13	自治会や市民団体等へのDX※ ⁵ 推進の支援
14	その他（ ）

■単語説明

※1 チャット機能：インターネット上でリアルタイムの会話を行う機能

※2 ICT：情報処理やソフトウェアなどを活用した多様なサービスの総称

※3 SNS：インターネット上で個人や企業等が情報発信やコミュニケーションを行うためのサービス

※4 オープンデータ：誰でも自由に利用できるデータ等の情報

※5 DX：デジタル技術で社会や生活の形を変えること、デジタル変革

問 13 市のキャッチフレーズ『笑顔・元気♥かがやく大竹』につながるまちづくりが進んでいると感じていますか。(1つに○)

進んでいる	どちらかというに進んでいる	どちらかというに進んでいない	進んでいない	わからない
4	3	2	1	0

問 14 問 13 で「わからない」以外を選んだ方はその理由をご記入ください。

「進んでいる」・「どちらかというに進んでいる」と思う理由	「進んでいない」・「どちらかというに進んでいない」と思う理由

問 15 あなたはどのような時に幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

問 16 これからの大竹市のまちづくりに対して、ご意見やアイデアがあれば自由にご記入ください。

～アンケートへのご協力、ありがとうございました～

ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、**●月●日(●)**までに郵便ポストにご投函ください。

※すでにパソコンやスマートフォン、タブレット等を利用し、インターネット回答をされている方は、この調査票へのご記入や投函は不要です。



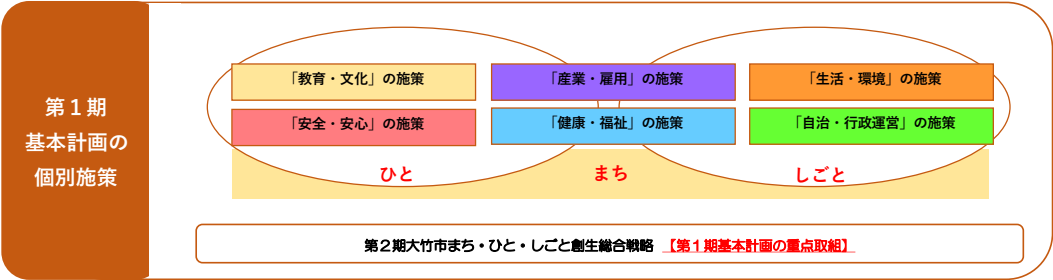
第2章 施策評価

第1節 概要

1. 内容

第1期大竹市まちづくり基本計画(以下「基本計画」)では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」)を一体的に策定しており、まちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」を、総合戦略の基本理念とするとともに、総合戦略が掲げる「まち」「ひと」「しごと」の各基本目標を基本計画の重点取組と位置付け、各基本目標の達成度を測るための指標を設定しています。

本章では、各基本目標の達成に向けて、基本計画及び総合戦略の対象期間に取り組む施策の成果を測るための重要業績評価指標(KPI)の達成(進捗)状況と、各基本目標の総合評価を掲載し、施策評価とします。



2. 表の見方

① 総合戦略	② 施策評価 ○:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況、事業の実施状況等から総合的に判断	③ 施策名 (まちづくり基本計画)	④ 主な事業	⑤ 関連する評価指標 (KPI)	R1 現状値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 目標値
まち	○	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業、図書館運営事業など	市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	4.4点	4.3点	4.4点
	△	1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進	スポーツ振興事業	スポーツ大会の参加者数 指導者(体育委員やボランティア)の数	189,402人 128人	71,843人 130人	108,623人 121人	115,553人 121人	210,000人 170人

① 総合戦略の体系

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における、人口減少の克服と地方創生を実現するための基本目標を踏まえ、本市の人口減少に伴う問題の顕在化を未然に防ぐことをめざし「まち」「ひと」「しごと」の各分野で基本目標を設定しています。

② 施策評価

KPIの達成状況と各種事業の事業指標や、取組状況などを踏まえて総合的に判断しています。

③ 第1期大竹市まちづくり基本計画の施策の名称

「1 教育・文化」「2 産業・雇用」「3 生活・環境」「4 安全・安心」「5 健康・福祉」「6 自治・行政運営」の6つの分野ごとに施策を定めています。

④ 第1期大竹市まちづくり基本計画の各施策に関連する主な事業

具体的な取組である各種事業は毎年度実施計画を策定して実施しています。
ここでは総合戦略の施策評価に関連する主な取組を記載しています。

⑤ KPI(重要業績評価指標)

施策を評価するための成果指標です。令和元年度の数値を「現状値」とし、計画期間の最終年度である令和6年度に4年間の成果を測るため、令和5年度の目標値を定めています。そのため、期間中の各年度の実績値は参考値として扱います。(各年度の数値が把握できた時点で記載するため、年度が終了しても数値が不明のものもあります。)

第2節 総合戦略における重要業績評価指標(KPI)の達成状況と施策評価

総合戦略	施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況、事業の実施状況等から総合的に判断		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
まち	○	図書館は、子育て世代や高齢者により一定数の利用を維持している。他世代の利用をいかに伸ばすか課題である。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業、図書館運営事業など
	△	スポーツ大会等の参加者はコロナ前の水準に戻らなかった。スポーツ振興のために欠かすことのできない指導者が減少しており、人材確保策が必要である。	1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進	スポーツ振興事業
	○	コロナ禍の影響で目標に達していないが、郷土の歴史や伝統文化の普及啓発に積極的に取り組んだ結果、関心は高まっている。	1-5 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進	文化財保護事業
	○	大竹駅の自由通路、駅舎の整備が完了し、東西広場など周辺環境整備も進んでいる。小方地区まちづくり事業も、構想や計画の策定に向けて予算化し進めている。	3-1 快適で魅力的な都市空間の創造	大竹駅周辺事業、小方地区まちづくり事業など
	△	デマンド型乗合タクシー導入地域からは運用内容見直しの要望があり、対応中である。公共交通維持のための運転士の確保も喫緊の課題となっている。	3-3 生活を支える公共交通の充実	地域公共交通整備事業等
	○	空家バンクの登録はゼロであるが、住宅リフォーム補助制度の活用は着実に実績を上げている。	3-5 住みよさと安心を生む住宅政策	住宅改修等補助事業、空家対策事業
	○	コロナ禍前の水準に戻っていないが、令和7年度の工事完了に向けて年々利用環境は良くなっており、利用者数も増加している。	3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備	晴海臨海公園整備事業
	○	計画的な設備の点検や更新を実施している。普及率などは一定の水準に達しており、今後はどのように維持管理を行うかが課題である。	3-7 暮らしを支える上下水道の整備	公共下水道事業、上水道事業
	△	一般廃棄物処理基本計画に基づき各種取組を実施しているが、期待していた効果は出していない。治山事業や森林管理についてはひろしまの森づくり事業や森林環境譲与税関連事業により、計画的に取り組んでいる。	3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり	環境学習事業、環境衛生・美化推進事業、ひろしまの森づくり事業など
	○	目標に達していないが、防災意識を持った世帯は当初と比べて大きく増加している。自主防災組織育成のための取組などにより地域の防災活動の担い手も少しずつ増加している。	4-1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり	防災体制整備事業、砂防事業、浸水対策事業など
	○	交通事故の発生率、犯罪の発生率ともに目標を達成している。大竹警察署や防犯連合会と協働して実施する啓発事業を継続する。	4-2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり	交通安全対策事業、防犯対策事業など

関連する評価指標(KPI)	R1 現状値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 目標値
市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	4.4点	4.3点	4.4点
スポーツ大会の参加者数	189,402人	71,843人	108,623人	115,553人	210,000人
指導者(体育委員やボランティア)の数	128人	130人	121人	121人	170人
手すき和紙ボランティア参加者数	443人	346人	362人	407人	450人
大竹駅の整備率(事業費ベース)	23.4%	44.4%	71.3%	94.0%	96.0%
小方地区まちづくり事業の整備完了面積	0%	3.4%	3.4%	3.4%	10%
「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」と答えた人の割合	58.4%	46.2%	46.5%	39.0%	50%以上
住宅耐震化率	83.10%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	92%
空き家バンク登録件数(累計)	0件	0件	0件	0件	2件
晴海臨海公園の利用者数	209,424人	99,720人	142,667人	141,319人	210,000人
污水处理人口普及率	99.1%	99.2%	99.2%	99.2%	99.3%
有収率(配水量に対する有収水量の割合)【上水道】	78.6%	75.2%	78.7%	86.5%	86.8%
環境全般に関する苦情件数	12件	13件	10件	18件	10件
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた人の割合	69.9%	63.7%	68.7%	62.4%	75.0%
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積	196.67ha	199.58ha	201.27ha	218.83ha	221.67ha
防災意識を持った世帯の割合	29.5%	51.2%	54.2%	47.8%	80.0%
河川水路の浚渫を行った箇所数(累計)	0か所	9か所	13か所	18か所	13か所
事故の発生率(高速道路を除く人口1,000人あたりの事故の発生件数)	1.9‰ (R ¹ -R ³)	1.1‰ (R ³ -R ⁴)	1.0‰ (R ⁴ -R ⁵)	1.0‰ (R ⁵ -R ⁶)	1.5‰ (R ⁶ -R ⁷)以下
犯罪の発生率(人口1,000人あたりの犯罪の発生件数)	5.4‰ (R ¹ -R ³)	3.3‰ (R ³ -R ⁴)	3.1‰ (R ⁴ -R ⁵)	4.0‰ (R ⁵ -R ⁶)	5.0‰ (R ⁶ -R ⁷)以下

総合戦略	施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
まち	○	財源を確保しながら消防資機材の調達や人材育成など計画的に実施できている。消防団について、高齢化が進んでおり、新入団員の確保が課題である。	4-4 市民の命を守る消防体制の充実	消防力強化事業、消防団活動の推進など
	◎	高齢者が活躍する通いの場について、順調に新規グループが立ち上がっている。グループホームサービスの定員数も満たすことができた。各種取組により概ね目標を達成している。	5-1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援	介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、介護施設整備等補助事業など
	×	当事者団体や関係部署と連携しながら制度の周知を行っているが、障害者や保護者の重度化、高齢化などの課題により実績に繋がっていない。	5-3 障害のある人が自分らしく生きるための支援	障害者総合支援事業など
	○	はいかい高齢者SOSネットワークや、まるっと大竹の取組により地域福祉活動や近所との関わりに対する関心は高まっている。	5-4 見守り支え合う地域福祉の推進	地域福祉活動推進事業、地域見守り活動事業など
	○	がん検診や人間ドックの取組を継続して実施しているが、コロナ禍により低下した検診受診率が元に戻るまでに時間がかかっている。休日・夜間やへき地の医療及び相談の体制を維持している。	5-5 元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実	健康づくり推進事業、医療体制整備事業
	○	計画に基づき学校での食育授業の実施や、管理栄養士の資格を有する職員を採用し食育事業を推進している。	5-6 正しい食生活と食文化を学ぶ食育の推進	食育推進事業など
	○	地域課題解決に取り組む市民団体等への助成や、まちづくり基本構想に基づき各種事業を実施している。加入率の低下など自治会の抱える問題に対する取組が課題である。	6-1 市民と行政の協働による地域づくり	協働のまちづくり推進事業、まちづくり基本構想等策定・推進事業など
	○	コロナ禍や緊急時の情報に対するアクセス数が伸びたものの平時の閲覧数の伸びについて検証が必要。市の魅力発信のために大竹応援大使の登録やアンケートの実施などに取り組んでいる。	6-4 時代に対応した情報政策とまちの魅力発信	広報事業
【まち】分野の指標、目標値				

関連する評価指標(KPI)	R1 現状値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 目標値
消防力の整備指針に基づく主要車両の更新整備率 (消防ポンプ自動車・救急自動車)	60%	80%	80%	80%	100%
消防職員1人あたりの資格保有数	10個	10.3個	11.2個	10.9個	11個
必要な研修を受講した消防団員の充足率(定数330人中)	27.8%	7.0%	25.0%	8.4%	33.0%
救急車への救急救命士の乗車率(第2救急まで)	98.3%	98.5%	97.4%	97.5%	100.0%
「通いの場」で活動している高齢者の数	292人	377人	412人	471人	470人
「地域の役に立ちたい」と考えている人の割合(65歳以上)	32.6%	※アンケート 調査年のみ	※アンケート 調査年のみ	31.3%	40.0%
介護給付費における計画値に対する実績	91.5%	96.5%	95.0%	95.9%	100.0%
施設入所から地域生活へ移行した人数	0人	0人	0人	0人	3人
「ボランティア活動に参加したいと思う」と答えた市民の割合	69.0%	63.8%	65.0%	67.7%	70.0%
近所との関わりの程度	14.6%	13.1%	14.0%	21.6%	40.0%
「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加するなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と答えた人の割合	73.5%	88.7%	90.2%	87.6%	75.0%
がんによる死亡率	48.2%	54.0%	45.5%	52.0%	50%以下
入院を必要としない二次・三次救急医療機関受診者(帰宅者)の割合	54.6% (H30年度)	51.2% (R2年度)	55.8% (R3年度)	55.0% (R4年度)	減少させる
JA広島総合病院の分娩制限の有無	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
家で家族の人と一緒に、または一人で料理を作ることができる児童生徒(小学5年生・中学2年生)の割合	—	76.2%	72.8%	81.6%	80.0%
毎日朝食を食べる人の割合	76.8% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	85.5%	85%以上
食生活改善を実践している人の割合	73.2% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	75.3%	80%以上
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と答えた人の割合	40.4%	52.4%	55.9%	42.6%	41%以上
大竹市に愛着や誇りを持つ人の割合	65.7%	76.5%	76.4%	74.8%	65.7%
市ホームページアクセス数	942,826	2,119,338	2,522,005	1,650,395	1,000,000
社会増減を均衡させる 【転入数と転出数の差】	Δ50人			Δ17人	±0人

総合戦略	施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
ひと	○	評価指標は目標に達していないが給食費の無償化や遠距離通学支援、放課後児童クラブの待機児童0のための取組など、計画的に取り組んでいる。	1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実	幼保小連携事業、学校教育推進事業、奨学金貸付事業、学校連携・子どもの居場所づくり事業
	△	順調に事業を実施できているが、参加者が伸び悩みや、小・中学生対象の事業が多く、高校生・大学生の育成環境が整っていないことも課題である。	1-2 未来を担う青少年の健全な育成	青少年育成事業
	○	目標に達していないが、コロナ禍に公民館活動の制限や高齢化による生涯学習グループの取りやめなどで大きく減少したイベント参加者が回復している。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業
	◎	こども医療費助成の対象年齢の拡充や産前産後のケア事業など駐留軍等再編交付金基金等により、財源を確保して、子育て支援を充実させるために取り組んでいる。	5-2 子どもと子育てを支える体制の充実	こども医療費助成事業、母子保健事業、病児・病後児保育運営委託事業、地域子育て支援拠点事業など
【ひと】分野の指標、目標値				
くらし	○	水産GOGO市など販路の拡大と種苗放流の補助による漁獲量の確保の取組を計画的に行っている。新規就農者については制度の周知やアンケートを実施したが実績に繋がらなかった。	2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興	水産業振興事業、鳥獣被害防止対策支援事業、農業振興対策事業など
	○	大手企業はコロナ禍でも堅調な経営を行っており、中小企業も雇用を維持している。創業に対する支援制度も新設し、環境整備も行った。商店街の空洞化への対策が課題である。	2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興	商工振興事業、中小企業経営安定支援事業、商店街等振興奨励事業など
	○	新たな観光パンフレットの作成や大竹生まれ商品、ふるさと納税返礼品のPRを実施。下瀬美術館開館の影響もあり観光客が増加しており、新たな需要の分析や消費へ結びつける取組が課題である。	2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興	観光宣伝事業など
	◎	働き方改革推進のためのセミナーを計画的に実施。コロナ禍が終わり、常に求人が求職者数を上回っている。2倍以上のような人手不足にも陥っていない。	2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援	勤労者生活等支援事業
	○	大竹港では、取扱う貨物量は目標を下回っているが、国道と連絡するアクセス道路は事業着手されている。また、既存の漁港は機能保全計画に沿った維持補修工事を実施している。	3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備	港湾施設管理事業、漁港施設維持管理事業
【しごと】分野の指標、目標値				

関連する評価指標(KPI)	R1 現状値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R5 目標値
小学1・2年生の不登校児童数	0人	1人	4人	7人	0人
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合	91%	92%	92%	93%	95%
中学校卒業生の進学率	100%	100%	98%	99%	100%
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合	— (R2:80%)	79%	91%	90%	85%
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合	—	28%	44%	33%	80%
文化祭・公民館等まつりの参加者数(発表者・来場者)	8,401人	813人	7,133人	8,008人	13,300人
「安心して子どもを生み育てられる」と感じる人の割合	—	62.9%	63.9%	64.2%	60.0%
産後1か月でEPDS(産後うつ病質問票)が9点以上の褥婦(おおむね産後6～8週間の期間にある女性)の割合	6.7%	6.1%	6.5%	6.1%	減少させる
保育所等の待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人
保育所等への入所未決定児童数(特定の保育所や認定こども園を希望している児童)	5人	7人	9人	5人	0人
要保護児童対策地域協議会登録児童の終結率	54.8%	67.1%	59.0%	53.1%	60.0%
自立した母子・父子世帯の割合(児童扶養手当の給付を要しなくなった人の割合)	8.2%	11.3%	11.0%	15.8%	10.0%
就学前児童人口の減少を抑える 【過去4年間の0歳～5歳人口の減少率】	△13.8%			△20.3%	△10.0%
海面漁業漁獲量	3,647t (H29年度)	2,857t (R1年度)	3,820t (R2年度)	3,814t (R3年度)	3,652t
あたたハマチtoレモンの価格	900円/kg	1,100円/kg	1,200円/kg	1,200円/kg	1,200円/kg
新規就農者数(累計)	0人	0人	0人	0人	1人
市内事業所数の減少率	△3.2%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	△3%以内
市内観光客数(1月～12月)	470,318人	280,529人	297,608人	386,462人	520,000人
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48	1.23	1.39	1.34	1倍以上2倍
大竹港で取り扱う貨物の量	145万t	140万t	126万t	106万t	160万t
法人市民税納税義務者数を増やす 【法人市民税納税義務者数】	692件			722件	710件

第3節 第2期まちひとしごと創生総合戦略の総評

●総合戦略の基本目標、指標について



<まち> 社会増減を均衡させる

(転入－転出人口の当該年度公表値)

令和2年度：△50人 ⇒ 令和5年度：△17人 (目標 ±0)



<ひと> 就学前児童人口の減少を抑える

(0～5歳人口の4年間の減少率)

令和2年度：△13.8% ⇒ 令和5年度：△20.3% (目標 △10.0%)



<しごと> 法人市民税納税義務者を増やす

(当該年度の法人市民税納税義務者数)

令和2年度 692件 ⇒ 令和5年度 722件 (目標 710件)



社会増減は改善が見られるものの目標に達していません。

就学前児童人口も目標を下回っていますが、コロナ禍で全国的に出生数が低下し人口も減少しています。法人市民税納税義務者数は小規模事業所の増加により目標を達成しています。



●事業の評価について

令和２年度、令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまなイベントが中止となり、あわせて人の動きも制限されたため各指標に大きな影響を与えました。令和４年度以降は改善傾向となりましたが、目標達成率は３３.９％でした。

※１９指標／５６指標（令和５年度実績）

この間、大竹駅整備事業（橋上駅化、自由通路開通）や給食費の無償化、医療費助成対象の拡大、小方地区のまちづくり事業、晴海臨海公園の整備など、長年の課題であった事業や将来を見据えた事業に取り組みました。

一方で、令和５年度に発生した上水道の大規模断水にみられる老朽化したインフラ施設、公共施設の維持管理、ＤＸの取組、自治会加入率の低下などの地域課題も見えてきました。

●次期総合戦略の策定に向けて

国土強靱化基本計画（２０１４年６月）や第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略（２０１９年１２月）デジタル田園都市国家構想総合戦略（２０２３年１２月）のように、国から示される指針に沿った内容を前提とし、現在の計画と同様に次期まちづくり基本計画に内包する形で作成します。

次期総合戦略ではこれまでの施策評価から見えた成果や課題を踏まえ、行政として実現したい姿を明確にし、計画や事業の実効性を確保できるよう取り組みます。

あわせて、総合戦略推進会議で意見のあった、ＫＰＩ（成果指標）の内容変更や数を減らすなどの対応も検討します。

令和5(2023)年度 行政評価報告書

発行年月:令和6(2024)年12月

発行元:大竹市総務部企画財政課

【お問い合わせ】

電話:(0827)59-2125(企画係)

FAX:(0827)57-7130

メール:kikaku@city.otake.hiroshima.jp

